

消 防 年 報

令和 3 年版
(2021年)



西 宮 市 消 防 局

令和 4 年 (2022年) 刊行第70号

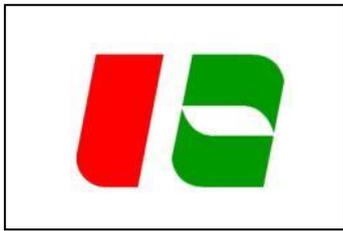
西宮市民憲章

美しい風光と豊かな伝統のまち、西宮の市民としてこの憲章を定めます。

これは未来へはばたくわたくしたちの合い言葉です。

- その1 西宮を みどりと青空の明るいまちにしましょう
- その2 西宮を 教育と文化のかおり高いまちにしましょう
- その3 西宮を 心のかよった福祉のまちにしましょう
- その4 西宮を 希望にみちた産業のまちにしましょう
- その5 西宮を 心身ともに健やかなしあわせのまちにしましょう

市旗



明るい太陽としあわせを表す赤と、東六甲の美しい自然に囲まれた町を象徴する緑で、西宮の「に」の字を図案化。「緑としあわせの町」を表現する。昭和45年11月制定。



市の木～くすのき



市花～さくら

震災復興コンセプト

「安全」「安心」そして「希望」に満ちた文教住宅都市をめざして

ま え が き

この年報は、令和3年中における西宮市消防局の現況と消防業務の統計を集録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、広く一般に公開することを目的として編集したものです。

なお、火災、その他災害、水防、救急、救助、通信は暦年、他は年度とし、その他必要なものには頭注に年月日を記載しました。

令和4年（2022年）8月

西宮市消防局

概 要

西宮市は兵庫県の南東部にあり、大阪湾から六甲山地にいたる南北に長い市域を持っています。大阪市と神戸市のほぼ中間という好立地にあり、関西有数の住宅都市・文教都市として発展してきました。鉄道網や道路網も発達しており、JR及び阪神、阪急の各私鉄、国道2号・43号・171号・176号、阪神高速神戸線・湾岸線・北神戸線、名神高速道路、中国自動車道などが近隣都市と市内各地を縦横に結んでいます。豊かな自然に恵まれていることも大きな魅力で、北部は緑の多いレクリエーションゾーン、南部は潮風のさわやかなマリーナゾーンとして親しまれています。また、大学・地域社会・行政それぞれが相互に連携することで、よりよい「文教住宅都市」を築いてきました。この本市まちづくりの基本理念である「文教住宅都市」をさらに発展させ、西宮市のもつ教育・住環境の優れた特性を充実させ、豊かで恵まれた自然環境を未来に引き継ぐ「環境学習都市宣言」を行い、よりグレードの高いまちづくりの実現を目指しています。



目

次

令和3年度に実施した主な事業		総務	
消防車両整備事業	9	総務の概要	45
消防庁舎整備事業	10	消防予算	46
消防団車両整備事業	10	一般会計予算と消防予算の推移	47
消防団車庫整備事業	10	消防予算市民負担の推移	47
概況		職員研修状況	
西宮市の消防	13	派遣研修（その1）	48
令和3年中の各種出動件数	13	派遣研修（その2）	50
各種出動状況	14	職場研修	51
緊急消防援助隊派遣状況	14	消防吏員階級別資格取得状況	52
火災、その他災害出動、救助出動、 救急出動件数の推移	15	公務災害等発生状況	53
西宮市消防の沿革	16	消防表彰等の状況	54
所属別情勢	31	消防音楽隊の状況	55
令和3年度重点目標	32	広報及び広聴	
消防局の組織及び事務分掌	33	広報及び広聴の概要	59
消防署の組織及び事務分掌	34	広報活動状況	59
職員配置状況	35	資料配布及び刊行物発行	60
年度別職員数状況	35	広聴事務処理状況	60
職員年齢状況	35	消防情報の提供（報道機関等）	60
職員勤続年数状況	35		
消防庁舎の概要	36		
消防自動車等保有状況	37		
消防情勢の推移	38		
家庭防火クラブ・自主防災組織等 結成状況	39		
消防協力隊結成状況	39		
消防水利の状況	40		
開発行為に伴う消防水利事務処理状況	40		
消防相互応援協定締結状況	41		
庁舎配置及び管轄区域	42		

予 防 行 政

予防行政の概要	63
防火対象物現況表	64
防火管理者選任及び消防計画届出現況表	65
防火対象物査察・検査実施状況	66
用途別中高層(5階以上)防火対象物状況	67
防火管理に関する講習の実施状況	68
建築物確認申請等処理状況	68
12条報告・仮使用承認等処理状況	68
危険物製造所等設置許可数	69
危険物製造所等類別設置許可数	69
所属別危険物施設等現況及び査察状況	70
液体危険物タンクの完成検査前 検査実施状況	71
危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況	71
少量危険物・指定可燃物・ 液化石油ガス等届出施設状況	71
住宅防災診断実施状況	72
住宅防災診断指導件数	72

火 災 統 計

火災の概要	75
火災の状況	77
火災状況の推移	78
署別火災発生状況	78
月別火災発生状況	79
曜日別火災発生件数	80
時間別火災発生件数	80
覚知方法別火災発生件数	80
10年間の建物焼損棟数・焼損面積	81
火災種別毎の損害額の割合(前年比較)	81

令和3年の出火原因	82
10年間の主な出火原因	82
放火件数の推移	83
放火の曜日別火災発生件数	83
放火の時間別火災発生件数	83
放火による着火物	83
主な火災発生状況	84
隣接都市火災応援(被応援)出動状況	84
高速道路における隣接都市 火災応援(被応援)出動状況	84
消防局消防活動状況	85

そ の 他 災 害 統 計

その他災害の概要	89
所属別その他災害発生状況	90

水 防 統 計

水防災害活動状況	93
----------	----

救 急 統 計

救急の概要	97
救急出動件数	98
救急出動件数・搬送人員の推移	98
事故種別出動件数及び搬送人員	99
事故種別出動件数の推移	99
事故種別傷病程度別搬送人員	100
傷病程度別搬送人員の推移	100
事故種別年齢区分別搬送人員	101
年齢区分別搬送者の推移	101
月別救急出動件数	102
曜日別救急出動件数	102
時間別救急出動件数	103
医療機関別搬送状況	104
隣接都市救急応援（被応援）出動状況	104
現場到着及び病院収容所要平均時間	105
現場到着及び病院収容所要 平均時間の推移	105
応急処置等の状況	106
西宮市医師同乗制度の状況 （ドクターカーシステム）	106
心原性かつ一般市民による 目撃のあった心肺停止者数	107
心原性かつ一般市民による目撃 のあった心肺停止者数と一般市民 による心肺蘇生実施数の推移	107
心原性かつ一般市民による目撃 のあった症例の1ヵ月後の生存率 及び社会復帰率の推移	107
所属別救急講習実施状況	108
救急講習実施回数及び受講者数の推移	108

熱中症による救急搬送状況の週別推移	109
熱中症による救急搬送状況の推移	109
救急出動状況	110
救急隊別出動状況	111
月別・曜日別救急出動状況	112

救 助 統 計

救助の概要	115
救助出動状況	116
発生場所別出動状況	117
月別救助出動状況	118
救助出動状況の推移	119
隣接都市救助応援（被応援）出動状況	120
所属別消防用空気・酸素等容器保有状況	120
主な救助器具配置状況	121

消 防 通 信

指令業務の概要	125
消防通報用電話（119番）受信状況	127
消防通信施設の状況	128
気象情報等月別発令状況	129
発令された防災指令等	129
消防テレホンサービス利用状況	130

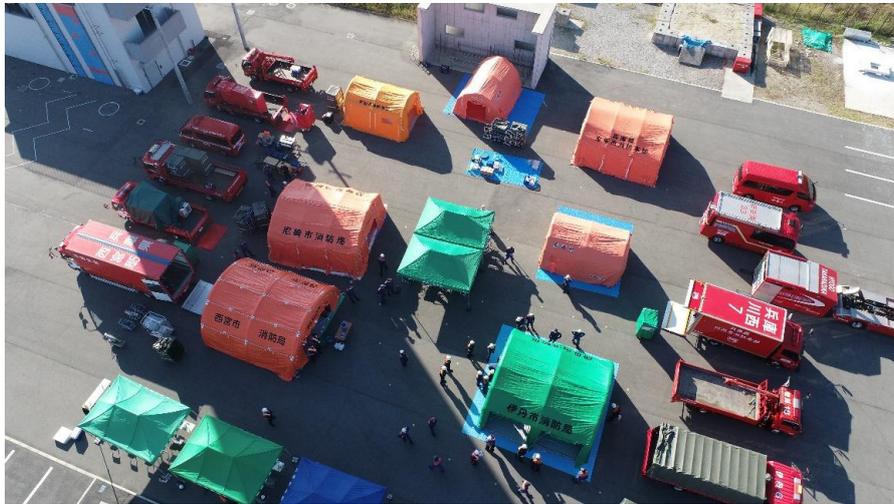
車 両 整 備

車両整備の概要	133
車両の購入	133
点検整備等	134

消 防 団

西宮市消防団の沿革	137
消防団の組織	139
消防団自動車現況	140
消防団員在職年数状況	141
消防団員年齢状況	141
消防団費と市民負担	142
消防団出動状況	142
消防団訓練実施内容	142
派遣研修及び教育訓練実施状況	142
公務災害等発生状況	143
団員の職業別	144
表 彰	144

令和3年度に 実施した主な事業



緊急消防援助隊兵庫県隊(阪神ブロック)後方支援部隊集結訓練

消防車両整備事業



消防ポンプ自動車(ポンプ車)
【北消防署】



水槽付消防ポンプ自動車(タンク車)
【鳴尾消防署】



高規格救急自動車
【瓦木消防署】



高規格救急自動車
【北消防署】



高規格救急自動車
【山口分署】



人員搬送車
【消防局】

消防庁舎整備事業



西宮消防署 消防庁舎棟

消防団車両整備事業



消防ポンプ自動車【名塩分団木之元班】

消防団車庫整備事業



今津分団車庫

概 況



緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練

西宮市の消防

(令和4年4月1日現在)

《消防施設と人員》

消防局	1	(整備センター・消防訓練施設を含む)
消防署	4	
消防分署	4	
消防自動車等	78台	(非常用車両を含む)

《消防団》

消防団本部	1	(消防局庁舎内)
分団数	33	分団(7地区)
分団車庫	36	箇所
消防自動車等	39	台

消防職員

定数	522人
実員	470人(うち女性9人)
	※派遣職員25人(うち女性3人)を除く

消防団員

定員	755人
実員	680人(うち女性9人)

団長	1人
副団長	7人
分団長	33人
副分団長	36人
部長	37人
班長	111人(うち女性1人)
団員	429人(うち女性8人)
機能別団員	26人

《令和4年度消防予算》

70億7,168万6千円

令和3年中の各種出動件数

《火災》

火災件数	81件
(令和2年中)	84件)
西宮市で4.5日に1件の割合で火災が発生したことになります。	
損害額	1億7,153万4千円
(令和2年中)	1億3,777万2千円)
火災1件あたりの損害額は211万8千円となり、市民1人あたりでは354円になります。	

死傷者	[死者 5人]
	[負傷者 8人]

令和2年中	[死者 4人]
	[負傷者 11人]

《その他災害》

その他災害出動件数	1,060件
(令和2年中)	1,034件)

《救急》

救急出動件数	22,230件
(令和2年中)	21,602件)
西宮市で1日平均60.9件出動したことになります。	

	(令和3年中)	(令和2年中)
1 急病	14,269件	13,513件
2 一般負傷	3,806件	3,762件
3 交通事故	1,476件	1,475件
4 上記以外	2,679件	2,852件
となっています。		

《救助》

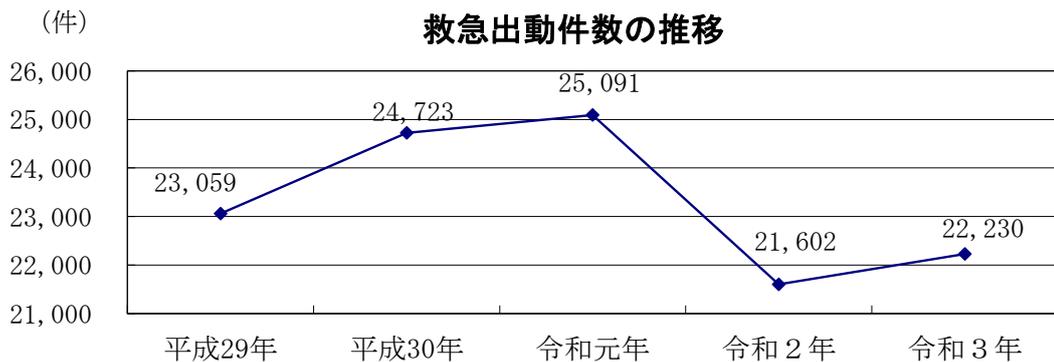
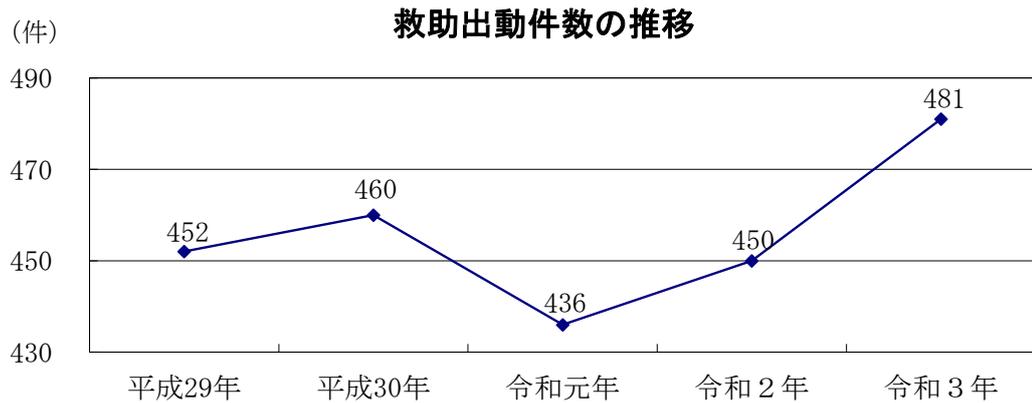
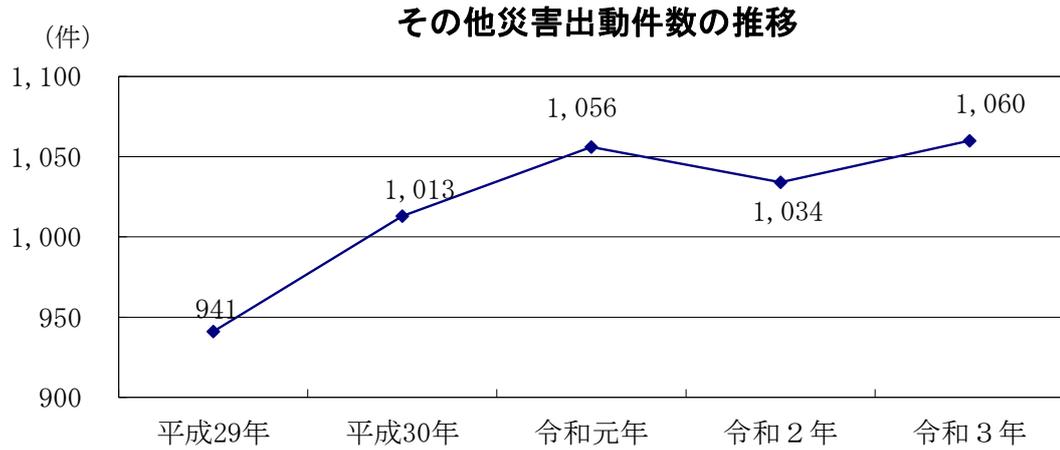
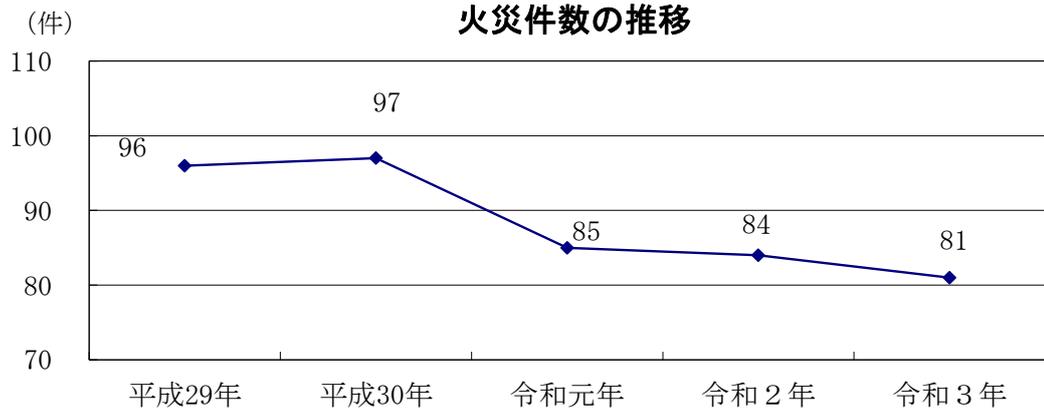
救助出動件数	481件
(令和2年中)	450件)

各種出動状況

種 別		件数等	出動台数	出動人員	
緊 急 出 動 業 務	火 災	火災件数	81	382	1,393
		死 者 (人)	5		
		負 傷 者 (人)	8		
		1日当りの火災件数	0.2		
	そ の 他 災 害 出 動	その他災害出動件数	1,060	1,301	5,075
		緊急措置	123		
		緊急確認	415		
		支援活動	236		
		その他	84		
		補完	202		
	救 助 出 動	救助出動件数	481	1,095	4,013
		救助人員 (人)	234		
		1日当りの救助出動件数	1.3		
	救 急 出 動	救急出動件数	22,230	22,230	67,081
		傷病者搬送人員 (人)	20,170		
		ドクターカー出動件数	79		
1日当りの救急出動件数		60.9			
合 計		23,852	25,008	77,562	

緊急消防援助隊派遣状況

区分 出動場所	月 日	出動車両	出動人員
該当なし			



	消防法の公布施行	7月	消防法（法律第 186号）が公布施行された
昭和26年	鳴尾村消防本部統合	4月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村の合併が成立、鳴尾村消防本部は西宮市消防本部に統合、同時に西宮市鳴尾消防署と改称 1本部 2消防署 消防職員106人 消防主力機械7 その他2
	消防自動車増強	6月	普通ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車の2台が完成 西宮消防署に配置
昭和29年	消防自動車増強	8月	水槽付消防ポンプ自動車が完成、鳴尾消防署に配置
昭和30年	消防無線電話の設置	12月	中短波消防専用無線電話2基（基地局1 移動局1）を設置、開局
昭和31年	鳴尾消防署新庁舎竣工	9月	西宮市古川町1番地に鳴尾消防署新庁舎竣工、移転し消防職員31人、消防車4台でもって業務開始
昭和32年	消防出張所の増設	5月	西宮消防署甲東出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和34年	消防出張所の増設	8月	西宮消防署夙川出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和35年	救急車の運用開始	2月	西宮消防署に救急車1台を配置、救急業務を開始
昭和36年	17mはしご車配置	5月	17mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和37年	化学消防自動車配置	3月	化学消防自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和38年	救急の法制化	4月	消防法の一部改正により救急業務が法制化された。
昭和40年	超短波無線電話の設置	3月	従来の消防専用中短波無線電話を廃止、消防用超短波無線電話を設置、7局（基地局1 移動局6）で運用開始
	機構改革	9月	消防署の組織を署長・次席制4係とする
	LPガスタンクローリー車火災	10月	川西町においてLPガスタンクローリー車が転覆炎上し58棟全半焼、死者5名、負傷者26名、車両35台焼損
昭和41年	シュノーケル車	1月	シュノーケル車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	1月	鳴尾消防署に17mはしご付消防ポンプ自動車を配置
	消防本部及び西宮消防署新庁舎竣工	1月	西宮市津門大塚町1番38号に消防本部及び西宮消防署の新庁舎竣工、移転し業務開始
	一斉指令装置完成	2月	消防本部新庁舎竣工と同時に一斉指令装置（1本部2消防署2出張所）が完成、運用開始
	機構改革	10月	従来の5課制から総務課、消防課、予防課の3課制に統合9係とする。 消防本部の機構 消防本部長一次長－3課－9係 消防署 2署 2出張所 消防職員168人 消防主力機械20

昭和42年	消防出張所の増設	4月	西宮市大屋町12番14号、名神高速道路高架下に西宮消防署瓦木出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車3台にて業務開始
	救助隊の発足	6月	特別救助隊発足
昭和43年	消防職員待機宿舎完成	5月	西宮市津門大塚町1番38号に消防職員待機宿舎竣工、使用開始
昭和44年	消防署の増設	4月	西宮市上甲東園2丁目11番66号に甲東消防署新庁舎竣工、消防職員35人、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台をもって業務開始、同年5月に西宮消防署甲東出張所を廃止し、1本部3消防署2出張所となる
	管轄区域の変更	4月	甲東消防署増設に伴い、西宮消防署夙川出張所を甲東消防署夙川出張所とし管轄区域を変更する
	副士長制度の発足	7月	職場における能率の向上と勤務意欲を高めるため副士長制度を設けた
昭和45年	大型化学車配置	1月	大型化学車が完成、西宮消防署に配置
昭和46年	消防分署の増設	4月	西宮市塩瀬町名塩5318番の1に甲東消防署北分署の新庁舎竣工、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台消防職員18人をもって業務開始
	無線前進基地局の開設	4月	北部地域における円滑な通信業務を図るため、新庁舎甲東消防署北分署に無線前進基地局を開設
	監視用テレビジョンの設置	7月	望楼を廃止し、指令室に監視用テレビジョンを設置して火災監視センターとして運用開始
昭和47年	32mはしご車配置	1月	32mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	1月	西宮消防署瓦木出張所にシュノーケル車を配置
昭和48年	救助工作車配置	2月	救助工作車が完成、西宮消防署瓦木出張所に配置
	救急指令装置の設置	3月	ワンタッチシステムの救急指令装置が完成、運用を開始 救急隊 4隊
	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格、人員、車両を増強し救急救助体制を強化
	気象観測装置の設置	12月	消防本部に気象観測装置を設置
昭和49年	機構改革	1月	従来の消防課にあった指令室を管制第1係、管制第2係とし、予防課に環境指導係を設ける 消防本部長一次長-3課-11係となる
	高発泡車配置	2月	高発泡車が完成、西宮消防署に配置
	救急波無線局の設置	3月	消防本部と甲東消防署北分署に救急波無線局を設置
	機構改革	11月	従来の総務課、消防課、予防課のほかに主幹制度を設け4課とし、主査を置き12係とする 消防本部長一次長-4課-12係となる 従来の消防署次席を副署長とし分署に分署長、出張所に出張所長を置く

	移動消防分遣所制度	11月	3消防署、2分署、1出張所からそれぞれ分隊編成で予防査察、地水利調査、消防警備等を合理的に実施し防災面の条件整備を図る
昭和50年	42mはしご車配置	3月	42mはしご付消防自動車完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	3月	(1) 西宮消防署瓦木分署に32mはしご付消防ポンプ自動車を配置 (2) 甲東消防署にシュノーケル車を配置
	機構改革	10月	(1) 消防本部の名称を西宮市消防局とする (2) 消防局に管理部と消防部の2部を設ける (3) 管理部に施設課を設け、従来の総務課を管理課と改称し、2課1主幹とする (4) 消防部に管制室及び救急救助課を設け、3課1室とする (5) 西宮消防署瓦木分署を消防局瓦木分室とし、消防部救急救助課を置く 西宮市消防局は、2部5課1室1主幹15係3主査及び3署1分署1出張所となる
昭和51年	空気圧縮設備完成	1月	空気圧縮設備が完成し、消防活動の迅速化と円滑化を図った
昭和52年	消防出張所の増改築	12月	甲東消防署夙川出張所の増改築に伴い人員の増強と従来消防局瓦木分室(救急救助課)が運用していた救急車を配置替えし、救急業務の適正化を図った
昭和53年	機構改革	6月	(1) 管理部施設課を廃止し、事務を同部管理課と消防部消防課に分ける (2) 消防課に技術係を新設する (3) 消防部救急救助課を瓦木分室から消防局(本局)に移す (4) 瓦木分室を西宮消防署瓦木分署とする (5) 消防部予防課の査察安全係を予防係に、環境整備係を指導係に改称する (6) 夙川方面の消防行政需要の増大に伴い甲東消防署夙川出張所に消防第1係長、消防第2係長及び予防係長を配置した (7) 消防局の毎日勤務者を削減し、消防署の人員を強化した 西宮市消防局は、2部4課1室1主幹13係1主査及び3消防署2分署1出張所となる
昭和54年	鳴尾消防署仮設庁舎	9月	鳴尾消防署庁舎建替のため鳴尾町2丁目所属照寂公園に仮設庁舎建築
	ドクターカー制度の発足	12月	救命率の向上を図るため、消防局の機動力と病院の医療技術を組み合わせたドクターカーシステムの運用開始
昭和55年	42mはしご車配置	2月	42mはしご付消防自動車完成、鳴尾消防署に配置
	鳴尾消防署新庁舎竣工	3月	鳴尾消防署新庁舎竣工(旧庁舎敷地跡)
	定数改正	3月	消防職員の定数を「315人」に改めた
	機構改革	4月	消防局救急救助課の特別救助隊を消防署に配置、強化を図る

	救助工作車配置	4月	機構改革により鳴尾消防署に救助工作車を配置
	消防主任制度の発足	10月	消防主任（消防司令補）を隔日勤務体制の部署に配置
昭和56年	消防局管制室改修及び無線局の増設	3月	消防局の管制室を拡張、県内共通波無線局、全国波無線局を設置
	医療情報システム	4月	兵庫県医療情報システム運用開始
昭和57年	阪神間救急医療研究会	3月	救急隊員の医学知識向上を目的として発足
	消防分署の増改築	12月	瓦木分署の職場環境の整備拡張を図るため事務所、仮眠室等の増改築を実施（増築30.75㎡）
昭和58年	消防局、西宮消防署の改修	3月	消防局、西宮消防署の事務能率の向上を図るため事務室全体の改修を実施
	自主防災組織	11月	地震その他の災害に対し、自主的な防災活動を行い、地域の被害の防止と軽減を図ることを目的とした、山口町連合防災会が発足
昭和59年	消防局、西宮・甲東消防署の改修	3月	消防局西宮消防署の庁舎補修のため外壁、屋外階段、屋上防水及び甲東消防署の庁舎外壁、屋上防水改修
	救助訓練施設の設置	3月	救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）を消防局に設置
	甲東消防署夙川出張所を北夙川分署に昇格	4月	甲東消防署夙川出張所を市内松風町4番4号に移転竣工、北夙川分署に昇格改称し、業務を開始
	消防分署を署に昇格	10月	甲東消防署北分署を北消防署に昇格改称した
	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域の改正	10月	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域を改正し、北夙川分署の名称を西宮消防署北夙川分署とした
昭和60年	消防出張所新庁舎竣工	4月	北消防署山口出張所を西宮市山口町上山口1056番地の1に竣工、業務開始
昭和61年	消防局管制室に救急業務用地図等検索装置を新設	3月	消防局の管制室にパソコンと光ディスクを連動させた救急業務用地図等検索装置を新設
	地震計の設置	3月	消防局庁舎に地震計を設置
	国際消防救助隊への参加登録	4月	外国の大災害に対し、機敏な救助活動を行うことを目的とする国際消防救助隊に参加登録
昭和62年	西宮市消防局整備センター竣工	4月	消防車両等の継続検査と効率的な整備や消防用機器の開発を行うため、整備センターを西宮市西宮浜3丁目5番地に竣工、業務開始
	救助工作車配置	10月	西宮消防署へ救助工作車を配置
	消防テレホンサービス	12月	消防テレホンサービスの運用開始
昭和63年	無線設備の拡充	3月	災害現場における重要通信の混信を避けるため消防第2市波無線局を開設し、広域災害に対応するため移動局に防災波を増設
	消防音楽隊の発足	4月	消防音楽隊の発足

	携帯基地局、携帯局の開設	6月	市域外にまたがる広域災害発生時における陸上、海上、上空の2以上にわたり運用可能な携帯基地局を開設
	瓦木消防署新庁舎竣工	10月	西宮市高木東町15番11号に瓦木消防署の新庁舎竣工、業務開始
	管轄区域の変更	10月	瓦木消防署の新庁舎竣工に伴い、甲東消防署を瓦木消防署甲東分署とし、西宮消防署瓦木分署を廃止、これに伴い瓦木消防署及び西宮消防署の管轄区域を変更
	救助訓練施設の設置	10月	瓦木消防署に救助訓練施設を設置
	西宮市救急医療情報システム	11月	救急医療体制の円滑な運用を図るため、西宮市救急医療情報システムの運用開始
	防振ストレッチャー開発	11月	救急車内の振動を軽減した西消式防振ストレッチャーを開発装備
	救助工作車配置	12月	瓦木消防署に大型救助工作車を配置
平成元年	定数改正	3月	消防職員の定数を「329人」に改めた
平成2年	機構改革	4月	主幹を廃止し、整備センターを管理部へ編入
	課長補佐制度の導入	4月	課長補佐制度を導入
	資器材搬送車配置	6月	消防課に資器材搬送車を配置
	支援車配置	10月	西宮消防署に支援車を配置
平成3年	消防出張所の増改築	2月	北消防署山口消防出張所の車庫増改築を行い、救急車1台を配置し、救急体制の拡充を行った
	無線前進基地局の開設	3月	山口地域における円滑な通信業務を図るため、北消防署山口消防出張所に無線前進基地局を開設
	救助訓練施設及び救急消毒室の設置	3月	鳴尾消防署に救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）及び救急消毒室を設置
	消防出張所を消防分署に昇格	4月	北消防署山口消防出張所を消防分署に昇格改称
	北消防署新庁舎竣工	4月	西宮市名塩新町7番地1に北消防署の新築移転に伴う新庁舎竣工、業務開始
	気象観測装置の増設	4月	北消防署に気象観測装置を設置し、消防局と合せて観測点を2カ所とした
	ドクターカーシステム制度の拡充	4月	救急医療体制の充実を図るため、ドクターカーシステムの夜間の体制を整備し、24時間体制で運用開始
	救急消毒室設置	10月	西宮消防署北夙川分署及び瓦木消防署甲東分署に救急消毒室を設置
	50mはしご車配置	10月	50mはしご付消防自動車が完成、鳴尾消防署に配置
	救急Ⅱ課程制度	12月	兵庫県消防学校救急Ⅱ課程開校に伴い研修派遣
平成4年	衛星通信ネットワークの運用	1月	衛星通信を活用した「兵庫衛星通信ネットワーク」の運用開始

	ガスクロマトグラフの導入	2月	ガスクロマトグラフを導入し、予防課に配置（～平成7年1月）
	防災指導車配置	2月	予防課に防災指導車を配置
	救急消毒室設置	3月	西宮消防署に救急消毒室を設置
	加入電話番号の統一	4月	消防局及び各署所の加入電話番号を「0119」に統一
	救急Ⅱ課程制度	5月	阪神地区救急Ⅱ課程開校に伴い研修派遣
	加入電話番号の増設	6月	消防局にダイヤルイン方式を導入し、直通電話を増設
	人員搬送車配置	8月	消防課に人員搬送車を配置
	非常開放面格子制度	9月	非常開放面格子の製品登録制度発足
平成5年	高規格救急車の配置	3月	救急救助課・西宮消防署に高規格救急車配置
	救急救命士制度	4月	西宮市で初めての救急救命士が誕生し、西宮消防署へ配置
	心電図受信装置の設置	6月	応急処置等の助言を得るため、2医療機関に心電図受信装置を設置
	高規格救急車の配置	12月	鳴尾消防署・瓦木消防署に高規格救急車配置
	定数改正	12月	消防職員の定数を「355人」に改めた
平成6年	機構改革	4月	<ul style="list-style-type: none"> (1) 管理部に企画課を新設 (2) 消防部消防課の消防第1係及び消防第2係を消防係に改称 開発担当を廃止し、警防係を新設するとともに救急救助課より救助係を移した (3) 消防部救急救助課を救急課に改称し、救急指導係を新設した (4) 消防部管制室の管理担当を廃止した (5) 西宮消防署及び瓦木消防署の課長補佐の下に消防係長を新設し、消防指揮体制の強化を図る 西宮市消防局の組織は、2部5課1室1センター16係及び4署3分署となる
	救急救命士	4月	救急救命士を鳴尾消防署へ配置
	救急救命士	10月	救急救命士を瓦木消防署へ配置
	高規格救急車の配置	12月	西宮消防署北夙川分署・北消防署に高規格救急車配置
平成7年	兵庫県南部地震発生	1月	1月17日5時46分震度7の兵庫県南部地震が発生し、西宮市全域にわたり甚大な被害を受けた
	50mはしご車配置	3月	50mはしご付消防自動車が完成、西宮消防署に配置
	電動ホースレイヤーの導入	3月	北消防署のポンプ車に、電動ホースレイヤーを導入（以降、ポンプ車に順次整備）
	望火台撤去	3月	兵庫県南部地震により亀裂を生じた西宮消防署の望火台を撤去
	救急救命士	4月	救急救命士を北消防署へ配置

平成8年	機 構 改 革	4月	消防署の管理係を廃止、救急担当の係長を新設し、西宮消防署に配置
	救 急 救 命 士	10月	救急救命士を西宮消防署北夙川分署へ配置
	支 援 車 配 置	10月	北消防署に支援車（発電・照明・動力台車付）を配置
	救 援 車 等 配 置	12月	救援車（4台）、小型動力ポンプ積載車（10台）を各消防署及び消防分署等に配置
	高規格救急車の配置	12月	瓦木消防署甲東分署に高規格救急車配置
	消 防 水 利 の 整 備	2月	私設防火水槽の維持管理を図るため、指定水利制度の開始
	消 防 水 利 の 整 備	3月	河川利用消防用取水施設の設置
	災害対応特殊救急車等の配置	3月	救急課に災害対応特殊救急車、北消防署山口分署に高規格救急車を配置
	消 防 水 利 の 整 備	3月	飲料水兼用型耐震性100m ³ 貯水槽を今津中学校グラウンドに設置
	消防団事務の一元化	4月	市民局から消防局へ消防団事務の移管
平成9年	機 構 改 革	4月	(1) 管理部管理課に消防団係を新設 (2) 消防部消防課警防係を廃止し、自主防災・調査担当を新設 (3) 消防部管制室に消防情報システム係を新設 (4) 救急担当の係長を鳴尾消防署に配置
	消防局新庁舎竣工	4月	西宮市池田町13番3号に消防局の新庁舎竣工、業務開始
	救 急 救 命 士	4月	救急救命士を瓦木消防署甲東分署に配置
	高度救助用器具の導入	8月	高度救助用器具の整備を開始し、画像探索機（Ⅰ型・Ⅱ型）、地中音響探知機、熱画像直視装置、夜間用暗視装置を配置
	計測震度計の設置	8月	消防局の地震計を北消防署へ計測震度計として移設
	災害対応ネットワークの運用	9月	「兵庫県災害対応総合情報ネットワーク」（フェニックス防災システム）を運用開始
	西宮市消防協力隊の結成	10月	消防活動に精通した自衛消防隊の活動範囲を周辺にまで広げ、防災機関を補完するため組織化された
	救 急 救 命 士	10月	救急救命士を北消防署山口分署に配置し、市内全消防署に配置が完了した
	全国共通波の整備	3月	広域応援体制確立のため、全移動局に全国共通波2及び全国共通波3を増設
	消防緊急情報システム運用開始	4月	消防緊急情報システムを導入し、受付指令業務等をコンピュータ化した (1) 発信地表示装置、地図等検索装置による通報場所自動表示 (2) 自動出動指定装置等による災害現場直近隊の自動編成 (3) 予告指令、自動指令、地図付指令書による確実な出動指令 (4) 消防団緊急伝達装置による迅速な出動要請 (5) 消防OAシステム等による支援情報報告統計オンライン化 (6) 気象情報、地震情報をオンライン化し遠隔監視

平成10年	無線設備の拡充	4月	消防緊急情報システム導入に合わせて無線設備を拡充した (1) 消防局に防災無線局を開設し、各署所に無線固定局を開設 (2) 北消防署、北消防署山口分署に消防第二市波無線局を開設 (3) 無線交信輻輳低減のためAVM装置、署活系無線機を導入 (4) 消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備
	機構改革	4月	救急担当の係長を瓦木消防署に配置
	全国共通波の整備	2月	北消防署、北消防署山口分署に全国共通波1無線局を開設
	消防音楽隊10周年	3月	消防音楽隊10周年記念演奏会を挙行了した
	消防水利の整備	3月	飲料水兼用型耐震性100m ³ 貯水槽を山口支所前に設置
平成11年	定数改正	3月	消防職員の定数を「365人」に改めた
	機構改革	4月	救急担当の係長を北消防署に配置
	高所監視テレビ装置	4月	高所監視テレビ装置をセントラルガーデンタワー屋上移置
	携帯電話からの119番通報	4月	代表消防本部を経由して携帯電話からの119番通報を受信開始
	電子メール新設	8月	消防局にEメールアドレスを取得した
	定数改正	3月	「初任科教育又は救急救命士養成研修中の者」を定数外の職員に追加した
	震度情報伝達装置	7月	北消防署の震度情報を兵庫県を通じて気象庁に伝送開始
	住宅防災対策	11月	住宅防災診断マニュアルを作成し、防災診断を開始
	消防出張所新庁舎竣工	12月	西宮浜3丁目5番地に西宮消防署西宮浜消防出張所新庁舎竣工 消防車1台、救急車1台、査察広報車1台、小型動力ポンプ積載車1台、計4台、消防職員12人(救急救命士含む)をもって業務開始
	平成12年	機構改革	4月
	航空隊派遣	4月	兵庫県消防防災航空隊への職員派遣を開始した(以降、ローテーションにより派遣)
平成13年	機構改革	4月	(1) 管理部を総務部に、管理課を総務課、管理係を庶務係、人事教養係を人事係に改称し、整備センター(課)を廃止し総務課に整備センターを置いた 経理係を企画課に移した 総務部は、2課6係となる (2) 消防部管制室を指令課に、管制第1係、管制第2係をそれぞれ指令第1係、指令第2係に改称 消防課に調査係を新設し、救急課救急指導係を廃止した (3) 西宮消防署に専任救助隊を設置し、消防第1係、消防第2係をそれぞれ消防救助第1係、消防救助第2係に改称
	車両配置の再編	4月	北消防署にシュノーケル車を配置
	ホームページ開設	12月	消防局ホームページを開設した

	特殊災害用資機材の導入	12月	サーバイメーター及びポケット線量計を導入
平成14年	定数改正	4月	消防職員の定数を「359人」に改めた
	女性消防吏員採用	4月	女性消防吏員を初めて採用した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた（防火装備品を更新）
	特殊災害用資機材の導入	9月	除染用資機材（除染テント・シャワー）を導入
	電子メール増設	12月	消防署所にEメールアドレスを取得した 平成16年度全所属に職員用パソコンの配置により廃止
	救助工作車Ⅲ型配置	12月	救助工作車Ⅲ型が完成、西宮消防署専任救助隊に配置
平成15年	M C 体制確立	3月	メディカルコントロール体制を確立した
	ネミス (NEMIS) ネット運用開始	4月	救急医療情報システムをウェブ化し、ネミス (NEMIS) ネットとして運用開始した（～平成28年3月）
	全所属に職員用パソコンを配置	6月	西宮市情報化推進計画により全所属に職員用パソコンを配置した
	家庭防火クラブに改称	8月	婦人防火クラブを家庭防火クラブに改称した
	新発信地表示システム運用開始	10月	新発信地表示システムを運用開始した
平成16年	殉職職員の西宮市消防葬	2月	平成15年12月、山口町の火災での殉職に伴う西宮市消防葬を挙行了した
	統合文書管理システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により統合文書管理システムを運用開始した（平成28年12月から文書管理システムに移行）
	気管挿管認定救命士の資格取得	6月	救急救命士の処置拡大に伴い、気管挿管認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	指揮支援体制の運用	7月	現場活動における、安全管理の徹底を図るため、指揮支援体制の運用を開始した
	緊急消防援助隊出動	7月	福井豪雨災害（福井県美山町）へ緊急消防援助隊として出動した
	支援車配置	10月	西宮消防署に支援車（コンテナ積替装置 [水難救助・BC災害・空気充填機]）を配置
平成17年	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、西宮消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	J R 福知山線列車事故に応援出動	4月	J R 福知山線列車事故へ兵庫県広域消防相互応援協定により出動した
	支援車配置	10月	北消防署に支援車（ボンベ収納庫、空気充填機、応援出動用資機材 [野営テント他]）を配置
	携帯電話からの119番直接受信開始	11月	代表消防本部経由から直接受信に移行した
	査察体制の強化	12月	西宮市消防特命査察隊の発足

平成18年	全国共通波の整備	3月	消防局に全国共通波2・3及び北消防署、北消防署山口分署に全国共通波2を開設した
	薬剤投与認定救命士の資格取得	3月	救急救命士の処置拡大に伴い、薬剤投与認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	消防学校教官派遣	4月	兵庫県消防学校への教官派遣を開始した
	西宮市消防特命査察隊の運用開始	4月	防火対象物の安全確保と違反事案の是正、発生防止を図るため、西宮市消防特命査察隊の運用を開始した
	予防技術資格者の認定	6月	予防技術資格者制度に基づき、22人を消防長が認定した(以降、順次認定)
	AED貸出事業開始	6月	応急手当の普及啓発と安全を図るため、市民等が集まる催物の関係者に対し、AEDの貸出を開始した
平成19年	35mはしご車配置	10月	35m先端屈折式はしご付消防ポンプ自動車が完成、北消防署に配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
	備品管理システム運用開始	1月	西宮市会計規則の改正により、備品管理システムを運用開始した
	全国共通波の整備	3月	北消防署及び北消防署山口分署に全国共通波3を開設した
	定数改正	4月	消防職員の定数を「426人」に改めた
	市長事務部局への出向	4月	市防災・安全局の設置に伴い、職員の出向派遣を開始した
	旅費管理システムの導入	4月	旅費管理システムを導入した
	AED設置事業	5月	市立学校関係にAED設置を行った
	救急波の更新整備	12月	消防局の無線基地局、救急波を更新整備した
平成20年	消防音楽隊20周年	3月	消防音楽隊20周年記念演奏会(中核市移行記念)を挙行了した
		4月	西宮市が中核市へ移行した
	地震警報器の導入	5月	地震警報器を導入し、消防課に配置
		7月	中核市移行に伴い、西宮消防署の専任救助隊を高度救助隊とした
	キャフス装置の導入	12月	西宮消防署の水槽付消防ポンプ自動車に、キャフス装置を導入(以降、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車に順次整備)
	危険物同定装置の導入	12月	危険物同定装置を導入し、西宮消防署高度救助隊に配置
	大型化学車の配置	12月	大型化学消防ポンプ自動車Ⅲ型が完成、甲東分署に配置
平成21年	機構改革	4月	消防局長一次長一6課一17係とし、総務部と消防部の2部を廃止した (1) 総務課の整備センターを消防課に移し、企画課の給与事務を総務課に移し、新たに給与係を新設した (2) 消防課の消防係、救助係、調査係を廃止し、消防救助係とし、新たに消防課に指揮第1係、指揮第2係を新設した (3) 消防課に指揮第1係、指揮第2係の新設に伴い、本部指揮隊を配置した

	乗換運用の解消	4月	西宮消防署北夙川分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	自主防災組織の移管	4月	自主防災組織関連事務を消防局から防災・安全局に移管した
	阪神ブロック代表	4月	兵庫県下消防長会阪神ブロック代表消防本部となる
	新財務会計システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により新財務会計システムを運用開始した
	救助教本の作成	5月	救助隊員の技術及び知識の平準化を図るため救助教本を作成した
	A E D 設置 施設表示制度	5月	A E D 設置している民間事業所に、そのA E D の一般使用について協力を依頼し、A E D 設置表示証の掲示及び西宮市ホームページへの掲載を行った
平成22年	ドライブレコーダーの導入	3月	交通事故対策装備として、ドライブレコーダーを導入した
	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、鳴尾消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	西宮消防署耐震化改修	9月	西宮消防署耐震化改修工事を完了した
平成23年	鳴尾消防署南棟竣工	2月	鳴尾消防署に訓練塔を併設した南棟を竣工した
	緊急消防援助隊出動	3月	東日本大震災への緊急消防援助隊として、3月11日から4月24日までの45日間にわたり、46隊154名（活動延人員290隊981名）を宮城県亘理郡山元町などに派遣した
	機 構 改 革	4月	消防局に総務部と警防部の2部を設けた (1) 総務部は総務課及び企画課の2課とした (2) 警防部は予防課、指令課、救急課及び従来の消防課を警防課に改称し4課とした (3) 警防課の消防係を警防係に改称し、救助係を新設した (4) 救急課に救急指導係を新設した (5) 西宮消防署の消防救助係を警防救助係に、各署所の消防係を警防係に改称した (6) 北消防署に北部指揮隊を配置した
	車両配置の再編	4月	(1) 北消防署に救助工作車を配置した (2) 瓦木消防署に化学消防ポンプ自動車を配置した (3) 瓦木消防署甲東分署に消防ポンプ自動車を配置した
	消防緊急情報システム更新	4月	平成9年度から運用してきた消防緊急情報システムを更新した (1) 現場映像情報伝送装置を導入 (2) 統合型位置情報通知システムを導入 (3) W e b 119受信装置を導入 (4) 指令室表示盤を大型液晶モニター(24面)に変更 (5) 市とのネットワーク接続によりリアルタイムに福祉情報等を取得 (6) 車両運用端末装置(A V M装置)をタッチパネル型に変更 (7) 消防O A支援情報システムをナイスネット端末に接続 (8) 消防O A支援情報システムに勤務手当管理システム及び勤務状況管理システムを導入

平成24年	山口分署車庫増築	8月	山口分署の倉庫敷地に車庫を増築した
	甲東分署耐震化改修	11月	瓦木消防署甲東分署耐震化改修工事を完了した
	鳴尾消防署耐震化改修	3月	鳴尾消防署耐震化改修工事を完了した
	機 構 改 革	4月	課長補佐級制度の廃止（役名は当分の間残置）及び三交替制勤務の試行的導入に伴い、係を改編した (1) 指令課に指令総括第1係、第2係を新設した (2) 三交替制勤務の試行的導入のため、警防課指揮第1係、指揮第2係を廃止し、指揮総括第1係、指揮総括第2係、指揮総括第3係、調査第1係、調査第2係、調査第3係を新設した (3) 消防署に警防総括第1係、警防総括第2係を新設した (4) 鳴尾消防署、瓦木消防署、北消防署の警防第1係を警防救助第1係に、警防第2係を警防救助第2係に改称した
	副士長制度の廃止	4月	職階制及び職責を明確にし、組織の活性化と職員の士気高揚を図るため、消防副士長制度を廃止した
	ビデオ喉頭鏡認定救命士の資格取得	7月	救急救命士の処置拡大に伴い、ビデオ喉頭鏡認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	活動支援車の配置	10月	警防課整備センターにウィング式トラック型の活動支援車を配置した
	特殊災害用資機材の導入	10月	東日本大震災を受け、表面汚染用放射線測定器を導入した
	救助工作車の配置	12月	瓦木消防署に救助工作車を配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
	電 磁 波 探 査 装 置	12月	電磁波探査装置を導入し、瓦木消防署に配置した
平成25年	人員輸送車の配置	2月	総務省消防庁からの無償使用制度に基づき、西宮消防署西宮浜出張所に人員輸送車を配置した
	救急救命士養成所への教官派遣	4月	兵庫県救急救命士養成所教官への教官派遣を開始した（以降、ローテーションにより派遣）
	西宮浜出張所増改築	12月	西宮浜出張所の増改築工事を完了した
平成26年	人材育成基本方針策定	2月	西宮市消防職員人材育成基本方針を策定した
	管 轄 区 域 の 変 更	4月	西宮消防署、鳴尾消防署及び瓦木消防署の管轄区域を変更した
	西宮浜出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署西宮浜出張所を分署に昇格し、管轄区域の変更に伴い、鳴尾消防署浜分署に改称した
	乗換運用の解消	4月	鳴尾消防署浜分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	機 構 改 革	4月	三交替制勤務の試行的導入を終了し、警防課指揮総括第3係、調査第3係を廃止した
	トレーナー制度の導入	6月	機関員育成のため、整備センターの再任用職員が各署機関員を指導するトレーナー制度を導入した

平成27年	消防救急無線のデジタル化	4月	消防救急無線のデジタル化工事を完了、本運用を開始した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた
	拡大二行為認定救命士の資格取得	8月	救急救命士の処置拡大に伴い、拡大二行為認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	危険物行政の強化	8月	引火点試験器を更新し、予防課に配置（3ヵ年計画） [タグ密閉式・セタ密閉式・クリーブランド密閉式]
平成28年	指導的立場の救命士	2月	指導的立場の救命士制度を導入した
	違反対象物公表制度開始	4月	重大な消防法令違反がある建物情報をホームページなどで公表する違反対象物公表制度を開始した
	西宮市消防職員人事評価制度開始	4月	西宮市消防職員人事評価制度を開始した
	火災調査体制の強化	4月	任命調査員制度を導入した
	緊急消防援助隊出動	4月	熊本地震への緊急消防援助隊として、4月16日から4月22日の間、11隊39人を熊本県阿蘇郡南阿蘇村等に派遣した
	定数改正	12月	消防職員の定数を「522人」に改めた
平成29年	スモールタンク車配置	3月	瓦木消防署甲東分署にスモールタンク車を配置した
	指導救命士の資格取得	3月	指導救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	警防活動教本の作成	9月	警防活動能力の向上を図るため警防活動教本を作成した
平成30年	西宮消防70周年記念フレーム切手の作成	1月	西宮消防70周年を記念し、郵便局と共同で西宮市消防70周年記念フレーム切手を作成した
	甲東分署新庁舎竣工	2月	西宮市上ヶ原一番町1番64号に瓦木消防署甲東分署新庁舎竣工、業務開始（平成27年2月に用地取得）
	消防音楽隊30周年	2月	消防音楽隊30周年記念演奏会（自治体消防制度70周年）を挙行了した
	消防研究センター派遣	4月	総務省消防庁消防大学校消防研究センターへ職員を派遣した（2年間）
	予防技術資格者区分の変更	5月	予防技術資格者区分をエキスパートとスペシャリストの2区分に変更した
	緊急消防援助隊出動	7月	平成30年7月豪雨への緊急消防援助隊として、7月12日から7月20日の間、4隊12人を広島県広島市安芸区上瀬野町に派遣した
	消防訓練施設の竣工	11月	西宮市甲子園浜2丁目10番地に西宮市消防訓練施設を竣工、運用開始
令和元年	機構改革	4月	参事及び高度救助隊を担当する係長を配置した (1) 西宮消防署及び鳴尾消防署の交替制勤務に課長級職員の参事を配置し、組織図上の表記を参事（警防第1担当）又は参事（警防第2担当）とした (2) 西宮消防署に高度救助隊を担当する係長を配置した (3) 課長補佐の役名を廃止した

令和2年	乗換運用の解消	4月	瓦木消防署甲東分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた（防火装備品と救急防護服を更新）
	災害医療センター職員派遣	4月	兵庫県災害医療センターへ職員を派遣した
	山口分署改修工事	3月	北消防署山口分署の事務室及び駐車場敷地改修工事を完了した
	指導救命士制度導入	3月	指導的立場の救急救命士として指導救命士制度を導入した
令和3年	機構改革	4月	西宮消防署及び鳴尾消防署の交替制勤務に配置している参事に担当課長の役名を付し、また、北消防署の交替制勤務に担当課長を新たに配置し、組織図上の表記を担当課長（警防第1）又は担当課長（警防第2）とした
	乗換運用の解消	4月	北消防署山口分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	消防大学校派遣	4月	総務省消防庁消防大学校へ教官を派遣した
	機構改革	4月	(1) 総務部企画課に施設整備係を新設した (2) 瓦木消防署の交替制勤務に担当課長を新たに配置し、組織図上の表記を担当課長（警防第1）又は担当課長（警防第2）とした
	救急隊の増隊	4月	救急需要及び新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和3年度に限定した配置体制として、瓦木消防署甲東分署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用とした
令和4年	西宮市役所第二庁舎竣工	4月	西宮市六湛寺町8番28号に西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）竣工
	消防局の移転	4月	西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）に消防局（消防本部）を移転し4月26日運用開始
	消防緊急情報システム更新	4月	平成23年度から運用してきた消防緊急情報システムを更新した (1) 防災情報システムとの連携機能を導入 (2) 指令台を増台し、ディスプレイを4画面構成に機能強化 (3) 高所カメラを増設（南部2台、北部1台） (4) 無人航空機（ドローン）を導入 (5) 車載カメラ、タブレット及びウェアラブルカメラによる情報共有機能を強化 (6) Eメール指令装置を機能強化 (7) 消防団FAX指令装置を導入 (8) 可搬型指令システムを導入 (9) リモート指令システムを導入
	Live 119の導入	10月	映像通報システム（Live 119）の運用を開始した
	西宮消防署消防庁舎棟竣工	12月	西宮市津門大塚町1番32号に西宮消防署消防庁舎棟竣工、令和4年2月8日運用開始
令和4年	瓦木消防署改修工事	3月	瓦木消防署の改修工事を完了した（救急仮眠室を増設）
	高度救助隊の専従化	4月	西宮消防署の高度救助隊が市内全ての建物火災に出動する体制とした
	車両配置の再編	4月	(1) 瓦木消防署甲東分署における救急隊1隊の増隊配置を終了し、瓦木消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した (2) 瓦木消防署における大型車両の駐車位置確保による庁舎の狭あい化を防ぐため、西宮消防署に化学車を配置替えした

所 属 別 情 勢

(令和4年4月1日現在)

管内情勢		全 市		
面	積	100.18 km ²	局77人(うち女性2人)を含む 局20台を含む	
人	口	482,204 人		
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,026 人		
世 帯 数		225,568 世帯		
消 防 吏 員 1 人 当 り		480 世帯		
防 火 対 象 物 数		12,189 対象		
消 防 水 利 数		6,080 個		
消 防 吏 員 数		470 人		
保 有 車 両 数		78 台		
危 険 物 施 設 数		262 施設		
管内情勢		西宮消防署 (総括)	西宮消防署	北夙川分署
面	積	23.68 km ²	7.24 km ²	16.44 km ²
人	口	164,420 人	101,316 人	63,104 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,455 人	1,369 人	1,618 人
世 帯 数		79,094 世帯	51,357 世帯	27,737 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		700 世帯	694 世帯	711 世帯
防 火 対 象 物 数		4,603 対象	3,328 対象	1,275 対象
消 防 水 利 数		2,069 個	1,223 個	846 個
消 防 吏 員 数		113 人 (うち女性2人)	74 人 (うち女性2人)	39 人
消 防 車 両 数		16 台	11 台	5 台
危 険 物 施 設 数		53 施設	45 施設	8 施設
管内情勢		鳴尾消防署 (総括)	鳴尾消防署	浜分署
面	積	14.10 km ²	9.32 km ²	4.78 km ²
人	口	136,514 人	101,408 人	35,106 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,534 人	1,690 人	1,211 人
世 帯 数		65,530 世帯	49,852 世帯	15,678 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		736 世帯	831 世帯	541 世帯
防 火 対 象 物 数		3,214 対象	2,320 対象	894 対象
消 防 水 利 数		1,640 個	1,112 個	528 個
消 防 吏 員 数		89 人 (うち女性1人)	60 人 (うち女性1人)	29 人
消 防 車 両 数		14 台	9 台	5 台
危 険 物 施 設 数		125 施設	54 施設	71 施設
管内情勢		瓦木消防署 (総括)	瓦木消防署	甲東分署
面	積	13.97 km ²	7.28 km ²	6.69 km ²
人	口	138,603 人	90,286 人	48,317 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,429 人	1,557 人	1,239 人
世 帯 数		61,805 世帯	40,704 世帯	21,101 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		637 世帯	702 世帯	541 世帯
防 火 対 象 物 数		3,453 対象	2,435 対象	1,018 対象
消 防 水 利 数		1,520 個	896 個	624 個
消 防 吏 員 数		97 人 (うち女性3人)	58 人 (うち女性2人)	39 人 (うち女性1人)
消 防 車 両 数		14 台	9 台	5 台
危 険 物 施 設 数		25 施設	15 施設	10 施設
管内情勢		北消防署 (総括)	北消防署	山口分署
面	積	48.43 km ²	24.64 km ²	23.79 km ²
人	口	42,667 人	26,404 人	16,263 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		454 人	472 人	428 人
世 帯 数		19,139 世帯	11,254 世帯	7,885 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		204 世帯	201 世帯	208 世帯
防 火 対 象 物 数		919 対象	315 対象	604 対象
消 防 水 利 数		851 個	470 個	381 個
消 防 吏 員 数		94 人 (うち女性1人)	56 人 (うち女性1人)	38 人
消 防 車 両 数		14 台	9 台	5 台
危 険 物 施 設 数		59 施設	20 施設	39 施設

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 消防吏員数は、再任用、兵庫県消防学校(教官・初任教育・救急救命士)派遣、市出向を含まない

令和 3 年度 重点目標

第5次西宮市総合計画で掲げたアクションプランの取組内容を推進するとともに、行政経営改革の意識を持ち、機能的で効率的な消防行政の運営に努める。

また、新型コロナウイルス感染症対策として必要な施策については、引き続き適切に実施していくものとし、この感染症をはじめ様々な危機事案の発生に際しては、BCP（業務継続計画）や各種行動計画等に基づき、柔軟かつ迅速に対応していく。

消防体制の強化としては、消防本部を第二庁舎（危機管理センター）に移転して新たな消防緊急情報システムの運用を開始し、市の危機管理部局と緊密な連携をとることで、災害対応能力の強化を図る。また、現在建築工事中の西宮消防署は、令和3年度末の運用開始を目指して整備を進めるほか、医療機関と連携した救命の拠点施設となる救急ワークステーションについて、統合新病院敷地内での整備に向けた取組を進める。さらに、職員定数の充足に取り組むとともに、消防の任務を遂行するため、服務規律の確保を徹底し、西宮市消防職員人材育成基本方針に基づき人材育成を推進する。

火災予防の推進としては、火災調査体制の充実を図り、類似火災の発生を防ぐ効果的な火災予防広報を推進することで、火災による被害を軽減させる。また、計画的に予防査察を実施し、防火対象物や危険物施設の実態把握に努め、火災や重大事故を未然に防止するため、適切な指導を徹底する。

救急活動の充実としては、救急需要への対策として、増隊に取り組む。また、救急業務を安定的かつ持続的に実施するため、救急教育体制を充実させ、救急業務の高度化を図るとともに、救命効果を高めるため、応急手当の普及啓発を推進する。

市民の生命、身体及び財産を守るという責務のもと、市民に信頼される消防行政を推進するため、重点目標を次のように定める。

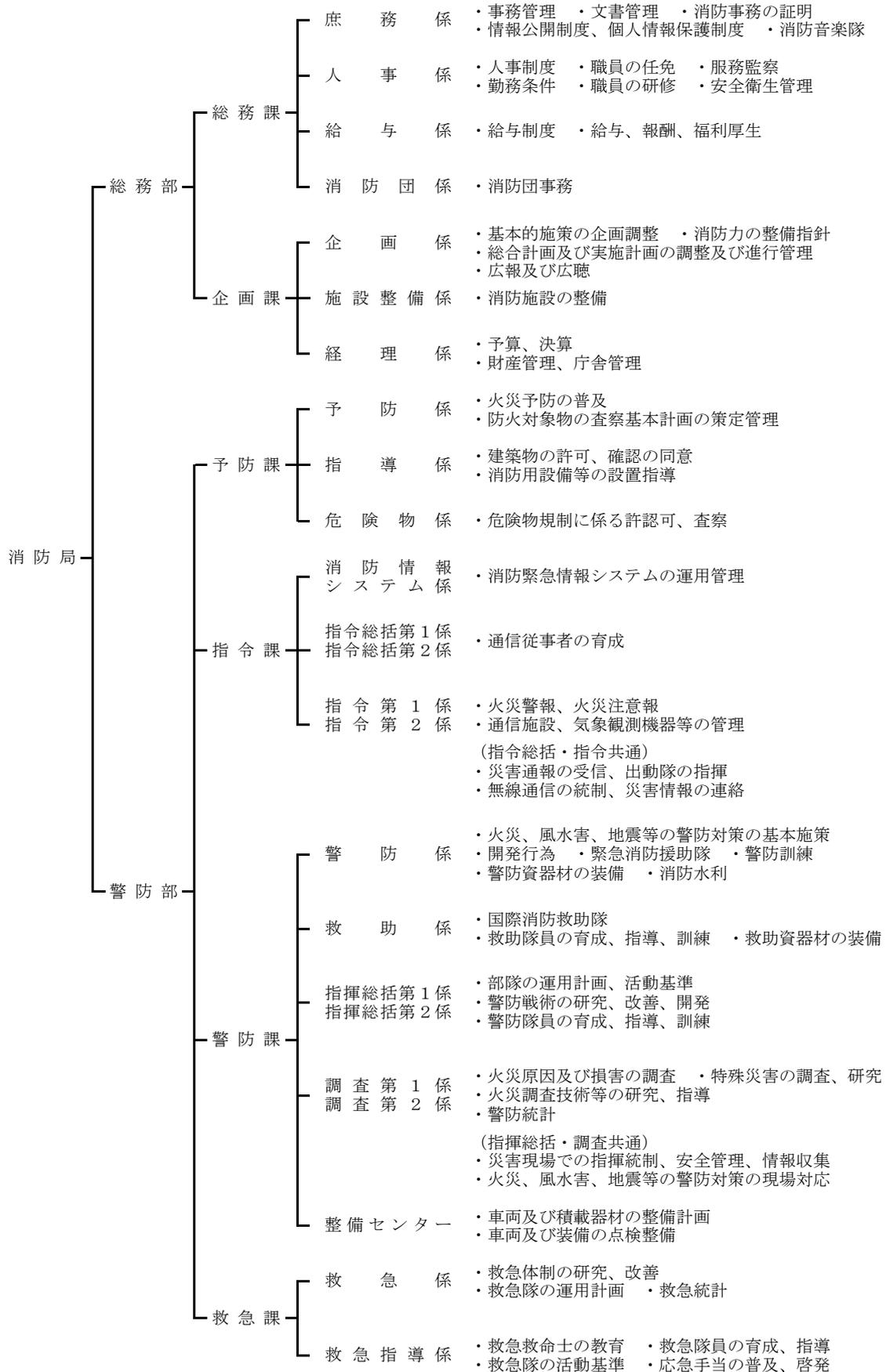
（ 重 点 目 標 ）

消防体制の強化	1 人材育成の推進 2 服務規律の確保 3 災害対応能力の強化
火災予防の推進	1 火災予防広報の推進 2 火災調査体制の充実 3 予防査察体制の強化
救急活動の充実	1 救急教育体制の充実 2 救急業務の高度化 3 応急手当の普及促進

消防局の組織及び事務分掌

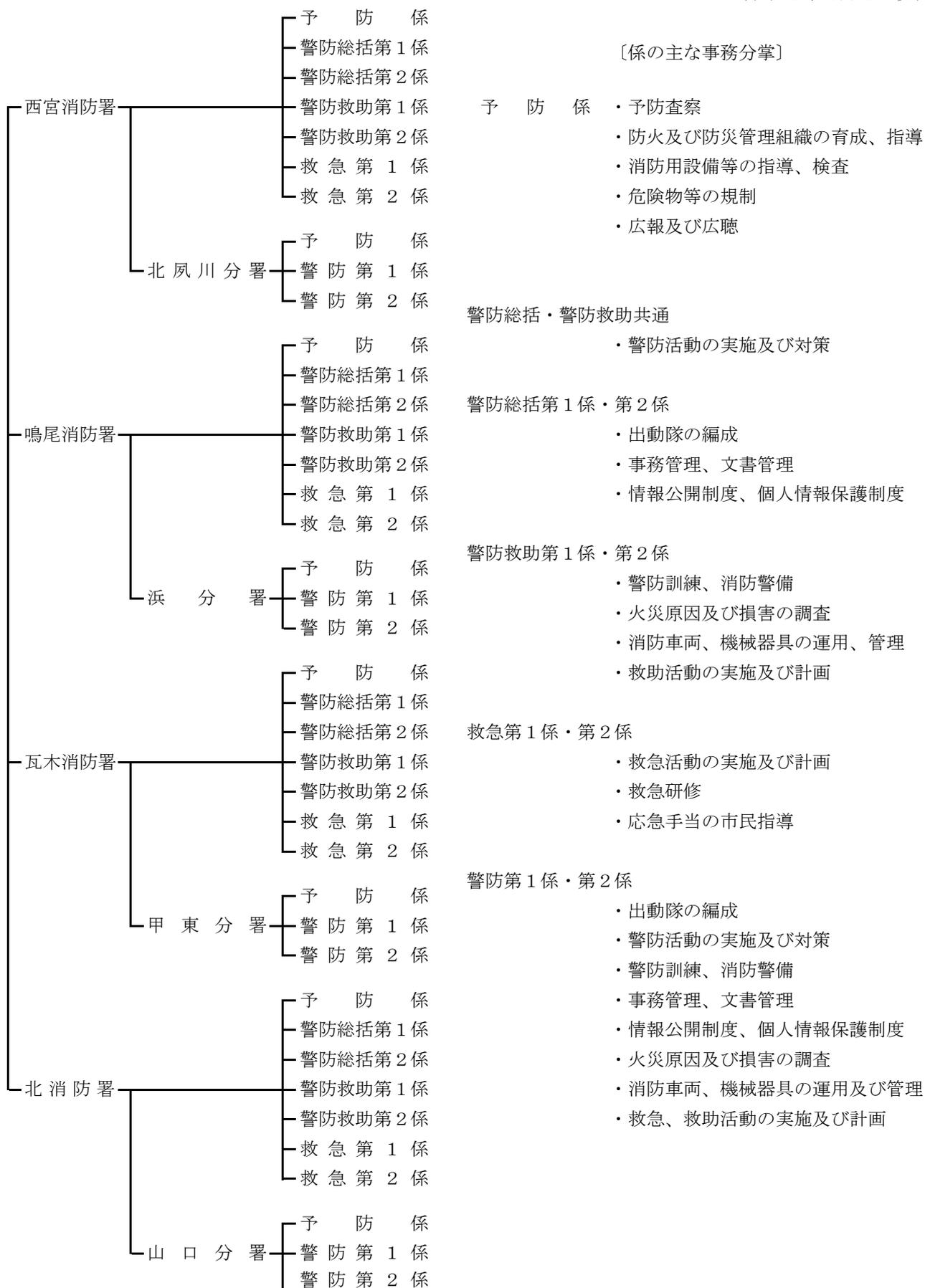
(令和4年4月1日現在)

[係の主な事務分掌]



消防署の組織及び事務分掌

(令和4年4月1日現在)



職 員 配 置 状 況

(令和4年4月1日現在)

所 属 区分	消 防 局									西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署		
	局 長	総 務 部			警 防 部						本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
		部 長	総 務 課	企 画 課	部 長	予 防 課	指 令 課	警 防 課	救 急 課									
配置人員 (うち女性)	1	1	12 (1)	7	1	7	22 (1)	21	5	74 (2)	39	60 (1)	29	58 (2)	39 (1)	56 (1)	38	
小 計 (うち女性)	1	20 (1)			56 (1)						113 (2)	89 (1)	97 (3)	94 (1)				
計 (うち女性)	470 (9) (派遣職員25名(3)を除く)																	

年 度 別 職 員 数 状 況

(令和4年4月1日現在)

年 度 区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	職 員 数	439	443	434	441	449	463	477	484
採 用	16	17	14	18	23	18	19	17	20
退 職	13	23	11	15	4	5	10	9	

職 員 年 齢 状 況

(令和4年4月1日現在)

年 齢	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳以上
人 数	7	63	65	91	104	58	49	34	24

※ 職員平均 36歳2月

職 員 勤 続 年 数 状 況

(令和4年4月1日現在)

年 数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年～39年	40年以上
人 数	91	78	145	48	36	48	30	19	0

※ 職員平均 14年3月

消防庁舎の概要

(令和4年4月1日現在)

庁舎名	所在地	建築年月	経過	構造	敷地面積	延面積
消防局	西宮市六湛寺町8番28号 西宮市役所第二庁舎 (危機管理センター) 1階～3階	2021.4 (令和3.4)	1年0ヶ月	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上12階建 地下1階 免震構造(中間免震)	2,435.51㎡	16,617.00㎡ のうち 消防局部分 2,529.08㎡
消防局 整備センター	西宮市西宮浜3丁目 5番地	1987.3 (昭和62.3)	35年1ヶ月	鉄骨造 平屋建	946.00㎡	272.53㎡
西宮市消防 訓練施設	西宮市甲子園浜2丁目 10番地	2018.10 (平成30.10)	3年6ヶ月	鉄筋コンクリート造 A棟(7階建) B棟(2階建) C棟(2階建)	8,814.89㎡	963.81㎡ A棟(571.81㎡) B棟(296.00㎡) C棟(96.00㎡)
西宮消防署	西宮市津門大塚町 1番32号	2021.12 (令和3.12)	0年4ヶ月	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 5階建 免震構造(基礎免震)	3,811.37㎡	3,659.77㎡
西宮消防署 北夙川分署	西宮市松風町 4番4号	1984.3 (昭和59.3)	38年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	807.89㎡	567.96㎡
鳴尾消防署	西宮市古川町 2番12号	1980.3 (昭和55.3)	42年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	1,292.81㎡	809.36㎡
		2011.2 (平成23.2)	11年2ヶ月	鉄筋コンクリート造 3階建		348.81㎡
鳴尾消防署 浜分署	西宮市西宮浜3丁目 5番地	1999.10 (平成11.10)	22年6ヶ月	鉄骨造 3階建	1,054.06㎡	990.87㎡
瓦木消防署	西宮市高木東町 15番11号	1988.9 (昭和63.9)	33年7ヶ月	鉄筋コンクリート造 3階建	1,601.01㎡	2,152.73㎡ のうち 瓦木消防署部分 1,280.96㎡
瓦木消防署 甲東分署	西宮市上ヶ原一番町 1番64号	2018.1 (平成30.1)	4年3ヶ月	鉄骨造 3階建	1,076.53㎡ (倉庫敷地除く)	1,237.71㎡
北消防署	西宮市名塩新町 7番地1	1991.3 (平成3.3)	31年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 5階建	1,959.38㎡	2,011.47㎡
北消防署 山口分署	西宮市山口町下山口4丁目 1番20号	1985.3 (昭和60.3)	37年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	670.24㎡ (倉庫敷地除く)	477.82㎡

消防自動車等保有状況

(令和4年4月1日現在)

車種別 所属別		合 計	ポ ン プ 車	タ ン ク 車	は し ご 車	化 学 車	救 助 工 作 車	活 動 支 援 車	救 急 車	司 令 車	指 揮 車	指 揮 広 報 車	査 察 広 報 車	人 員 搬 送 車	防 火 指 導 車	連 絡 車	可 搬 式 動 力 ポ ン プ
計		78	9	9	4	2	4	16	14	1	2	3	8	2	1	3	24
消防局	消防局	10						4		1	1			1	1	2	3
	整備センター	10	(2)	(1)		(1)		2	(3)							1	2
西宮	本署	11	1	1	1	1	1	2	2			1	1				2
	北夙川	5	1	1				1	1				1				3
鳴尾	本署	9	1	1	1		1	1	2			1	1				2
	浜	5		1				1	1				1	1			1
瓦木	本署	9	1	1	1		1	1	2			1	1				2
	甲東	5	1	1				1	1				1				3
北	本署	9	1	1	1		1	2	1		1		1				3
	山口	5	1	1				1	1				1				3

※ ()は非常用車両

消防情勢の推移

(令和4年4月1日現在)

区分 年	人 口	世 帯 数	面 積 (km ²)	消 防 職 員 数 (条 例 定 数)	消 防 車 両 数	火 災 件 数	損 害 額 (千円)	救 急 出 動 件 数	救 助 出 動 件 数
平成20年 (2008年)	472,679	205,565	100.18	426	70	116	62,755	17,853	233
平成21年 (2009年)	474,779	207,768	100.18	426	70	135	117,695	18,065	213
平成22年 (2010年)	477,270	209,876	100.18	426	71	157	99,921	19,713	301
平成23年 (2011年)	478,538	211,317	100.18	426	72	144	150,134	20,689	282
平成24年 (2012年)	479,014	212,781	100.18	426	74	113	77,330	21,037	328
平成25年 (2013年)	480,672	213,228	100.18	426	75	112	91,106	22,131	348
平成26年 (2014年)	482,301	214,887	100.18	426	75	117	178,809	22,416	326
平成27年 (2015年)	483,132	216,003	100.18	426	75	110	57,718	22,373	416
平成28年 (2016年)	484,560	217,815	100.18	426	76	86	262,394	22,850	436
平成29年 (2017年)	485,025	219,305	100.18	522	76	96	34,569	23,059	452
平成30年 (2018年)	484,152	220,123	100.18	522	76	97	146,023	24,723	460
令和元年 (2019年)	483,713	221,382	100.18	522	76	85	33,560	25,091	436
令和2年 (2020年)	483,744	222,844	100.18	522	77	84	137,772	21,602	450
令和3年 (2021年)	483,641	224,624	100.18	522	77	81	171,534	22,230	481
令和4年 (2022年)	482,204	225,568	100.18	522	78	—	—	—	—

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 災害件数は暦年で計上

家庭防火クラブ・自主防災組織等結成状況

(令和4年4月1日現在)

区分 署別		家庭防火クラブ		幼年消防クラブ		少年消防クラブ		自主防災組織
		クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	組織数 (防災会)
西宮消防署	小計	3	38	4	193			52
	本署	2	26	2	89			29
	北夙川	1	12	2	104			23
鳴尾消防署	小計	2	20	4	259	1	25	30
	本署	2	20	4	259	1	25	14
	浜							16
瓦木消防署	小計	2	31	4	243			74
	本署	1	14	3	211			31
	甲東	1	17	1	32			43
北消防署	小計	3	66	3	132			71
	本署	2	52	1	62			58
	山口	1	14	2	70			13
合計		10	155	15	827	1	25	227

消防協力隊結成状況

(令和4年4月1日現在)

No.	事業所名	隊員数(名)
1	伊藤ハム株式会社 西宮工場	10
2	新明和工業株式会社	10
3	JFEアドバンテック株式会社	10
4	JFEスチール株式会社東日本製鉄所 西宮工場	100
5	日本盛株式会社	10
6	株式会社指月電機製作所	34
7	極東開発工業株式会社	42
8	大関株式会社	120
9	阪急電鉄株式会社 西宮車庫	57
10	辰馬本家酒造株式会社	6
11	ダイハツ工業株式会社 西宮部品センター	210
12	日立物流コラボネクスト株式会社 近畿商品センター	10
13	医療法人 明和病院	10
14	鳴尾浜連絡会	300
15	株式会社甲子園オートセンター	10
16	阪急バス株式会社 山口営業所	10
17	読売ゴルフ株式会社	23
18	西宮浜産業団地協議会	741
19	一般社団法人 西宮市医師会	10
20	阪急バス株式会社 西宮営業所	5
21	学校法人 関西学院	100
22	阪神流通センター協同組合連合会	97
23	医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院	10
24	株式会社 戸崎組	10
25	第一建設機工株式会社	6
26	徳山土木株式会社	15
合計	26団体 (事業所)	1,966

消 防 水 利 の 状 況

(令和4年4月1日現在)

種 別		区 分	令 和 2年度末	令 和 3 年 度			所 属 別			
				増	減	計	西宮	鳴尾	瓦木	北
消 火 栓	公 設	150mm未満	1,937	3	5	1,935	742	430	459	304
		150mm以上	1,917	3	3	1,917	659	493	511	254
	私 設		169			169	13	80	70	6
	工 水		95			95	26	69		
小 計			4,118	6	8	4,116	1,440	1,072	1,040	564
防 火 水 槽	公 設	40m ³ 未満	60		2	58	18	10	13	17
		40m ³ 以上	394	1		395	99	84	76	136
		60m ³ 以上	8			8	2	1	4	1
		100m ³ 以上	45	1		46	16	13	8	9
	私 設	40m ³ 未満	27		1	26	12	3	7	4
		40m ³ 以上	855	11	9	857	287	266	235	69
		60m ³ 以上	72	3		75	27	29	14	5
		100m ³ 以上	76		1	75	15	40	15	5
小 計			1,537	16	13	1,540	476	446	372	246
消 防 用 水	40m ³ 未満		1			1		1		
	40m ³ 以上		17			17	2	9		6
	60m ³ 以上		18			18	6	11	1	
	100m ³ 以上		28			28	3	9	14	2
井 戸	公 設		11			11	6	5		
	私 設		9			9	2	7		
貯 水 槽	公 設									
	私 設		121		2	119	62	21	28	8
そ の 他 の 水 利	受 水 槽		22			22	11	5	4	2
	河 川		90	1		91	33	12	35	11
	海 水		8			8		8		
	池		17			17	6	5	2	4
	プ ー ル		81	1		82	22	28	24	8
	マンホール		1			1		1		
	溝 水					0				
合 計			6,079	24	23	6,080	2,069	1,640	1,520	851

開 発 行 為 に 伴 う 消 防 水 利 事 務 処 理 状 況

開発件数		42	水利あり	水利なし	開発事前協議		110		
			15	27					
消 防 水 利									
区 分	消 火 栓	防 火 水 槽			貯 水 槽		そ の 他 の 消 防 水 利		
		100 m ³ 以 上	60 m ³ 以 上	40 m ³ 以 上	地 中 梁	蓄 熱 槽	消 防 用 水	ブ 採 ル 水 口	池
小計			3	10					2
合計		15							

消防相互応援協定締結状況

(令和4年4月1日現在)

名称	締結都市等	応援区域	締結年月日
7市1町消防相互応援に関する覚書	尼崎市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町、三田市	各市町全域	平成13年3月1日
兵庫県道高速北神戸線上の消防相互応援に関する覚書	宝塚市	阪神高速道路北神戸線の西宮市にかかる区域	平成15年4月21日
兵庫県道高速大阪西宮線及び高速神戸西宮線(3号神戸線)上並びに兵庫県道高速湾岸線(5号湾岸線)上の消防相互応援に関する覚書	尼崎市	阪神高速道路の西宮市及び尼崎市にかかる区域	平成6年3月15日
	芦屋市	阪神高速道路の西宮市及び芦屋市にかかる区域	平成6年3月25日
名神高速道路内の尼崎・豊中・西宮各インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書(同覚書)	尼崎市・豊中市	西宮IC、豊中IC間の名神高速道路上	昭和39年8月31日(協定) 昭和39年9月5日(覚書)
神戸市・西宮市消防相互応援協定(同覚書)	神戸市	西宮市、神戸市域	平成19年1月18日(協定) 平成19年1月18日(覚書)
中国道のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定(同覚書)	川西市、伊丹市、宝塚市、三田市、神戸市、三木市、北はりま、姫路市、西はりま	中国道のうち兵庫県の区域	平成27年9月26日(協定) 平成29年2月6日(覚書)
大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定(同覚書)	大阪市、堺市、豊中市、東大阪市、池田市、吹田市、八尾市、松原市、柏原羽曳野藤井寺消防組合、高石市、尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市	各市全域	平成26年1月31日(協定) 平成26年1月31日(覚書)
兵庫県広域消防相互応援協定(同覚書)	阪神地域、神戸地域、東播地域、西播地域、但馬地域の各市町長等	兵庫県下	平成25年10月23日(協定) 平成31年3月26日(覚書)
山陽自動車道消防相互応援協定(同覚書)	三田市、神戸市、三木市、小野市、加古川市、姫路市、西はりま、赤穂市、東備消防組合	神戸JCTから備前ICまでの区間(三木JCTから神戸西ICまでの区間及び播磨自動車道を含む)	平成30年4月1日(協定) 平成29年2月6日(覚書)
近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定(同覚書)	川西市、猪名川町、宝塚市、三田市、神戸市	近畿自動車道名古屋神戸線のうち兵庫県の区域	平成30年3月18日(協定) 平成30年3月18日(覚書)
大阪市、西宮市消防相互応援協定(同覚書)	大阪市、西宮市	兵庫県道高速大阪西宮線下り尼崎市、西宮市境界から西宮入口までの区域 大阪府道高速湾岸線上り大阪市、尼崎市境界から中島入口までの区域	令和4年3月18日(協定) 令和4年3月18日(覚書)

庁舎配置及び管轄区域



北消防署山口分署



北消防署



瓦木消防署甲東分署



西宮消防署北夙川分署



瓦木消防署



西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）
西宮市消防局



西宮消防署



鳴尾消防署



消防局整備センター



鳴尾消防署浜分署



西宮市消防訓練施設

総

務



初任教育「査閲」

総務の概要

1 予算執行

消防局車両等整備事業として、耐用年数が経過した水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、高規格救急自動車2台、人員搬送車1台を更新するとともに、高規格救急自動車1台を増車することにより、消防力の充実強化を図った。

令和3年4月に消防本部を西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）へ移転し、運用を開始したほか、消防庁舎等整備事業として、西宮消防署については消防庁舎棟が完成し、令和4年2月に運用を開始した。引き続き車庫・訓練棟の建設工事を進め、令和4年11月末の完成を目指す。さらに、瓦木消防署改修工事及び鳴尾消防署浜分署改修設計を行うとともに、救急ワークステーションについては、（仮称）西宮総合医療センター敷地内での整備に向けた取組みを進めた。

消防団車両等整備事業として、耐用年数が経過した消防ポンプ自動車1台を更新した。

消防団車庫整備事業として、安井分団車庫の建替工事に伴う設計を行い、今津分団車庫の建替工事を実施し、消防団の体制整備に努めた。

2 研修

複雑多様化する災害に即応するなど、市民が安心して暮らせるまちづくりの実現を目指していくためには、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中であっても、各種業務の最新の専門知識や高度な技術の習得が不可欠であることから、消防大学校や兵庫県消防学校、救急救命士養成課程等、必要な研修へ消防職員を派遣するとともに、消防業務に必要な資格取得の講習会等にも派遣して潜水士等の資格を取得させ、組織力の維持向上に努めた。加えて、市研修厚生課主管の研修等へも消防職員を派遣するとともに、西宮市消防職員人材育成基本方針を基に策定した令和3年度西宮市消防職員訓練、研修計画に沿って、感染防止対策を徹底しながら、教養研修等の職場研修を行い、職員個々の能力開発に努めた。さらに、重点目標である人材育成を推進させるため、指導的立場の消防司令補及び消防士長に対して、消防の業務上必要となる指導の厳しさとパワーハラスメントとの違いに重点を置いた研修を行い、必要な知識を習得させた。

3 事務管理

消防行政の公正な運営を確保するため、西宮市消防文書取扱規程及び関係条例等に基づき、適正な文書管理に努めた。

また、職員用ノートパソコン等、OA機器の効果的な配置及び文書管理システムの有効活用により、適正な事務管理に努めた。

消 防 予 算

(当初予算 単位：千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減
	消防費		△ 減
	7,071,686	7,839,879	△ 768,193
消 防 費	5,471,229	5,294,763	176,466
職 員 の 給 与 費	4,678,021	4,558,749	119,272
消 防 職 員 研 修 事 務 経 費	23,244	23,956	△ 712
消 防 庁 舎 維 持 管 理 事 業 経 費	118,774	115,676	3,098
通 信 指 令 業 務 経 費	372,978	383,971	△ 10,993
消 防 局 車 両 運 用 事 務 経 費	82,632	38,016	44,616
消 防 活 動 業 務 経 費	15,721	29,323	△ 13,602
救 助 活 動 業 務 経 費	5,810	6,292	△ 482
消 防 水 利 維 持 管 理 事 業 経 費	66,416	46,121	20,295
消 防 音 楽 隊 運 営 事 業 経 費	1,190	1,170	20
予 防 活 動 推 進 事 業 経 費	1,782	1,785	△ 3
救 急 活 動 業 務 経 費	35,481	23,980	11,501
一 般 事 務 経 費	69,180	65,724	3,456
消 防 団 費	137,097	126,575	10,522
消 防 団 運 営 事 業 経 費	130,225	120,451	9,774
消 防 団 設 備 維 持 管 理 事 業 経 費	6,872	6,124	748
消 防 施 設 整 備 費	1,394,647	2,350,038	△ 955,391
消 防 団 車 両 等 整 備 事 業 費	21,095	20,866	229
消 防 団 車 庫 整 備 事 業 費	78,796	83,904	△ 5,108
消 防 庁 舎 等 整 備 事 業 費	1,041,451	1,974,258	△ 932,807
消 防 局 車 両 等 整 備 事 業 費	208,200	193,149	15,051
消 防 水 利 等 整 備 事 業 費	39,000	74,000	△ 35,000
通 信 施 設 等 整 備 事 業 費	6,105	3,861	2,244
水 防 費	68,713	68,503	210
水 防 対 策 事 業 経 費	68,713	68,503	210

一 般 会 計 予 算 と 消 防 予 算 の 推 移

年度別	区分	市一般会計 (千 円)	消防費 (千 円)	比 率 (%)
	平成25年度	当 初 予 算	160,941,007	5,741,263
	決 算	161,004,830	5,596,433	3.48
平成26年度	当 初 予 算	167,840,289	6,320,155	3.77
	決 算	167,558,215	5,655,973	3.38
平成27年度	当 初 予 算	174,942,563	5,079,023	2.90
	決 算	170,715,254	5,014,876	2.94
平成28年度	当 初 予 算	174,685,506	5,401,281	3.09
	決 算	166,852,021	5,169,953	3.10
平成29年度	当 初 予 算	176,623,116	6,320,530	3.58
	決 算	169,364,942	6,190,503	3.66
平成30年度	当 初 予 算	178,056,028	6,002,811	3.37
	決 算	172,675,344	6,003,544	3.48
令和元年度	当 初 予 算	184,073,481	5,725,540	3.11
	決 算	175,091,370	5,487,523	3.13
令和2年度	当 初 予 算	193,080,562	6,601,294	3.42
	決 算	235,208,367	6,170,706	2.62
令和3年度	当 初 予 算	193,856,204	7,839,879	4.04
	決 算	(未決算)	(未決算)	(未決算)
令和4年度	当 初 予 算	195,828,360	7,071,686	3.61
	決 算	-	-	-

消 防 予 算 市 民 負 担 の 推 移

(各年度4月1日現在)

年度別	区分	消防予算 (千 円)	人 口 (人)	世 帯 数 (世 帯)	負 担	
					市民1人当り (円)	1世帯当り (円)
平成25年度		5,741,263	480,672	213,228	11,944	26,925
平成26年度		6,320,155	482,301	214,887	13,104	29,412
平成27年度		5,079,023	483,132	216,003	10,513	23,514
平成28年度		5,401,281	484,560	217,815	11,147	24,798
平成29年度		6,320,530	485,025	219,305	13,031	28,821
平成30年度		6,002,811	484,152	220,123	12,399	27,270
令和元年度		5,725,540	483,713	221,382	11,837	25,863
令和2年度		6,601,294	483,744	222,844	13,646	29,623
令和3年度		7,839,879	483,641	224,624	16,210	34,902
令和4年度		7,071,686	482,204	225,568	14,665	31,351

職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(令和3年度中)

階 級 研 修 名		合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
消 防 大 学 校	緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	1	1				
	専科教育	火災調査科	1		1			
		新任教官科	1		1			
	その他	査察業務マネジメントコース	1		1			
		女性活躍推進コース	1			1		
消防大学校特別講習会		1			1			
県消防学校	初任教育		17				17	
	専科教育	救助科	3				3	
		救急科	16					16
		火災調査科	2			2		
		予防査察科	3		1	1	1	
	特別教育	潜水科	2				2	
		通信指令科	1			1		
		災害現場指揮科	3		3			
	幹部教育	初級幹部科	3				3	
	その他	惨事ストレス研修	2	2				
		山岳用救助器具取扱技術研修	2					2
	救急救命士養成課程		4				1	3
	指導救命士養成研修		1		1			
ビデオ喉頭鏡追加講習		8			1	7		
令和3年度消防職員安全衛生管理研修会		2	2					
令和3年度総務実務研修会及び消防財政実務研修会		2		1	1			
ハラスメント等相談窓口相談員向けWeb研修会		1		1				
令和3年度消防長研修会		1	1					
令和3年度公務災害補償事務担当研修会		1			1			
第1種衛生管理者講習会		3		3				
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習		4				2	2	
2級小型船舶操縦士免許試験受験準備講習会		2				2		
2級小型船舶操縦士免許更新講習		2			1		1	
大型自動車第一種免許取得のための教習		3				1	2	
中型自動車第一種免許のための教習		3				1	2	
2級ジーゼル自動車整備士講習会		1				1		
県下防火対象物関係違反是正事例研究会		2		1	1			
違反是正事例発表会		1			1			
日本火災学会研究発表会		1			1			
建築防火・防災WEB講習		1			1			
令和3年度消防用設備等講演会		8	1	3	3	1		
令和3年度違反是正推進部会阪神ブロック部会		15	1	3	5	6		
火災科学セミナー		8	1	3	3	1		
ハロン消火剤と予防行政に関する研修会2021		8	1	3	3	1		
Zoomによるオンラインセミナー「やさしく学べる建築法規シリーズ/建築物の防火・避難施設編」		1			1			
令和3年度「違反是正の推進に係る実務研修【区分C】」		7	1	3	3			

職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(令和3年度中)

階 級 研 修 名	合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
建築物の防火避難規定の解説 2016 (第2版) 講習会	1			1			
令和3年度危険物事故防止講習会	5			2	3		
危険物保安技術講習会	1		1				
第4回通信指令シンポジウム	1			1			
安全運転管理者等講習	10	9	1				
整備主任者研修	4		1	2			1
緊急車両運転者特別研修	2				1	1	
火災調査担当者会議	1			1			
国際消防救助隊セミナー	1			1			
航空機連携講習会	1		1				
大阪市消防局国際消防救助隊員研修	2			2			
国際消防救助隊連携訓練	1		1				
国際緊急援助隊救助チーム携行資機材メンテナンス会	1			1			
ロープ高所作業特別教育	1				1		
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	1					1	
第69回全国消防技術者会議	2		1	1			
近畿救急医学研究会 救急隊員部会	12		6	3	2	1	
阪神・丹波地域メディカルコントロール協議会 救急隊員研修会	124		6	42	38	38	
阪神地区消防長会救急隊員研修会	48		6	14	15	9	4
周産期対応特別救急研修	6			2	3	1	
特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	2	1	1				
全国救急隊員シンポジウム	1		1				
合 計	378	21	54	106	96	96	5

(派遣研修) その2

(令和3年度中)

階 級	合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
研 修 厚 生 課 等 研 修	令和2年度分 係長第1部研修(前期)	5		5			
	令和3年度 係長第1部研修(前期)	4		4			
	係長第1部研修(前期)未実施分の動画配信	9		9			
	令和3年度 係長法律研修	4		4			
	令和3年度 係長第1部研修(マネジメント)	4		4			
	令和3年度 係長第1部研修(メンタルヘルス)	4		4			
	令和3年度 係長第2部研修	6		6			
	令和2年度分 課長第1部研修(春期)	8	8				
	令和3年度 課長第2部研修(春期)	5	5				
	【第1回】課長第1部研修(春期)未実施分の動画配信	7	7				
	【第2回】課長第1部研修(春期)未実施分の動画配信	7	7				
	令和3年度 課長第1部研修(秋期)	3	3				
	令和3年度 課長第2部研修	6	6				
	再任用職員予定者研修	2	2				
	クレーム対応力向上研修(組織対応編)	4	1	3			
	クレーム対応力向上研修(法的対応編)	3	1	2			
	クレーム対応力向上研修(窓口対応編)	3			1		2
	自殺対策事業ゲートキーパー研修 (自殺危機初期介入スキルワークショップ)	2		2			
	令和3年度「男女共同参画の視点による災害対応研修」	1	1				
	(e-ラーニング)マイナンバー制度研修	23		8	9	5	1
	性の多様性に関する研修	1			1		
(公財)兵庫県市町村振興協会「パソコン研修」	4			1	1	2	
兵庫県市町村振興課 「給与事務担当職員研修」	1		1				
合 計	116	41	52	12	6	5	

(職場研修)

(令和3年度中)

階 級 研 修 名		実 施 回 数	受 講 者	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
総務課	条 件 付 採 用 時 研 修	1	16					16	
	新 任 課 長 級 特 別 研 修	1	3	3					
	新 任 係 長 級 特 別 研 修	1	4		4				
	採 用 後 定 時 研 修 (3 年 目)	1	17					17	
	採 用 後 定 時 研 修 (5 年 目)	1	16					16	
	採 用 後 定 時 研 修 (6 年 目)	1	14				2	12	
	令 和 3 年 度 採 用 者 に 対 す る 特 別 研 修	1	17					17	
	再 任 用 予 定 者 研 修	1	2	2					
	昇 任 予 定 者 研 修	2	24				11	13	
	指 導 力 向 上 研 修	1	18			7	11		
	令 和 3 年 度 採 用 者 (救 急 救 命 士 資 格 取 得 者) の 救 急 研 修	1	2					2	
企 画 課	財 務 会 計 シ ス テ ム 取 扱 研 修	1	8		2	4	2		
予 防 課	予 防 事 務 調 査 研 究 会	4	54				4	50	
	火 災 予 防 行 政 執 行 能 力 向 上 研 修	1	39	1	7	9	8	14	
	予 防 実 務 研 修	2	16				15	1	
指 令 課	新 規 指 令 課 異 動 者 研 修	20	20				20		
	指 令 課 実 務 研 修	10	10		4	4	1		1
	マ ニ ュ ア ル 指 令 訓 練	4	43		8	21	10	4	
	非 常 招 集 伝 達 訓 練	4	168	18	48	64	32	4	2
	口 頭 指 導 に 係 る 救 急 研 修 (口 頭 指 導 シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 含 む)	130	799		156	402	179	62	
	口 頭 指 導 研 修 (外 部 講 師 に よ る 研 修)	2	24	1	5	11	5	2	
	可 搬 型 指 令 シ ス テ ム 取 扱 訓 練	2	21	1	4	10	5	1	
	北 消 防 署 集 中 受 信 訓 練	4	56		7	7	15	27	
	通 信 研 修	2	24	1	5	11	5	2	
警 防 課	緊 急 消 防 援 助 隊 に 関 す る 研 修 会	2	46	8	9	18	11		
	整 備 研 修	1	1					1	
	任 命 調 査 員 研 修	5	53			2	23	28	
	火 災 調 査 研 修	1	21			5	3	13	
	新 規 潜 水 士 免 許 取 得 者 実 技 研 修	5	12					12	
	局 内 潜 水 訓 練	2	16				14	2	
	救 助 活 動 研 修 (水 難)	1	21			2	10	9	
	新 規 救 助 小 隊 長 研 修	1	6				6		
	特 殊 災 害 対 応 訓 練	2	84	2	6	15	26	35	
	火 災 対 応 救 助 研 修	1	16				3	13	
	墜 落 制 止 用 器 具 及 び ロ ー プ 高 所 作 業 特 別 教 育 に 関 す る 研 修	1	21			3	8	10	
	大 規 模 自 然 災 害 対 応 訓 練	4	61		3	18	26	14	
	自 動 注 射 器 研 修	41	107		10	27	49	21	
救 急 課	救 急 救 命 士 就 業 前 研 修	1	6				2	4	
	救 急 救 命 士 定 期 研 修	1	210		20	51	92	47	
	救 急 救 命 士 事 前 研 修	1	3				2	1	
	救 急 隊 員 現 場 実 習 研 修	11	33		3	2	13	15	
	指 導 救 命 士 伝 達 研 修	1	32		2	11	12	7	
	新 規 救 急 小 隊 長 研 修	1	8				8		
合 計		281	2,172	37	303	704	633	492	3

消防吏員階級別資格取得状況

(令和4年4月1日現在)

階 級		合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士		
種 別									
消 防 吏 員 数		495	29	68	96	123	179		
予 防	消 防 設 備 士	甲 種	52	5	11	14	19	3	
		乙 種	103	9	17	16	39	22	
	危 険 物 取 扱 者	甲 種	8		1	2	4	1	
		乙 種	435	17	42	120	120	136	
		丙 種	40	17	10	3	8	2	
	予 防 技 術 資 格 者	防 火 査 察 専 門 員	78	3	12	20	27	16	
		消 防 用 設 備 等 専 門 員	58	3	11	14	19	11	
		危 険 物 専 門 員	67	3	14	18	24	8	
	通 信	第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	475	29	68	96	123	159	
技 術	自 動 車 運 転 免 許	大 型	1 種	226	17	52	61	65	31
			2 種	1			1		
		普 通 (中 型 ・ 準 中 型 含 む)	1 種	270	12	16	35	60	147
			2 種	17	5	7	4		1
	自 動 車 整 備 士	2 級	6		2	3	1		
		3 級	27	2	9	7	8	1	
救 急	救 急 隊 員		475	29	68	96	123	159	
	救 急 救 命 士		121	10	17	29	40	25	
	気 管 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		65	5	14	26	20		
	薬 剤 投 与 認 定 救 急 救 命 士		106	5	14	29	39	19	
	拡 大 二 行 為 救 急 救 命 士		100	1	14	29	38	18	
	ビ デ オ 硬 性 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		58	2	14	25	17		
	指 導 救 命 士		7		7				
救 助	救 助 隊 員		184		2	56	56	70	
	小 型 移 動 式 ク レ ーン 修 了 者		120	9	23	41	34	13	
	潜 水 士		226	16	46	58	52	54	
	酸 欠 講 習 修 了 者		106	7	25	29	30	15	
	ガ ス 溶 接 技 能 講 習 修 了 者		66	14	22	18	12		
	玉 掛 技 能 講 習 修 了 者		127	9	19	39	38	22	
	一 般 毒 物 劇 物 取 扱 者		4	1	1	1	1		
	小 型 船 舶 操 縦 士	2 級 (旧 4 級) 以 上	92	9	29	25	20	9	
そ の 他	第 1 種 衛 生 管 理 者		45	24	16	4	1		
	特 定 化 学 物 質 等 講 習 修 了 者		12	4	7	1			
	有 機 溶 剤 作 業 主 任 者		9		1	6	2		

公務災害等発生状況

(令和3年度中)

区分	勤務態様別	発生件数	被災者数	階 級 別						傷 病 程 度 別								
				消 防 監 上	消 防 司 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	通 院			入 院				死 亡
											一 週 間 未 満	一 週 間 〜 一 カ 月	一 カ 月 〜 三 カ 月	三 カ 月 以 上	一 週 間 未 満	一 週 間 〜 一 カ 月	一 カ 月 〜 三 カ 月	
公 務 災 害	火 災																	
	現 場 救 急	1	1				1				1							
	救 助																	
	そ の 他 災 害																	
	水 防 災																	
	訓 練 中	3	3				1		2		1	1	1					
	一 般 業 務 中	3	3				2	1			1	2						
	そ の 他	1	1					1				1						
通 勤 災 害	2	2					1	1		1		1						
合 計	10	10				4	3	3		1	3	4	2					

消防表彰等の状況

(令和3年度中)

			個人	団体
職員	市長表彰	永年勤続職員	17	
	消防庁長官表彰	功 勞 章	4	
		永年勤続功労章	3	
		消防防災科学技術賞		1
	兵庫県知事表彰	功 勞 章	5	
		永年勤続功労章	7	
	全国消防長会会長表彰	永年勤続功労者	4	
		感 謝 状	1	
	全国消防協会会長表彰	全国優良消防職員	1	
	全国消防学校長会会長表彰	全国消防学校職員	1	
	市医師会会長感謝状	救急業務功績	1	
	局長・部長・署長表彰	勤務成績優秀表彰	33	
		優秀機関員表彰	36	
		救助活動表彰		2
消防業績表彰		3	2	
市民	消防局長表彰	人命救助表彰	14	
		消防業務協力	12	7
	消防署長表彰	人命救助表彰		
		消火協力表彰	1	

消防音楽隊の状況

(令和4年4月1日現在)

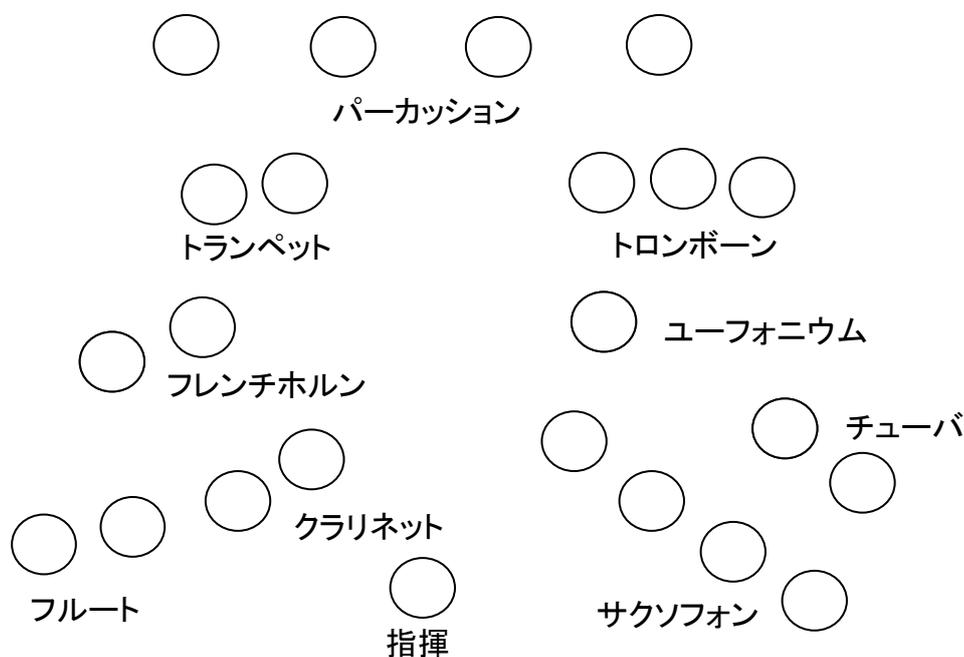
1 階級別音楽隊員状況

階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計
人員	1	7	7	7	2	24

2 楽器保有状況

楽器名	数量	楽器名	数量
ピッコロ	1	スーザフォン	2
フルート	3	クォードドラム	1
クラリネット	6	バスドラム	1
アルトサクソフォン	2	コンサートバスドラム	1
テナーサクソフォン	2	マーチングスネアドラム	1
バリトンサクソフォン	1	マーチングバスドラム	1
トランペット	5	シンバル	3
フレンチホルン	2	ドラムセット	1
テナートロンボーン	3	グロッケン	1
バストロンボーン	1	キーボード	1
ユーフォニウム	1	シンセサイザー	1
チューバ	3	コンガ	2
チャイム	1	シロホン	1
ドラ	1	ティンパニ	3

3 消防音楽隊配置



4 出演状況

(令和3年度中)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

広報及び広聴



西宮市消防局 × 大手前大学 建築&芸術学部
火災予防広報映像

広報及び広聴の概要

1 広報

安全で安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、消防行政の情報を市民に正しく伝え理解と協力を得るため、市政ニュース、さくらFM、新聞その他広報媒体を活用した消防広報の推進に努めるとともに、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページを用いて、より多くの市民に新鮮で豊富な情報を発信した。併せて、フェイスブック・YouTube・ツイッター等のSNSでも消防広報を実施した。

2 広聴

広聴については、広聴機会の充実と利便性の向上を目的に、令和3年度から全庁的な取り組みとして導入された「市民の声システム」を適切に運用するとともに、市民からの問合せ等を迅速かつ的確に処理して、消防への信頼確保に努めた。

このうち、消防に関する提案や要望、意見等の広聴件数は5件で、内訳は、総務2件、予防1件、指令1件、警防1件となっている。

広報活動状況

(令和3年度中)

種 別	回数	参集人員	消防職員	実施時間
巡 回 マ イ ク	969		2,728	914時間25分
消 防 教 室	73	7,012	290	86時間15分
幼年消防クラブ活動	19	841	25	14時間40分
少年消防クラブ活動				
家庭防火クラブ活動				
自主防災組織	107	962	373	56時間20分
合 計	1,168	8,815	3,416	1,071時間40分

資料配布及び刊行物発行

(令和3年度中)

項 目	部 数	対 象
ポ ス タ ー	2,069	防 火 対 象 物 、 危 険 物 施 設
防 災 冊 子 等	434	防 火 対 象 物 、 危 険 物 施 設

広聴事務処理状況

(令和3年度中)

区 分		年 間 (件)
事 務 分 掌 分 類	総 務	2
	企 画	
	予 防	1
	指 令	1
	警 防	1
	救 急	
合 計		5

消防情報の提供(報道機関等)

(令和3年度中)

区分 情報提供先	合 計	予 防	警 防	救 急	そ の 他
新聞等 (新聞・テレビ・ラジオ他)	52	9	11	16	16
市広報紙等 (市政・庁内ニュース他)	81	36	12	18	15
ホームページ	132	53	22	16	41
合 計	265	98	45	50	72

予 防 行 政



大型商業施設における広報映像の配信

予 防 行 政 の 概 要

1 住宅用火災警報器の設置促進

住宅用火災警報器について、未設置住宅や条例の設置基準に適合していない住宅に対して、設置の徹底を働きかけ、また、既に設置されている住宅については、作動確認を行い、電池切れの場合は速やかに交換する等、適切な維持管理を呼びかけた。

また、火災発生時に人命危険が高い高齢者等に対しては、住宅防災診断を通じて、住宅防火に関する知識の普及を図った。

2 予防広報の推進

市内で発生した火災原因の調査結果について警防課と情報共有し、こんろ火災、放火火災、その他火災発生の上位を占める原因や特に注意喚起すべき情報について、市政ニュース、ホームページなどの広報媒体を活用し、類似火災発生の未然防止を図った。

また、住宅用火災警報器の奏功事例、住宅用消火器等の住宅用防災機器に関する情報等、火災から身を守るための情報を併せて発信することで、防火意識の高揚を図った。

さらに、大手前大学と連携し、こんろ火災の注意喚起及び住宅用火災警報器の普及・維持管理に関する映像を制作し、市内各地で放映することで、住宅火災発生の未然防止を図った。

3 予防査察体制の充実強化

屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備が未設置である重大な消防法違反がある防火対象物をはじめ、5年を超えて消防用設備等点検結果報告がなされていない防火対象物や防火管理者未選任の特定防火対象物に対して優先的に査察を行い、消防用設備等の設置・維持管理及び防火管理体制の確立を徹底させた。

また、重大な消防法違反のある防火対象物に対しては、公表制度に基づき、利用者の安全を確保するとともに、機を逸することなく早期の是正を図った。

危険物施設については、施設の位置、構造、設備及び危険物の貯蔵、取扱いについて、法令基準に適合しているか着目し査察を行った。

防火対象物現況表

(令和4年4月1日現在)

用途別		所属別	合計 (棟数)	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
				本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山口分署
合計			12,189	3,328	1,275	2,320	894	2,435	1,018	315	604
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6		1	4		1			
	ロ	公会堂・集会場	8	6							2
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	0								
	ロ	遊技場・ダンスホール	13	9				1	3		
	ハ	性風俗関連特殊営業店等	0								
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	3	1				1			1
3項	イ	待合・料理店等	0								
	ロ	飲食店	126	53	8	10	9	25	2	2	17
4項		百貨店・市場・マーケット等	241	61	24	49	18	54	13	3	19
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	28	6	1	6	1		8	3	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,439	1,621	775	1,225	288	1,532	674	166	158
6項	イ	病院・診療所・助産所	133	39	15	37	4	21	7	4	6
	ロ	老人短期入居施設等	140	28	9	20	14	27	10	10	22
	ハ	老人デイサービスセンター等	216	63	19	36	15	44	11	13	15
	ニ	幼稚園・特別支援学校	72	15	8	10	3	23	9	2	2
7項		小・中・高・大・各種学校	447	47	49	126	25	79	101	13	7
8項		図書館・美術館等	20	2	3	1	7		6	1	
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの	0								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	4	3		1					
10項		車両の停車場、船舶の発着場	12	6		3		2		1	
11項		神社・寺院・教会等	145	54	15	13	9	24	15	5	10
12項	イ	工場・作業場	377	82	8	92	111	31		9	44
13項	イ	自動車車庫・駐車場	245	61	8	70	50	23	1	12	20
14項		倉庫	457	65	3	85	118	26	3	7	150
15項		前各項に該当しない事業所	963	301	55	154	132	145	41	51	84
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,178	414	196	218	36	220	62	8	24
	ロ	イ以外の複合用途対象物	900	388	78	160	54	155	41	5	19
17項		重要文化財等	14	1				1	11		1
18項		50 m以上のアーケード	2	2							

防火管理者選任及び消防計画届出現況表

(令和4年4月1日現在)

用途別		区分	法8条該当対象物			防火管理者選任対象物数			消防計画届出対象物数		
			合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	3	3		2	2		2	2	
	ロ	公会堂・集会場	5	5		5	5		5	5	
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	0								
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	7	4	11	7	4	11	7	4
	ハ	性風俗関連特殊営業店等	0								
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	3	3		3	3		3	3	
3項	イ	待合・料理店等	0								
	ロ	飲食店	113	60	53	107	58	49	107	58	49
4項		百貨店・市場・マーケット等	174	127	47	169	122	47	169	122	47
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	20	20		20	20		19	19	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,331	1,331		1,278	1,278		1,268	1,268	
6項	イ	病院・診療所・助産所	58	56	2	56	54	2	56	54	2
	ロ	老人短期入居施設等	115	115		110	110		110	110	
	ハ	老人デイサービスセンター等	126	113	13	116	104	12	115	103	12
	ニ	幼稚園・特別支援学校	41	39	2	41	39	2	41	39	2
7項		小・中・高・大・各種学校	120	115	5	120	115	5	120	115	5
8項		図書館・美術館等	10	8	2	10	8	2	10	8	2
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの	0								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	4	2	2	3	2	1	3	2	1
10項		車両の停車場、船舶の発着場	2	2		2	2		2	2	
11項		神社・寺院・教会等	70	54	16	67	52	15	67	52	15
12項	イ	工場・作業場	56	56		56	56		55	55	
13項	イ	自動車車庫・駐車場	0								
14項		倉庫	33	33		32	32		32	32	
15項		前各項に該当しない事業所	277	228	49	266	223	43	262	219	43
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	834	742	92	767	684	83	751	668	83
	ロ	イ以外の複合用途対象物	201	188	13	189	178	11	187	176	11
17項		重要文化財等	0								
合計			3,607	3,307	300	3,430	3,154	276	3,395	3,119	276

防火対象物査察・検査実施状況

(令和3年度中)

用途別		区分	査察状況(※1)		消防用設備検査(※2)	
			防火対象物 (棟数)	査察実施対象物 (棟数)	検査届出対象物 (棟数)	検査実施対象物 (棟数)
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6	3	2	2
	ロ	公会堂・集会場	8	8		
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場・ダンスホール	12	6	1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店等				
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	3	3		
3項	イ	待合・料理店等				
	ロ	飲食店	110	72	5	4
4項		百貨店・市場・マーケット等	237	124	20	20
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	22	25	1	1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,426	927	280	257
6項	イ	病院・診療所・助産所	132	60	11	10
	ロ	老人短期入居施設等	131	105	30	30
	ハ	老人デイサービスセンター等	181	109	23	23
	ニ	幼稚園・特別支援学校	72	40	4	4
7項		小・中・高・大・各種学校	445	176	47	43
8項		図書館・美術館等	20	17	3	3
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	4	1		
10項		車両の停車場、船舶の発着場	12		1	1
11項		神社・寺院・教会等	142	61	5	4
12項	イ	工場・作業場	377	97	23	21
13項	イ	自動車車庫・駐車場	236	51	6	5
14項		倉庫	451	260	25	21
15項		前各項に該当しない事業所	937	266	67	63
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,171	532	153	136
	ロ	イ以外の複合用途対象物	899	138	42	38
17項		重要文化財等	14	14		
18項		50m以上のアーケード	2			
合計			12,050	3,095	749	687

※1 国の調査報告要領に従い17項及び18項以外は延べ面積150㎡以上のものを計上

※2 消防法第17条の3の2により消防用設備等の検査が義務付けられている防火対象物を計上

用途別中高層（5階以上）防火対象物状況

(令和4年4月1日現在)

用途別		区分	合計 (棟)	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17~31	10階 以下 で31 m以 上の もの	
				階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	2	1													1	
	ロ	公会堂・集会場	2	1	1													
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	0															
	ロ	遊技場・ダンスホール	1														1	
	ハ	性風俗関連特殊営業店等	0															
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	1		1													
3項	イ	待合・料理店等	0															
	ロ	飲食店	7	4	1		1	1										
4項		百貨店・市場・マーケット等	1	1														
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	8		2	1	2	1					1				1	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,774	717	384	271	83	46	68	59	23	20	47	31	3	7	15	
6項	イ	病院・診療所・助産所	21	7	8	2					1	1					2	
	ロ	老人短期入居施設等	24	14	7	1							1				1	
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	3	1													
	ニ	幼稚園・特別支援学校	0															
7項		小・中・高・大・各種学校	49	31	10	1					1	1					5	
8項		図書館・美術館等	0															
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの	0															
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	0															
10項		車両の停車場、船舶の発着場	0															
11項		神社・寺院・教会等	5	2	2												1	
12項	イ	工場・作業場	23	14	5												4	
13項	イ	自動車車庫・駐車場	9	1	1	1											6	
14項		倉庫	14	5	3	4											2	
15項		前各項に該当しない事業所	72	43	14	6	1				1						7	
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	261	140	57	26	12	3	3	1	1	2	3				8	5
	ロ	イ以外の複合用途対象物	243	115	57	29	10	10	4	5	4	1	2	1			2	3
17項		重要文化財等	0															
18項		50m以上のアーケード	0															
合計(棟)			2,521	1,099	554	342	109	61	75	65	31	25	54	32	3	17	54	

防火管理に関する講習の実施状況

(令和3年度中)

講習区分	講習回数	受講者数
甲種防火管理新規講習	5	227
甲種防火管理再講習	1	24
防火防災管理新規講習	1	44
防火防災管理再講習		

建築物確認申請等処理状況

(令和3年度中)

合計	新築	増築	改築	修繕	模様替	用途変更	その他
454	349	10				6	89

12条報告・仮使用承認等処理状況

(令和3年度中)

処理別	所屬別	合計	消防局	西宮消防署	鳴尾消防署	瓦木消防署	北消防署
12条報告等協議		21	21				
仮使用承認の協議		7	7				

危険物製造所等設置許可数

(令和4年4月1日現在)

合 計		264	構成比(100%)
製 造 所		4	1.5%
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	54	20.4%
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	3	1.1%
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	10	3.8%
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	64	24.2%
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	6	2.3%
	屋 外 貯 蔵 所	4	1.5%
取 扱 所	給 油 取 扱 所	82	31.1%
	第 1 種 販 売 取 扱 所		
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2	0.8%
	移 送 取 扱 所		
	一 般 取 扱 所	35	13.3%

危険物製造所等類別設置許可数

(令和4年4月1日現在)

種 別		合 計	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	混 在
施 設 別									
合 計		264	1			261			2
製 造 所		4				4			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	54	1			51			2
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	3				3			
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	10				10			
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	64				64			
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	0							
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	6				6			
	屋 外 貯 蔵 所	4				4			
取 扱 所	給 油 取 扱 所	82				82			
	第 1 種 販 売 取 扱 所	0							
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2				2			
	移 送 取 扱 所	0							
	一 般 取 扱 所	35				35			

所属別危険物施設等現況及び査察状況

(令和3年度中)

施設別 所属別		政 令 危 険 物														少 量 危 険 物	指 定 可 燃 物	
		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所							
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	移 送	一 般			
危険物施設等現況	合 計	262	4	52	3	10	64	0	6	4	82	0	2	0	35	486	155	
	消 防 局	39							6		33							
	西 宮	本 署	37		6	3	2	14				2		2		8	125	20
		北 夙 川 分 署	4		1		1	1								1	16	1
	鳴 尾	本 署	50	2	11			18			1	8				10	99	55
		浜 分 署	67	2	19		4	11			2	16				13	99	32
	瓦 木	本 署	11		5			4				1				1	42	2
		甲 東 分 署	9		2		3	2				1				1	12	
	北	本 署	10		2			3			1	3				1	22	
		山 口 分 署	35		6			11				18					71	45
査察状況	査 察 実 施 数	253	5	28	2	9	46	0	14	2	113	0	0	0	34	81	40	
	消 防 局	82							7		75							
	西 宮	本 署	33		3	2	2	11		1		6				8	2	
		北 夙 川 分 署	5		1		1	1		1						1	7	
	鳴 尾	本 署	33	1	5			13		1	1	2				10	9	13
		浜 分 署	48	4	9		3	9		1		10				12	17	9
	瓦 木	本 署	9		2			2		1		3				1	3	1
		甲 東 分 署	10		2		3	2		1		1				1	3	
	北	本 署	6		2			2			1					1	21	
		山 口 分 署	27		4			6		1		16					19	17

液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況

(令和3年度中)

合 計	水 張 検 査				
	小計	10kℓ以下	10kℓを超え 1,000kℓ以下	1,000kℓを超え 2,000kℓ以下	2,000kℓを超えるもの
	0				
0	水 圧 検 査				
	小計	600ℓ以下	600ℓを超え 10kℓ以下	10kℓを超え 20kℓ以下	20kℓを超えるもの
	0				

危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況

(令和3年度中)

合 計	仮 貯 蔵	仮 取 扱
75	32	43

少量危険物・指定可燃物・液化石油ガス等届出施設状況

(令和4年4月1日現在)

区 分	市条例関係					消防法第9条の3関係		
	少量危険物	指定可燃物	放 射 性 等 物 質	火 薬 類	高圧ガス (法9条の 3を除く)	圧 縮 アセチレン	液 化 石 油 ガ ス	毒 劇 物 質
施 設 数	486	155	12	6	48	15	251	13

住宅防災診断実施状況

(令和3年度中)

住宅防災診断実施数			合計
			1,240
訪問診断	実施数	留守宅数	訪問診断小計
	570	670	1,240
自己診断	火災編	地震編	日常事故編

住宅防災診断指導件数

(令和3年度中)

内 容	指導件数
市火災予防条例で、台所・寝室・階段に住宅用火災警報器の設置が義務となっています。火災から命を守るため、設置してください。	192
住宅用火災警報器はきちんと作動するものに取り替えておきましょう。	106
コンセント火災の原因となります。コンセントにホコリがたまらないよう、こまめに掃除しましょう。	61
火災の原因となることがあります。壊れかけている電気コードやガスホースは取り替えておきましょう。	23
暖房器具を使用していない時はスイッチを消しましょう。	10
火災の原因となることがあります。ストーブの上に洗濯物を干さないようにしましょう。	18
放火の要因となることがあります。家の周りにダンボールなどの燃えやすいものは置かないようにしましょう。	18
放火の要因となることがあります。ゴミは収集日の朝に出すようにしましょう。	10
避難の障害、放火の要因となることがあります。階段や廊下に荷物を置かないようにしましょう。	22
避難の障害となってしまいます。避難バルコニーのパーテーション付近には荷物を置かないようにしましょう。	6
消火器は必ず設置しておきましょう。	261
消火器の使い方を覚えておきましょう。	127
寝タバコをすると火事が起こりやすいのでやめましょう。	14
子供が遊びで使わないよう、マッチ・ライターは、子供の目や手の届かないところに保管しておきましょう。	9
火災の危険があります。料理で油を使用するときは、その場から離れないようにしましょう。	16
地震の揺れにより家具類が転倒・落下し怪我をしたり逃げ道をふさがれたりします。ぜひ対策しておきましょう。	124
いざという時のために非常持ち出し袋を用意しておきましょう。	180
避難生活や断水に備えて水を3日分は準備しておきましょう。	155
特に津波が発生した場合は避難が重要となります。地域の指定避難場所や津波避難ビルの場所を確認しておきましょう。	66
学校や勤務先などで被災した場合、誰がどこに避難するのかどのように連絡を取り合うのかなどを話し合っておくことで、安否確認がスムーズにできます。	127

火災統計



西宮消防署 鑑識室・危険物測定室

火災の概要

1 概況

令和3年中の火災は81件で、前年84件と比べ3件減少している。これは、過去10年間では、最も少ない発生件数となっている。火災種別毎では、建物火災が52件（前年56件）、林野火災が1件（前年0件）、車両火災が10件（前年12件）、その他火災が18件（前年16件）となっている。

焼損棟数は63棟（前年62棟）、り災世帯数は49世帯（前年44世帯）、り災人員は109人（前年77人）、焼損面積は1,039㎡（前年498㎡）、火災損害額は1億7,153万4千円（前年1億3,777万2千円）となっている。火災損害額を1件当たりに換算すると211万8千円（前年164万円）となっている。

2 出火状況等

(1) 出火状況

令和3年中の火災は、4.5日に1件の割合で発生している（前年4.3日に1件）。人口1万人当りの出火件数は、1.7件（前年1.7件）である。

(2) 火災種別毎の出火件数

建物火災は、52件（64%）で最も多く、その他火災が18件（22%）、車両火災が10件（13%）、林野火災が1件（1%）となっている。

(3) 月別の出火件数

月別の出火件数は、2月が16件と最も多く発生し、続いて1月の12件、4月の10件となっている。出火件数の少ない月は、5月の1件となっている。

(4) 曜日別の出火件数

曜日別の出火件数は、金曜日が16件と最も多く、続いて日曜日、月曜日、水曜日が12件の順となっている。出火件数の少ない曜日は、土曜日の8件となっている。

(5) 時間別の出火件数

時間別の出火件数は、21時台が6件と最も多く、続いて6時、9時、15時、17時、20時台が5件となっている。23時台は、火災が発生していない。

(6) 消防署別の出火件数

消防署別の出火件数は、西宮消防署が32件、鳴尾消防署が19件、瓦木消防署が18件、北消防署が12件となっている。

3 死者

火災による死者は、5人（前年4人）である。

死者の年齢は、6～64歳の方が3名で、65歳以上が2名となっている。

死者が生じた内訳は、逃げ遅れが5名と全体を占めている。

4 負傷者

火災による負傷者は8人で、前年11人と比べ3人減少している。

負傷者の年齢は、6～64歳の方が6名で、65歳以上が2名となっている。

負傷者が生じた内訳は、消火中が4人、作業中が3人、避難中が1人となっている。

負傷程度は、中等症が2人、軽症が6人となっている。

5 焼損棟数

焼損棟数は63棟で、前年62棟と比べ、1棟増加している。

内訳は、全焼9件（前年4件）、半焼0件（前年2件）、部分焼8件（前年13件）、ぼや46件（前年43件）となっている。

6 リ災世帯・リ災人員

リ災世帯は49世帯で、前年44世帯と比べ5世帯増加し、リ災人員は109人で、前年77人と比べ32人増加している。

内訳は、全損8世帯16人、小損41世帯93人となっている。

7 焼損面積

建物焼損面積は、1,039㎡で、前年498㎡と比べ541㎡増加している。

8 出火原因

出火原因は、「こんろ」が13件で最も多く、続いて、「放火（放火の疑い含む）」10件、「たばこ」9件の順となっている。

(1) 第1位「こんろ」

こんろによる出火件数は13件で、焼損面積が21㎡（前年55㎡）、焼損表面積が71㎡（前年10㎡）、損害額が231万9千円（前年2,033万9千円）となっている。

燃料別に見ると、ガスこんろ等のガスを燃料とする機器が10件（前年17件）で、大半を占めている。

経過別に見ると、「考え違いにより使用を誤る」が5件（前年1件）と最も多くなっている。

(2) 第2位「放火（放火の疑い含む）」

放火による出火件数は10件で、内訳は、建物火災が4件（前年4件）、林野火災が1件（前年0件）、その他火災が5件（前年6件）となっている。

(3) 第3位「たばこ」

たばこによる出火件数は9件で、焼損面積が0㎡（前年45㎡）、焼損表面積が0㎡（前年0㎡）、損害額が3千円（前年1,351万3千円）となっている。

経過別で見ると、「不適當なところに捨てる」が7件（前年6件）で最も多く、主にたばこの不始末が原因となっている。

9 放火の曜日別及び時間別出火状況

曜日別は、月曜日、火曜日、水曜日が2件となっている。また、時間別では、15時及び21時台が最も多くなっている。

10 損害額

損害総額は1億7,153万4千円で、前年1億3,777万2千円と比べ3,376万2千円増加している。また、建物損害額は、損害総額の98%に当たる1億6,811万5千円で、前年1億3,417万6千円と比べ3,393万9千円増加している。

火災の状況

(△印は減少)

区 分		単位	令和3年 A	令和2年 B	対前年増減数 A - B = C	増減率 C / B × 100 (%)
出火件数		件	81	84	△ 3	△ 3.6
火災種別	建物火災	件	52	56	△ 4	△ 7.1
	林野火災		1		1	
	車両火災		10	12	△ 2	△ 16.7
	船舶火災					
	航空機火災					
	その他火災		18	16	2	12.5
焼損棟数	合計	棟	63	62	1	1.6
	全焼		9	4	5	125.0
	半焼			2	△ 2	△ 100.0
	部分焼		8	13	△ 5	△ 38.5
	ぼや		46	43	3	7.0
り災世帯	合計	世帯	49	44	5	11.4
	全損		8	5	3	60.0
	半損			3	△ 3	△ 100.0
	小損		41	36	5	13.9
り災人員		人	109	77	32	41.6
焼損面積	建物	㎡	1,039	498	541	108.6
	1件当り		20.0	8.9	11.1	
	林野	a	3		3	
	1件当り		3.0		3.0	
損害額	総額	千円	171,534	137,772	33,762	24.5
	火災1件当り		2,118	1,640	478	
	市民1人当り		円	354	284	70
	建物	千円	168,115	134,176	33,939	25.3
			建築物	65,100	125,520	△ 60,420
	収容物		103,015	8,656	94,359	1090.1
	建物1件当り		3,233	2,396	837	
	林野					
	車両		2,576	2,803	△ 227	△ 8.1
	船舶					
	航空機					
	その他		833	793	40	5.0
	爆発		10		10	
死者	人	5	4	1	25.0	
負傷者		8	11	△ 3	△ 27.3	
一日当り	火災件数	件	0.2	0.2		
	建物火災		0.1	0.2	△ 0.1	
	建物焼損面積	㎡	2.8	1.4	1.4	
	損害額	千円	470	377	93	
人口1万人当りの出火件数(出火率)		件	1.7	1.7		

西宮市推計人口
令和4年1月1日現在
484,727人
令和3年1月1日現在
485,655人

火災状況の推移

区分 年別	出火件数 (件)	損害額 (千円)	建物焼損面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)
平成24年	113	77,330	686		25
平成25年	112	91,106	513	3	8
平成26年	117	178,809	964	2	25
平成27年	110	57,718	541	1	13
平成28年	86	262,394	2,557		15
平成29年	96	34,569	371		10
平成30年	97	146,023	382		17
令和元年	85	33,560	289	4	8
令和2年	84	137,772	498	4	11
令和3年	81	171,534	1,039	5	8
10年間平均	98	119,082	784	2	14

署別火災発生状況

区分 署別	出火件数							焼損棟数					り災世帯数				り災人員	焼損面積		死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
	合計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空機 火災	その他 火災	合計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合計	全 損	半 損	小 損		建 物 (㎡)	林 野 (a)			
西宮消防署	32	23		6			3	30	4		3	23	22	4		18	49	614		1	5	145,233
西宮	22	16		4			2	20	2		1	17	12	1		11	23	259		1	3	9,344
北夙川	10	7		2			1	10	2		2	6	10	3		7	26	355			2	135,889
鳴尾消防署	19	12		1			6	12			1	11	11			11	21				1	2,661
鳴尾	12	8					4	8				8	9			9	15					653
浜	7	4		1			2	4			1	3	2			2	6				1	2,008
瓦木消防署	18	10	1	1			6	13	1		4	8	10	1		9	31	114	3	3	2	14,980
瓦木	11	7					4	10	1		3	6	7	1		6	21	111		3	1	14,043
甲東	7	3	1	1			2	3			1	2	3			3	10	3	3		1	937
北消防署	12	7		2			3	8	4			4	6	3		3	8	311		1		8,660
北	5	2		1			2	3	2			1	3	2		1	3	262		1		6,573
山口	7	5		1			1	5	2			3	3	1		2	5	49				2,087
合計	81	52	1	10	0	0	18	63	9	0	8	46	49	8	0	41	109	1,039	3	5	8	171,534

月別火災発生状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出火件数	合計	12	16	5	10	1	7	7	6	4	4	5	4	
	建物	7	7	4	9	1	4	3	6	3	1	4	3	
	林野		1											
	車両	2	1		1		1	2			1	1	1	
	船舶													
	航空機													
	その他	3	7	1			2	2		1	2			
	合計	10	7	6	10	1	7	3	7	3	2	2	4	3
	全焼	3	1	1	2		1		1					
	半焼													
	部分焼	2			1		3		1	1				
	ぼや	5	6	5	7	1	3	3	5	2	2	4	3	
	合計	10	1	5	9	1	6	2	5	2	1	3	4	
	全損	4		1	1		1		1					
半損														
小損	6	1	4	8	1	5	2	4	2	1	3	4		
合計	21	3	13	20	3	18	4	9	5	1	6	6		
全損	8		1	2		4		1						
半損														
小損	13	3	12	18	3	14	4	8	5	1	6	6		
合計	138,276	205	1,311	10,571	1	14,283	296	5,100	24	66	1,396	5		
建物	138,030	110	1,307	9,942	1	13,546	36	5,096	24	6	12	5		
建物	44,658	27	1,144	1,963		12,679	32	4,582	9		5	1		
収容物	93,372	83	163	7,979	1	867	4	514	15	6	7	4		
林野														
車両	225	80		628		661	239			45	698			
船舶														
航空機														
その他	21	15	4	1		76	21	4		5	686			
爆発										10				
合計	171,534													
建物	168,115													
建物	65,100													
収容物	103,015													
林野	0													
車両	2,576													
船舶	0													
航空機	0													
その他	833													
爆発	10													
損害見積額(千円)														

曜日別火災発生件数

曜日 種別	合計	日	月	火	水	木	金	土	不明
建物火災	52	7	8	6	7	9	11	4	
林野火災	1		1						
車両火災	10	3	1	1	1		3	1	
船舶火災	0								
航空機火災	0								
その他火災	18	2	2	3	4	2	2	3	
合計	81	12	12	10	12	11	16	8	

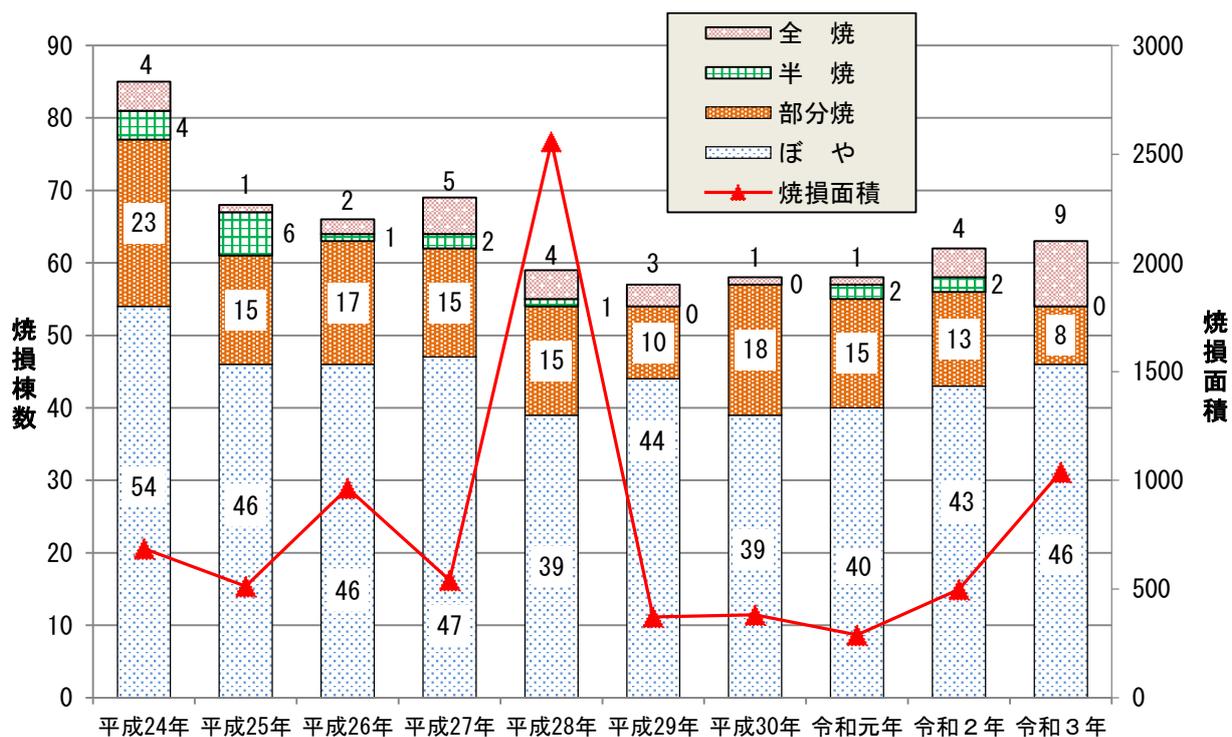
時間別火災発生件数

時間 種別	合計	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
建物火災	52	1	2	3	1	1	2	3	2	3	3	2		1	1	1	2	3	3	3	3	4	4	4		
林野火災	1															1										
車両火災	10							2	1	1	2				1	2	1									
船舶火災	0																									
航空機火災	0																									
その他火災	18					1			1			1	2	2	1		2	1	2	1	1	1	2			
合計	81	1	2	3	1	2	2	5	4	4	5	3	2	3	3	4	5	4	5	4	4	5	6	4		

覚知方法別火災発生件数

覚知方法 種別	出火件数							比率 (%)
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
専用電話（IP）	10	8		1			1	12
専用電話（固定）	2	1					1	2
専用電話（携帯）	37	19	1	6			11	46
加入電話（固定）	0							
加入電話（携帯）	0							
駆け付け通報	3	1		1			1	4
事後聞知	29	23		2			4	36
その他	0							
合計	81	52	1	10			18	100

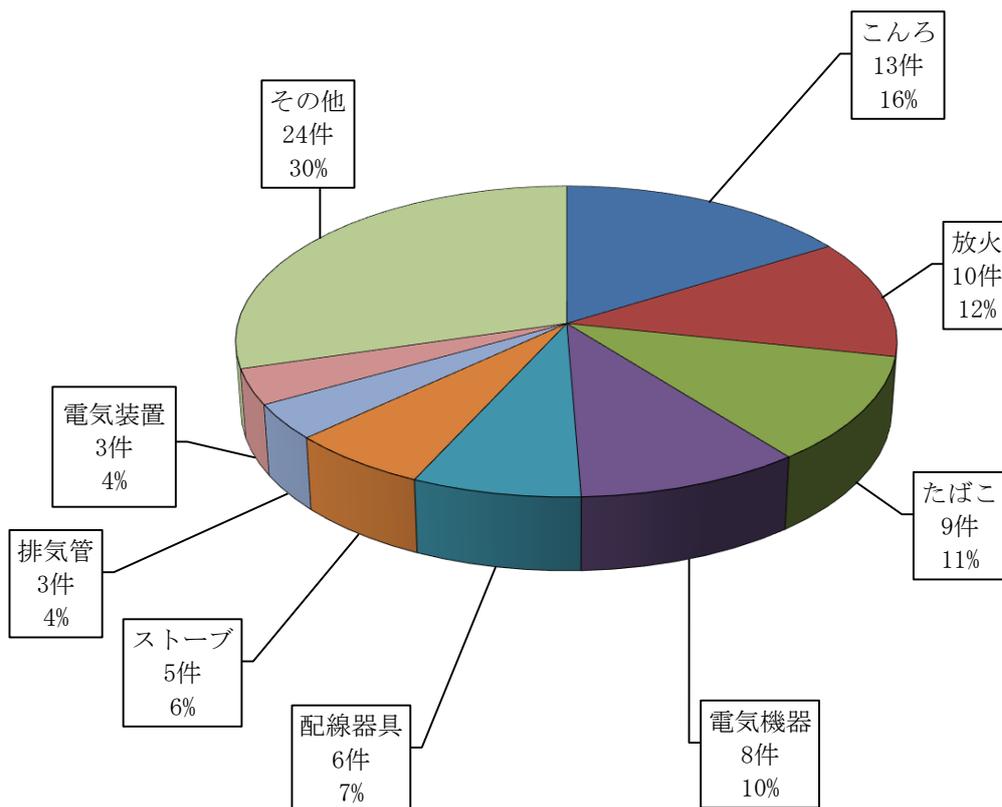
10年間の建物焼損棟数・焼損面積



火災種別毎の損害額の割合（前年比較）

年 別 区分 種別	令和3年				令和2年			
	件数	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当りの損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当りの損害額 (千円)
建物火災	52	168,888	98	3,248	56	134,324	98	2,399
林野火災	1							
車両火災	10	2,623	2	262	12	3,295	2	275
船舶火災								
航空機火災								
その他火災	18	23	0	1	16	153	0	10
合計	81	171,534	100	2,118	84	137,772	100	1,640

令和3年の出火原因



※ 放火には放火の疑いを含む

10年間の主な出火原因

	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
1位	放火 25	放火 33	放火 35	放火 29	たばこ 21	放火 26	こんろ 16	こんろ 19	こんろ 24	こんろ 13
2位	こんろ 21	たばこ 14	たばこ 22	たばこ 15	こんろ 17	こんろ 18	配線器具 12	放火 12	放火 10	放火 10
3位	たばこ 20	こんろ 火遊び 各12	こんろ 19	こんろ 13	放火 11	たばこ 8	放火 11	たばこ 10	たばこ 9	たばこ 9
4位	火遊び 4		配線器具 5	ストーブ 7	火遊び 5	電気機器 7	たばこ 9	電気機器 6	電気機器 6	電気機器 8
5位	マッチ・ ライター 3	電気機器 配線器具 溶接機・ 溶断機 灯火 各4	排気管 電気装置 電灯電話 等の配線 各3	火入れ 6	電気機器 4	ストーブ 5	電気機器 灯火 各4	ストーブ 配線器具 電灯電話 等の配線 各3	排気管 5	配線器具 6

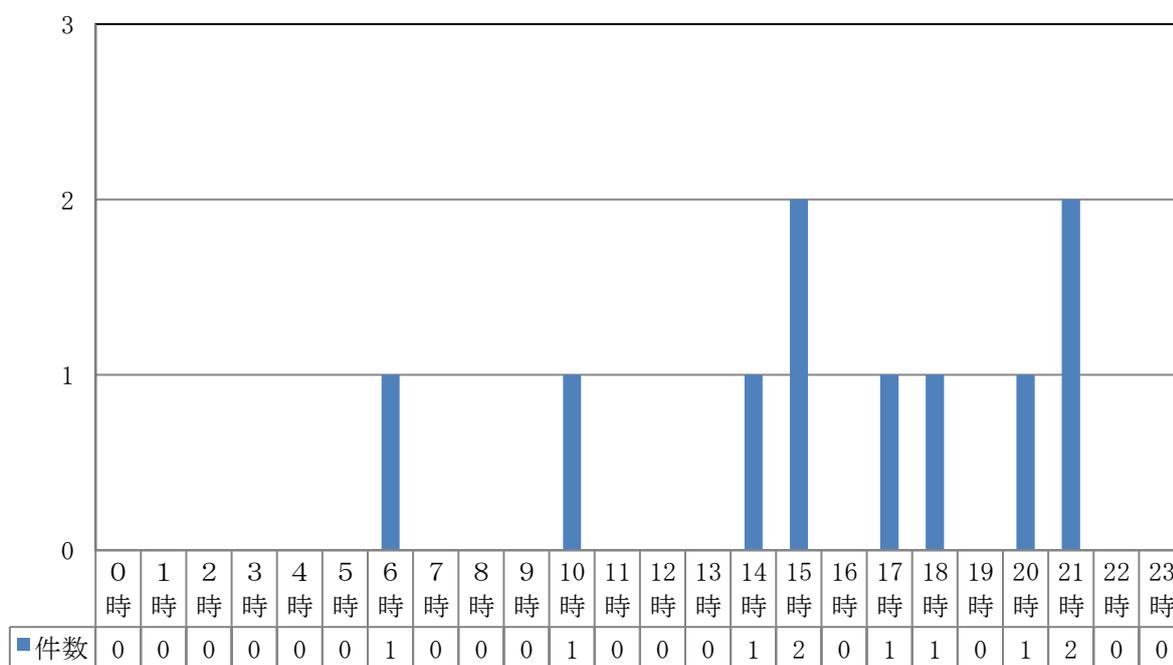
放火件数の推移

年 件数	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	平 均
件 数	25	33	35	29	11	26	11	12	10	10	20

放火の曜日別火災発生件数

曜日 件数	合計	日	月	火	水	木	金	土	不明
件 数	10	1	2	2	2	1	1	1	

放火の時間別火災発生件数



放火による着火物

着 火 物	件 数
合成樹脂と成形品	2
芝草	2
室内装飾品	1
衣類	1
繊維製品	1
紙屑	1
枯草	1
不明	1

主な火災発生状況

- ① 損害額 1,000万円以上
- ② 焼損面積 建物300㎡、林野200 a 以上
- ③ 即報、詳報に該当する火災
- ④ 消防長が必要と認める火災

No.	月 日	種 別	覚 知 時 間	鎮 火 時 間	覚 知	発生場所	火元用途	死 者	負 傷 者	焼損状況
1	1月3日	建物	10時02分	19時34分	専用電話 (携帯電話)	大井手町	複合用途		1	木造スレート葺外壁サイディング ボード張り2階建店舗付長屋住宅1 棟1店舗2戸を全焼し、近隣一般住 宅等3棟を類焼したものの。
2	3月4日	建物	5時51分	7時38分	専用電話 (携帯電話)	平松町	住宅	1		木造トタン波板葺一部瓦葺外壁ラ スモルタル塗一部レンガ及びトタン 張り2階建一般住宅を全焼し、近隣 一般住宅2棟を類焼したものの。
3	6月21日	建物	5時47分	8時43分	専用電話 (携帯電話)	松山町	住宅	3	1	木造スレート葺外壁サイディング ボード張り2階建一般住宅1棟を全 焼し、駐車していた乗用車の一部及 び近隣一般住宅のカーポートを焼 損。また、近隣一般住宅3棟を類焼 したものの。
4	8月6日	建物	2時13分	9時08分	専用電話 (携帯電話)	名塩ガーデン	住宅	1		木造瓦葺外壁ラスモルタル塗2階建 一般住宅1棟を全焼し、近隣一般住 宅1棟を類焼したものの。

隣接都市火災応援(被応援)出動状況

	出動回数	出動台数	出動人員
合 計	1	3	10
	4	12	47
尼崎市			
宝塚市	1	3	13
芦屋市	1	2	6
神戸市	1	3	10
	2	7	28

※ 上段は応援、下段は被応援を示す

高速道路における隣接都市火災応援(被応援)出動状況

	出動回数	出動台数	出動人員
合 計	1	3	10
	3	11	43
尼崎市			
宝塚市	1	3	13
芦屋市	1	2	6
神戸市	1	3	10
	1	6	24

※ 上段は応援、下段は被応援を示す

消防局消防活動状況

区 分		合計	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	
出 動 件 数	事後聞知	29	23		2			4	
	第 1 出 動	49	26	1	8			14	
	第 2 出 動	2	2						
	第 3 出 動	1	1						
	合 計	81	52	1	10			18	
出 動 台 数 ・ 人 員	事後聞知	台数	42	35		3		4	
		人員	167	139		13		15	
	第 1 出 動	台数	317	271	6	15		25	
		人員	1,157	971	23	62		101	
	第 2 出 動	台数	6	6					
		人員	23	23					
	第 3 出 動	台数	2	2					
		人員	9	9					
	特命出動	台数	15	12		3			
		人員	37	28		9			
	合 計	台数	382	326	6	21		29	
		人員	1,393	1,170	23	84		116	
	放 水 台 数	第 1 出 動	67	47	5	8			7
		第 2 出 動	3	3					
第 3 出 動		2	2						
特 命 出 動		1			1				
合 計		73	52	5	9			7	
放 水 時 間	5 分 未 満	7	1		1			5	
	5 ～ 10 分	3		1	1			1	
	11 分 以 上	64	51	4	7			2	
使用水管数		605	500	36	51			18	
現 場 ま で の 所 要 時 間	5 分 未 満	25	17	1	2			5	
	5 ～ 10 分	25	12		4			9	
	11 分 以 上	2			2				

※ 放水時間は、放水開始時刻から放水完了時刻までを計上

※ 現場までの所要時間は、事後聞知を除く

その他災害統計



警防訓練

そ の 他 災 害 の 概 要

1 概 況

令和3年中のその他災害発生件数は、前年より26件増加し、1,060件発生している。

内訳は、「緊急確認」415件（39%）が最も多く、「支援活動」236件（22%）、「補完」202件（19%）「緊急措置」123件（12%）、「その他」84件（8%）となっている。

消防署別では、西宮消防署で356件、鳴尾消防署で212件、瓦木消防署で183件、北消防署で309件発生している。

2 出動状況

令和3年中のその他災害による出動は、1,301台の5,075人となっている。

消防署別では、西宮消防署が456台の1,846人（本署～285台、1,169人、北夙川～171台、677人）、鳴尾消防署が271台の1,125人（本署～189台、777人、浜～82台、348人）、瓦木消防署が232台の917人（本署～169台、673人、甲東～63台、244人）、北消防署が342台の1,187人（本署～174台、604人、山口～168台、583人）となっている。

3 災害内容

発生件数1,060件の災害内容の主な内訳は、「自火報、警報ベル、非常ベルの鳴動」330件（31%）、「出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備」197件（19%）、「道路上における活動隊の安全確保」159件（15%）、「危険物漏洩処理、車両等からの油流し」80件（8%）、「救急隊の支援に携わった事案」76件（7%）となっている。

所 属 別 そ の 他 災 害 発 生 状 況

区 分	所属別 合 計	西宮消防署			鳴尾消防署			瓦木消防署			北消防署			
		小 計	本 署	北夙川	小 計	本 署	浜	小 計	本 署	甲 東	小 計	本 署	山 口	
緊 急 措 置	火災通報により出動したが、火災ではなかった事案	33	8	4	4	11	8	3	7	6	1	7	3	4
	危険物漏洩処理、車両等からの油流し	80	26	11	15	14	9	5	16	12	4	24	14	10
	ガス漏れ	5	1	1		4	4							
	その他緊急対応措置が必要な事案	5	1		1				1	1		3	3	
	小 計	123	36	16	20	29	21	8	24	19	5	34	20	14
緊 急 確 認	火災と紛らわしい煙の確認	33	13	2	11	9	3	6	4	3	1	7	3	4
	異臭・異音	25	13	9	4	8	6	2	4	1	3			
	自火報、警報ベル、非常ベルの鳴動	330	139	105	34	94	68	26	81	59	22	16	2	14
	ガス・電気等の消し忘れ	1				1	1							
	火災調査のため出動したが、火災ではなかった事案	10	6	4	2	2	2		1		1	1	1	
	その他緊急確認が必要な事案	16	5	4	1	8	4	4				3	1	2
	小 計	415	176	124	52	122	84	38	90	63	27	27	7	20
支 援 活 動	救急隊の支援に携わった事案	76	25	7	18	15	12	3	20	8	12	16	7	9
	道路上における活動隊の安全確保	159	75	53	22	26	12	14	32	27	5	26	13	13
	上記に該当しない支援活動	1				1		1						
	小 計	236	100	60	40	42	24	18	52	35	17	42	20	22
そ の 他	自然災害対応	5	2	2		2	2					1	1	
	飼育動物等の保護 危険生物等の排除	22	10	5	5	3	3		7	7		2	1	1
	焚き火、野焼き、火遊び等	5	1		1	3	1	2				1	1	
	高齢者、身体障害者等の介助	46	28	19	9	10	6	4	5	4	1	3	2	1
	その他社会的危険が考えられる事案	6	2	1	1	1	1					3	1	2
	小 計	84	43	27	16	19	13	6	12	11	1	10	6	4
補 完	出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備	197	1		1				5	5		191	104	87
	出動により消防車両が不足した地域への消火隊の移動配備	5										5	2	3
	小 計	202	1	0	1	0	0	0	5	5	0	196	106	90
合 計	1,060	356	227	129	212	142	70	183	133	50	309	159	150	
出動台数	1,301	456	285	171	271	189	82	232	169	63	342	174	168	
出動人員	5,075	1,846	1,169	677	1,125	777	348	917	673	244	1,187	604	583	

水防統計



水防工法訓練

水 防 災 害 活 動 状 況

No.	月 日	原 因	対 策	活 動	備 考
1	1月7日(木)	暴風雪波浪警報	警防課班別	なし	
2	4月29日(木)	連続雨量100mm超	各署巡らを実施	巡ら：8回 8台 27名	
3	5月20日(木) ～ 5月21日(金)	梅雨前線停滞	各署巡らを実施	巡ら：24回 24台 75名	
4	7月7日(水) ～ 7月9日(金)	梅雨前線停滞	各署巡らを実施	巡ら：30回 30台 97名	
5	7月15日(木)	時間雨量30mm超	各署巡らを実施	巡ら：8回 8台 27名	
6	8月9日(月)	暴風波浪警報	警防課班別	救急：2件 2台 6名 その他災害：3件 3台 12名	
7	8月13日(金) ～ 8月15日(日)	大雨警報 時間雨量30mm超及び 連続雨量250mm超	警防課班別 水防警戒指令(基本)	巡ら：8回 8台 26名 巡視：34回 34台 106名 その他災害：1件 1台 4名	
8	8月17日(火) ～ 8月18日(水)	大雨警報及び 連続雨量100mm超	警防課班別 水防警戒指令(基本)	巡ら：8回 8台 26名 巡視：12回 12台 40名	
9	8月19日(木)	大雨警報	各署巡らを実施	巡ら：8回 8台 26名	
10	9月4日(土)	時間雨量30mm超	各署巡らを実施	巡ら：8回 8台 25名	

救 急 統 計



コロナ禍における救急講習会

救 急 の 概 要

1 概況

令和3年中の救急出動件数は22,230件、搬送人員は20,170人で、前年と比べ出動件数は628件、搬送人員は595人増加している。

出動件数のうち主な事故種別の構成比は「急病」が全体の64.2%を占め、「一般負傷」が17.1%、「交通事故」が6.6%となっている。

また、1日の平均出動件数は60.9件で、24分に1件救急車が出動し、西宮市民の22人に1件の割合で救急要請したこととなる。

2 応急手当普及啓発

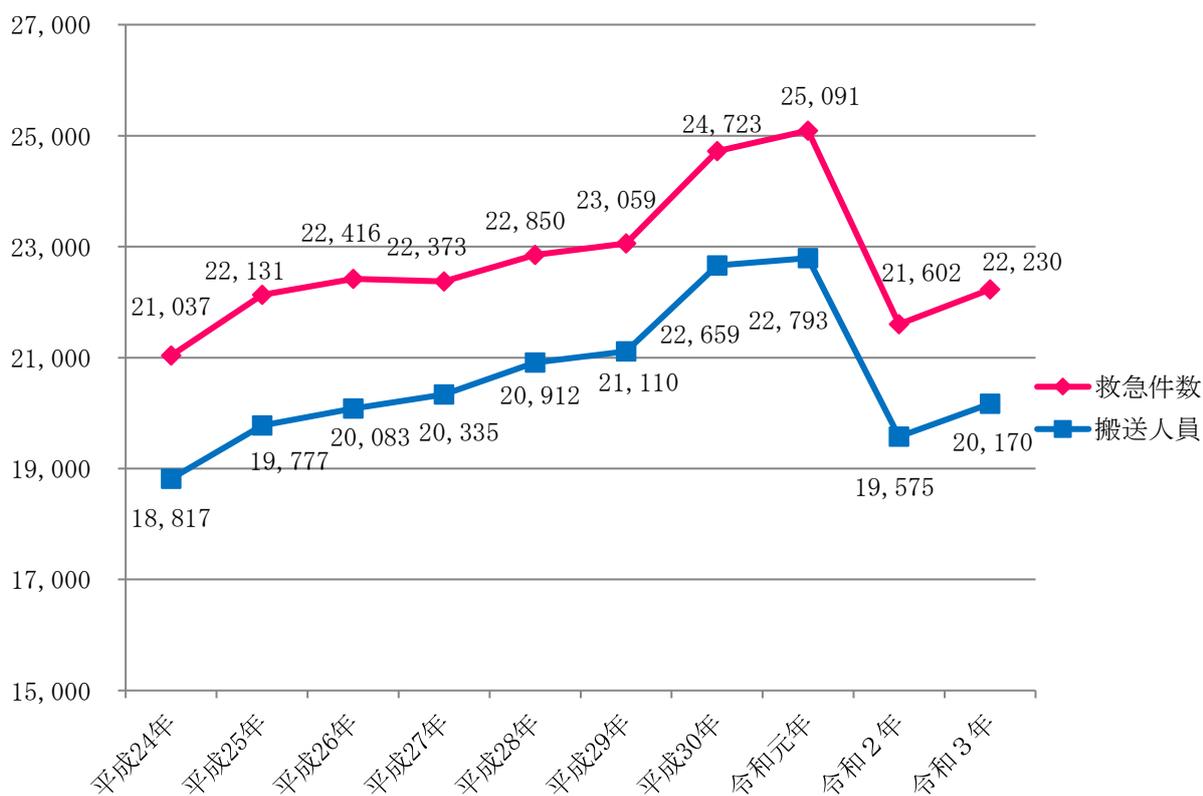
応急手当の普及促進については、新型コロナウイルス感染症の影響により感染防止対策を徹底した上で可能な限り救急講習を開催し、応急手当普及員の育成も推進することで、市民による病院前救護体制の強化及び救命効果の向上を図った。

また、AEDを含めた「応急手当の必要性」や「救急車の適正利用」など、救急業務に対する理解と協力を求めるためにホームページに加え、フェイスブックやツイッター等のSNSを活用し、市民への普及啓発に努めた。

救 急 出 動 件 数

区 分	令和3年	令和2年	前 年 比 較	
	A	B	増 減 数 A - B = C	増 減 率 C ÷ B
出 動 件 数	22,230 件	21,602 件	628 件	2.9 %
傷 病 者 搬 送 人 員	20,170 人	19,575 人	595 人	3 %
1 日 平 均 出 動 件 数	60.9 件	59.2 件	西 宮 市 推 計 人 口 令 和 3 年 1 月 1 日 現 在 485,655 人 令 和 4 年 1 月 1 日 現 在 484,727 人 前 年 比 -928 人	
時 間 に 対 す る 出 動 件 数	24 分 に 1 件	24 分 に 1 件		
人 口 に 対 す る 出 動 件 数	22 人 に 1 件	22 人 に 1 件		
人 口 に 対 す る 搬 送 人 員	24 人 に 1 人	25 人 に 1 人		
人 口 1 万 人 あ た り の 出 動 件 数	459 件	445 件		

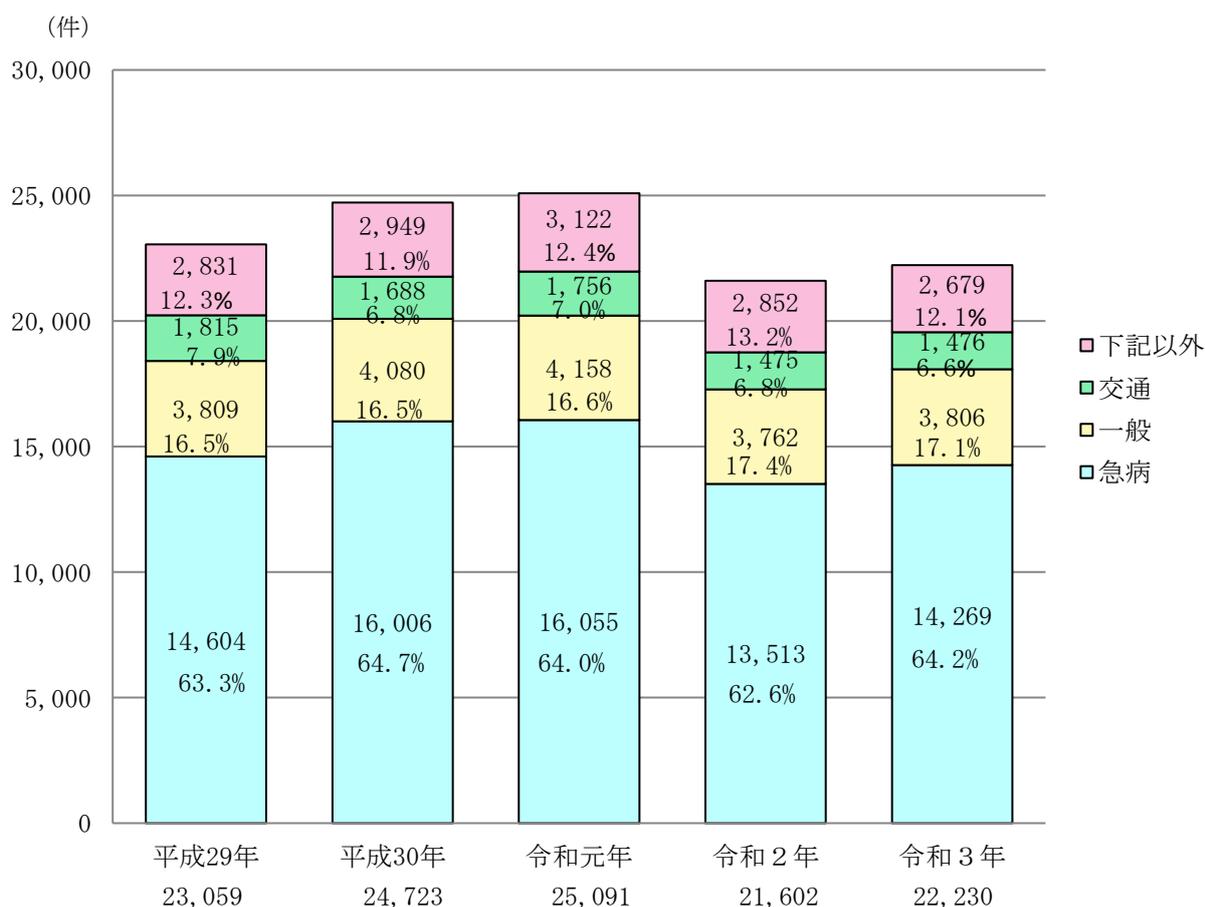
救急出動件数・搬送人員の推移



事故種別出動件数及び搬送人員

	合 計	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	自 損 行 為	労 働 災 害	加 害	運 動 競 技	火 災	水 難	自 然 災 害	そ の 他
出動件数 (件)	22,230	14,269	1,476	3,806	186	140	66	145	10	5	2	2,125
構成比 (%)	100	64.2	6.6	17.1	0.8	0.6	0.3	0.7	0.1	0.0	0.0	9.6
搬送人員 (人)	20,170	13,146	1,385	3,567	136	139	54	146	9	2	2	1,584
構成比 (%)	100	65.2	6.9	17.7	0.7	0.7	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	7.8

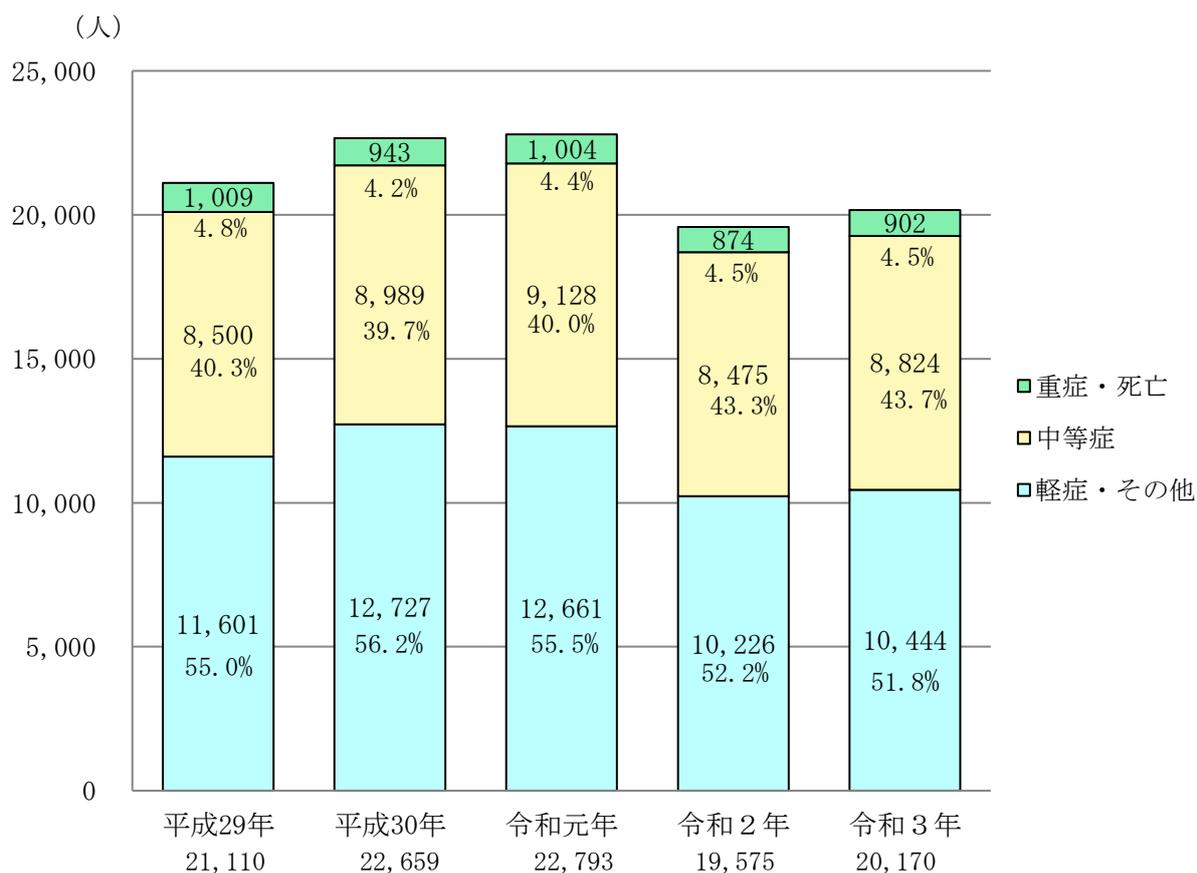
事故種別出動件数の推移



事故種別傷病程度別搬送人員

		計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
急病	搬送人員(人)	13,146	84	314	6,153	6,595	
	構成比(%)	100	0.6	2.4	46.8	50.2	
交通事故	搬送人員(人)	1,385	1	48	206	1,130	
	構成比(%)	100	0.1	3.4	14.9	81.6	
一般負傷	搬送人員(人)	3,567	4	319	920	2,324	
	構成比(%)	100	0.1	8.9	25.8	65.2	
その他	搬送人員(人)	2,072	15	117	1,545	395	
	構成比(%)	100	0.7	5.6	74.6	19.1	
計	搬送人員(人)	20,170	104	798	8,824	10,444	0
	構成比(%)	100	0.5	4	43.7	51.8	0.0

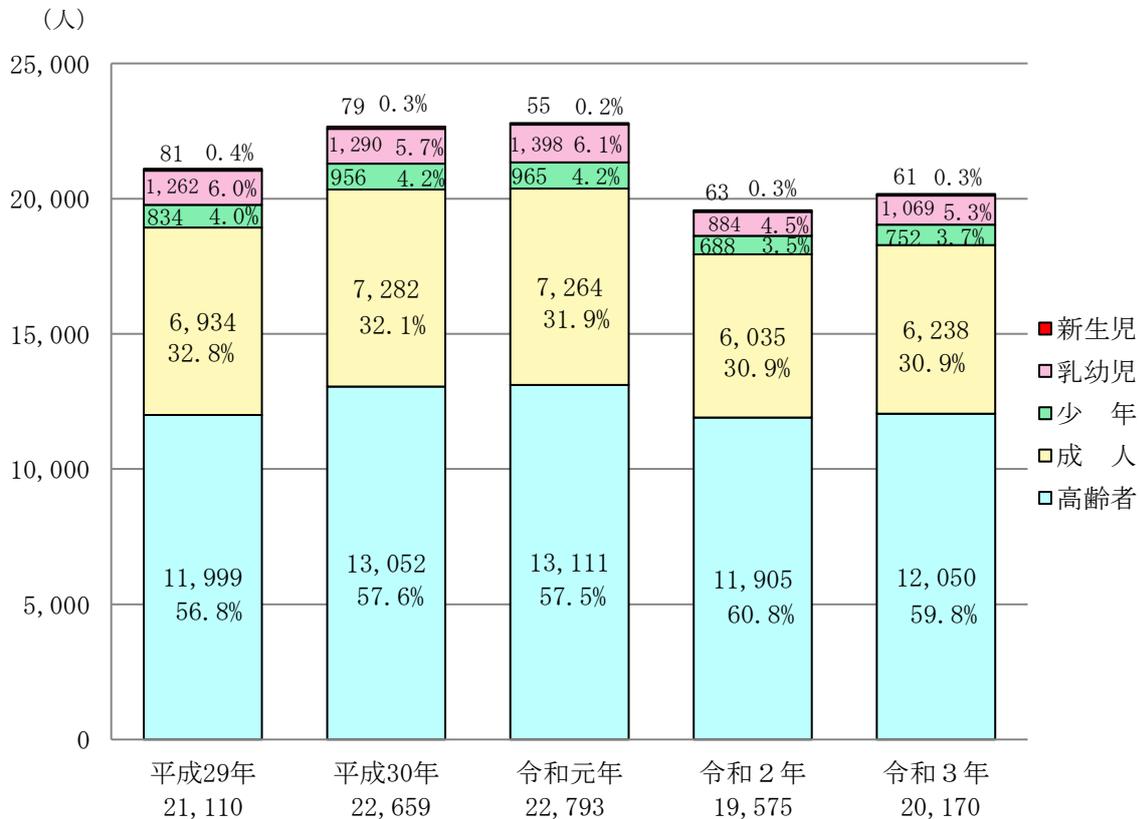
傷病程度別搬送人員の推移



事故種別年齢区分別搬送人員

		計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
急病	搬送人員(人)	13,146	3	653	368	4,096	8,026
	構成比(%)	100	0.0	5.0	2.8	31.2	61.0
交通事故	搬送人員(人)	1,385		48	119	835	383
	構成比(%)	100	0.0	3.5	8.6	60.3	27.6
一般負傷	搬送人員(人)	3,567		323	157	527	2,560
	構成比(%)	100	0.0	9.1	4.4	14.8	71.7
その他	搬送人員(人)	2,072	58	45	108	780	1,081
	構成比(%)	100	2.8	2.2	5.2	37.6	52.2
計	搬送人員(人)	20,170	61	1,069	752	6,238	12,050
	構成比(%)	100	0.3	5.3	3.7	30.9	59.8

年齢区分別搬送者の推移



新生児：生後28日未満

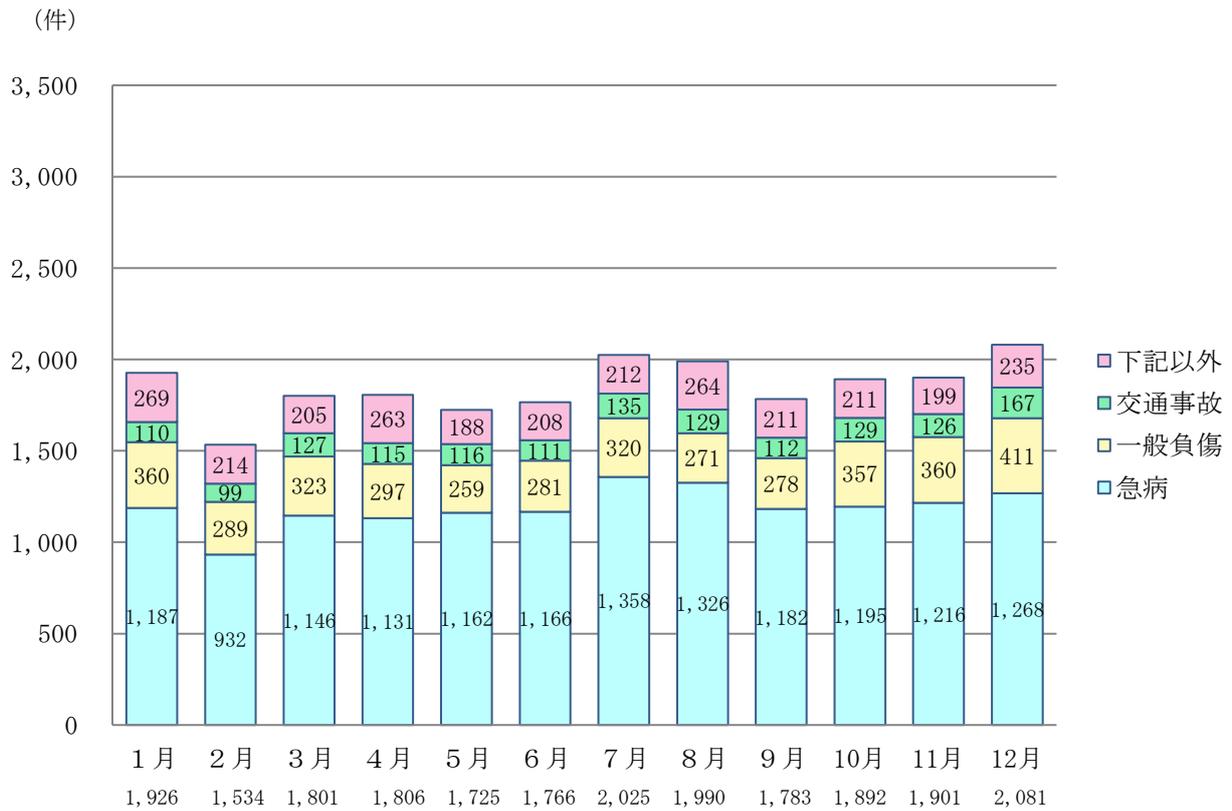
成人：満18歳以上満65歳未満

乳幼児：生後28日以上満7歳未満

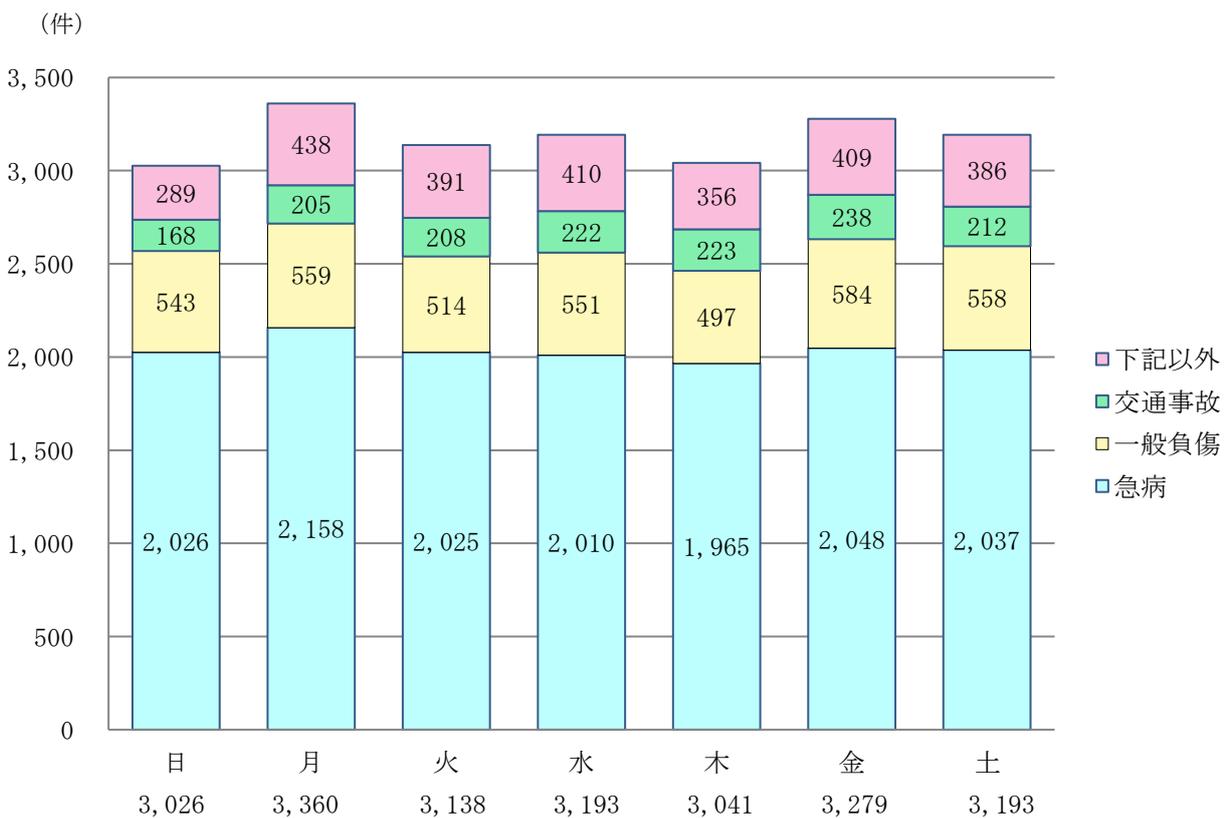
高齢者：満65歳以上

少年：満7歳以上満18歳未満

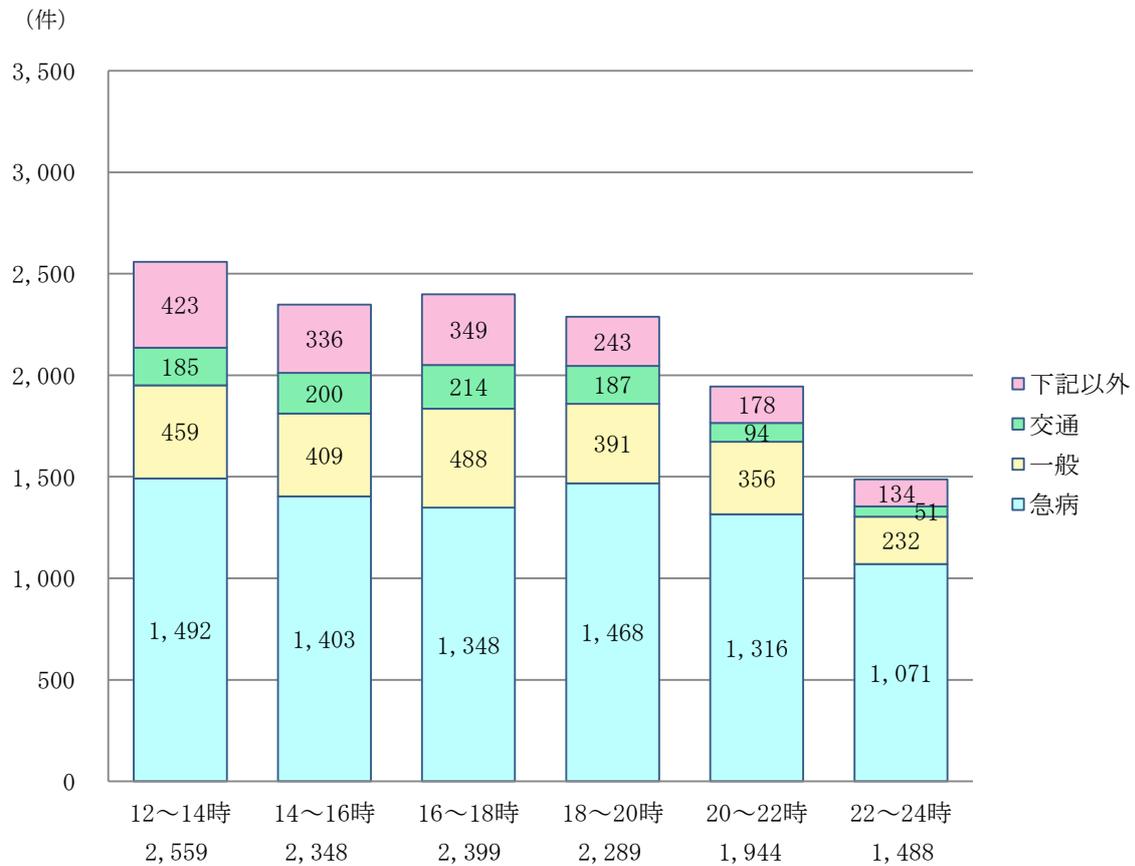
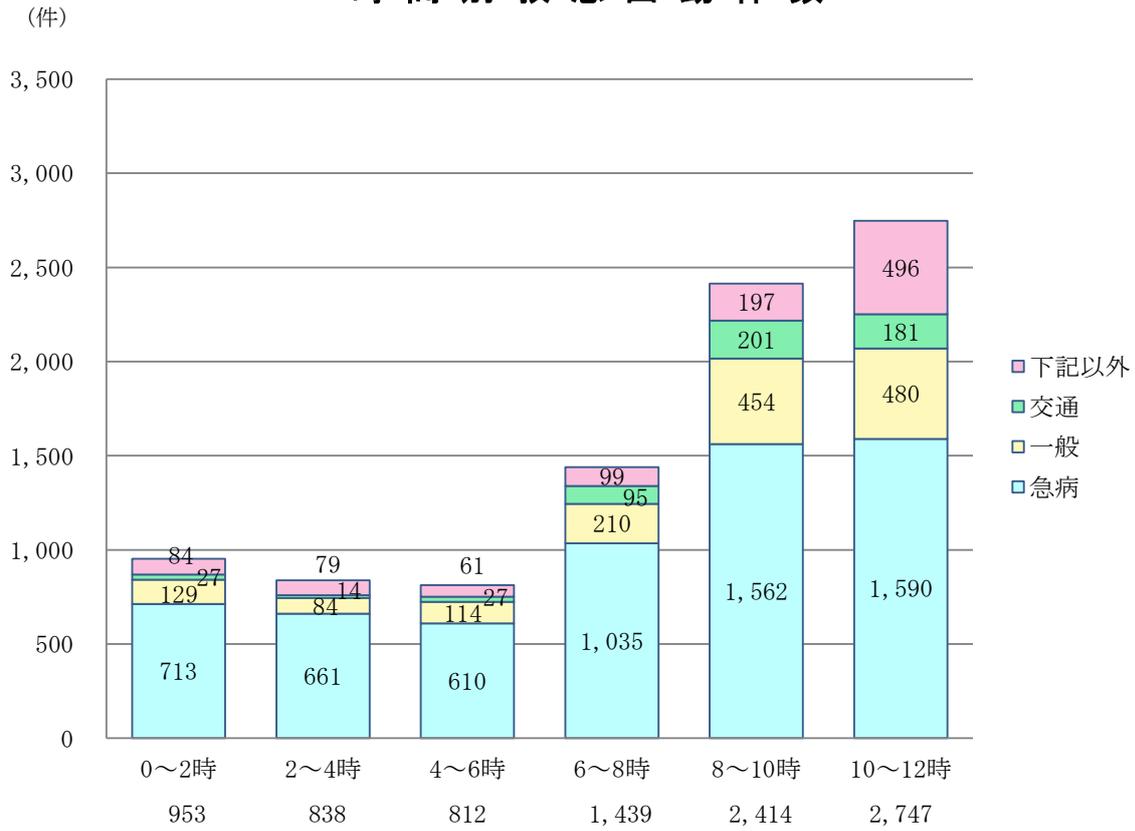
月別救急出動件数



曜日別救急出動件数



時間別救急出動件数



医療機関別搬送状況

医療機関別 区分	合計	救急告示医療機関				その他の医療機関				合計				その他の場所	
		国・公立	公 立 的	私 病 院	的 診 療 所	国・公立	公 立 的	私 病 院	的 診 療 所	国・公立	公 立 的	私 病 院	的 診 療 所		計
合計	20,170	4,935	10	8,901	0	832	4	5,394	94	5,767	14	14,295	94	20,170	0
比率	100%	68.6%				31.4%				28.7%		71.3%		100%	0.0%
市内	17,308	3,992		8,108		1		5,123	84	3,993	0	13,231	84	17,308	
市外	2,862	943	10	793		831	4	271	10	1,774	14	1,064	10	2,862	

隣接都市救急応援（被応援）出動状況

医療機関別 区分		出動件数	出動人員	出動台数
合計	応援	12	36	12
	被応援	34	102	34
尼崎市	応援	1	3	1
	被応援	13	39	13
宝塚市	応援	4	12	4
	被応援	17	51	17
芦屋市	応援	5	15	5
	被応援	3	9	3
神戸市	応援	2	6	2
	被応援	1	3	1
その他	応援	-	-	-
	被応援	-	-	-

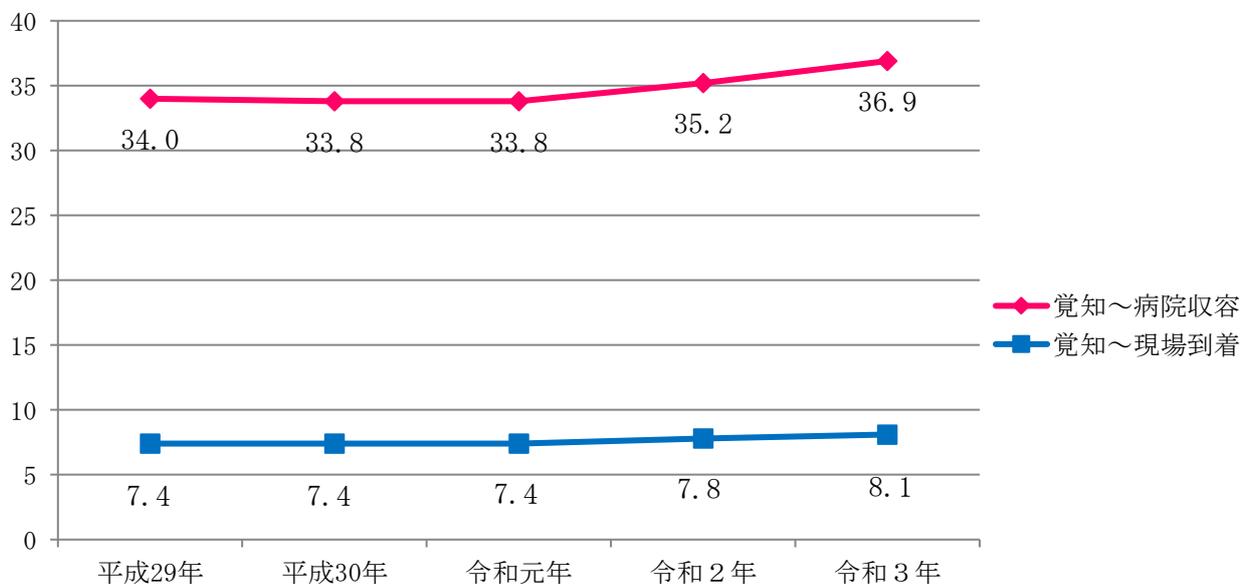
現場到着及び病院収容所要平均時間

(単位：分)

隊 別 区 分	市 計	消 防 局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
			本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
覚知～現場到着	8.1		7.7	8.5	7.6	8.4	8.4	8.8	9.8	8.6
覚知～病院収容	36.9		32.9	38.3	36.3	38.5	36.7	38.5	55.1	45.4

現場到着及び病院収容所要平均時間の推移

(分)



応急処置等の状況

応急処置	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置対象人員	20,151	13,146	1,383	3,565	2,057
止血	388	69	41	239	39
固定	544	16	304	149	75
人工呼吸	79	62		5	12
胸骨圧迫	4	2		1	1
心肺蘇生	351	291	1	23	36
酸素吸入	3,532	2,686	92	183	571
気道確保	490	398	7	38	47
経鼻エアウェイ	1	1			
喉頭鏡等を使用した異物除去	12	3		8	1
ラリングアルチューブ等	38	37			1
気管挿管	45	33		5	7
用手による気道確保	394	324	7	25	38
保温	171	95	33	24	19
被覆	1,321	59	335	829	98
在宅療法継続	214	198		15	1
除細動	16	15			1
薬剤投与	22	18		2	2
その他の応急処置	17,649	11,465	1,235	3,115	1,834
血圧測定	18,868	12,329	1,346	3,286	1,907
聴診器による心音・呼吸音の聴取	6,735	5,446	342	557	390
血中酸素飽和度の測定	19,722	12,827	1,377	3,507	2,011
心電図	9,392	7,679	215	717	781
静脈路確保	67	57		3	7
うちC P A前	28	23		1	4
うちC P A後	39	34		2	3
血糖測定	381	367	2	7	5
エピペン投与	2	2			
ブドウ糖投与	23	23			

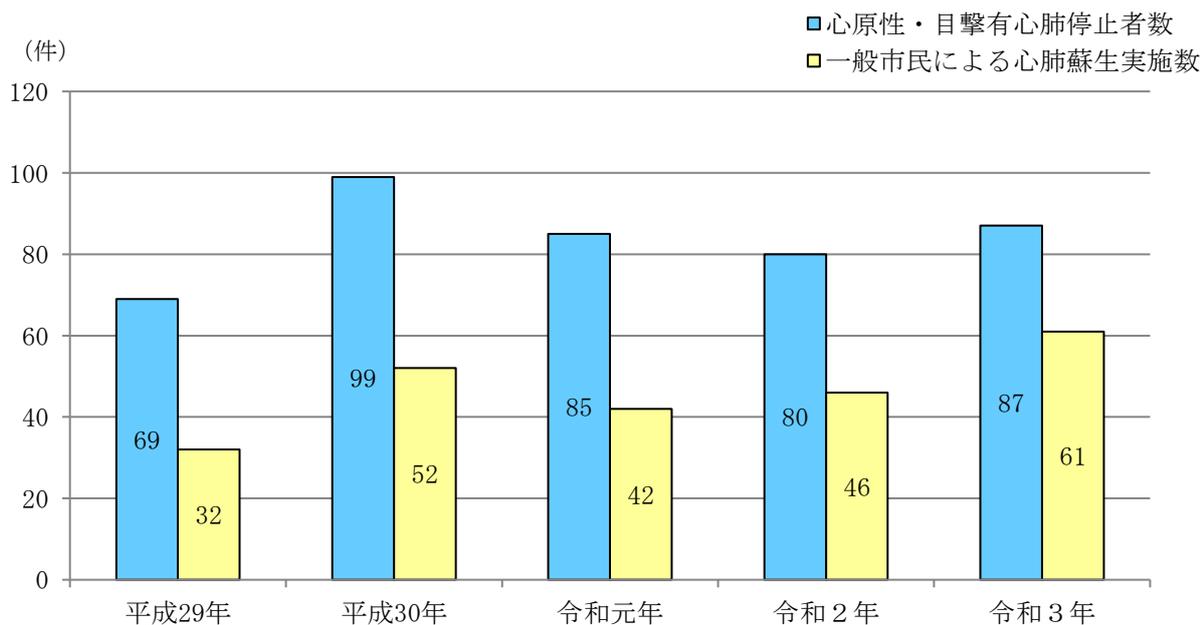
西宮市医師同乗制度の状況（ドクターカーシステム）

	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
出動件数	79	66	1	3	9
対象者数	79	66	1	3	9
医療機関収容者数	45	37		3	5

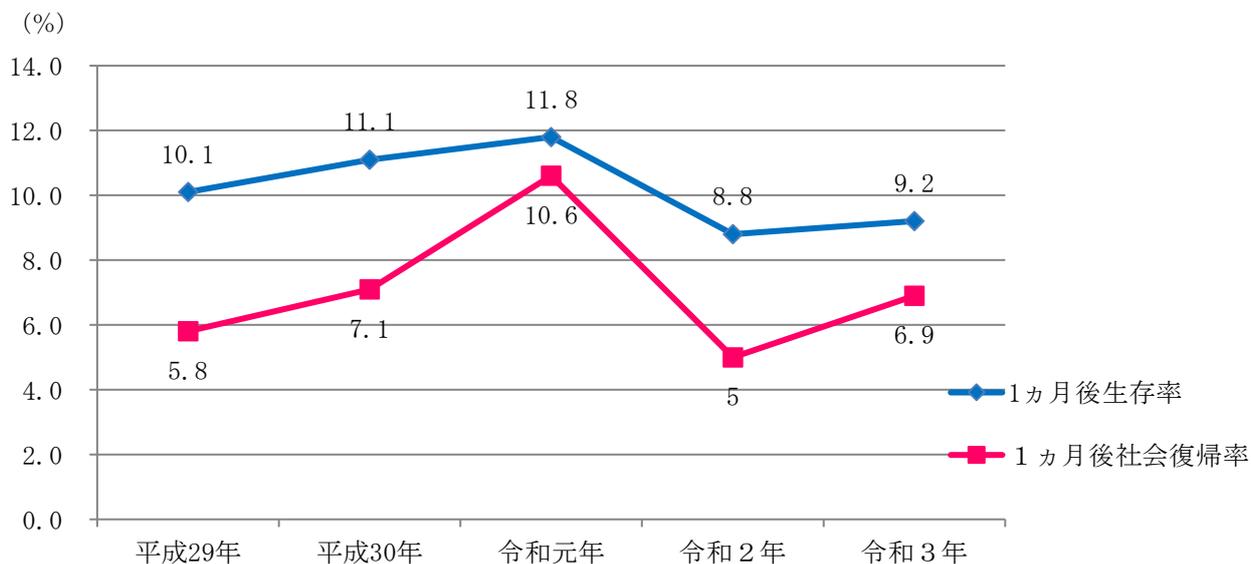
心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数

心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数	
87	
1ヵ月後生存数	1ヵ月後社会復帰数
8	6

心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数と一般市民による心肺蘇生実施数の推移



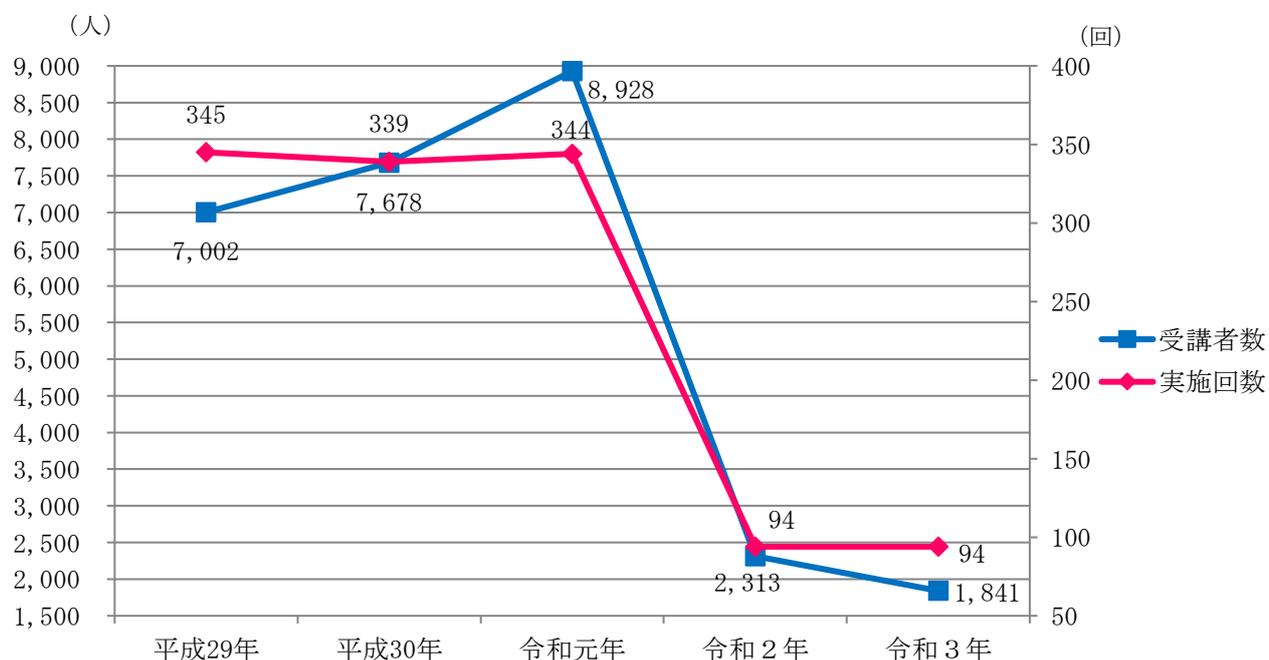
心原性かつ一般市民による目撃のあった症例の1ヵ月後の生存率及び社会復帰率の推移



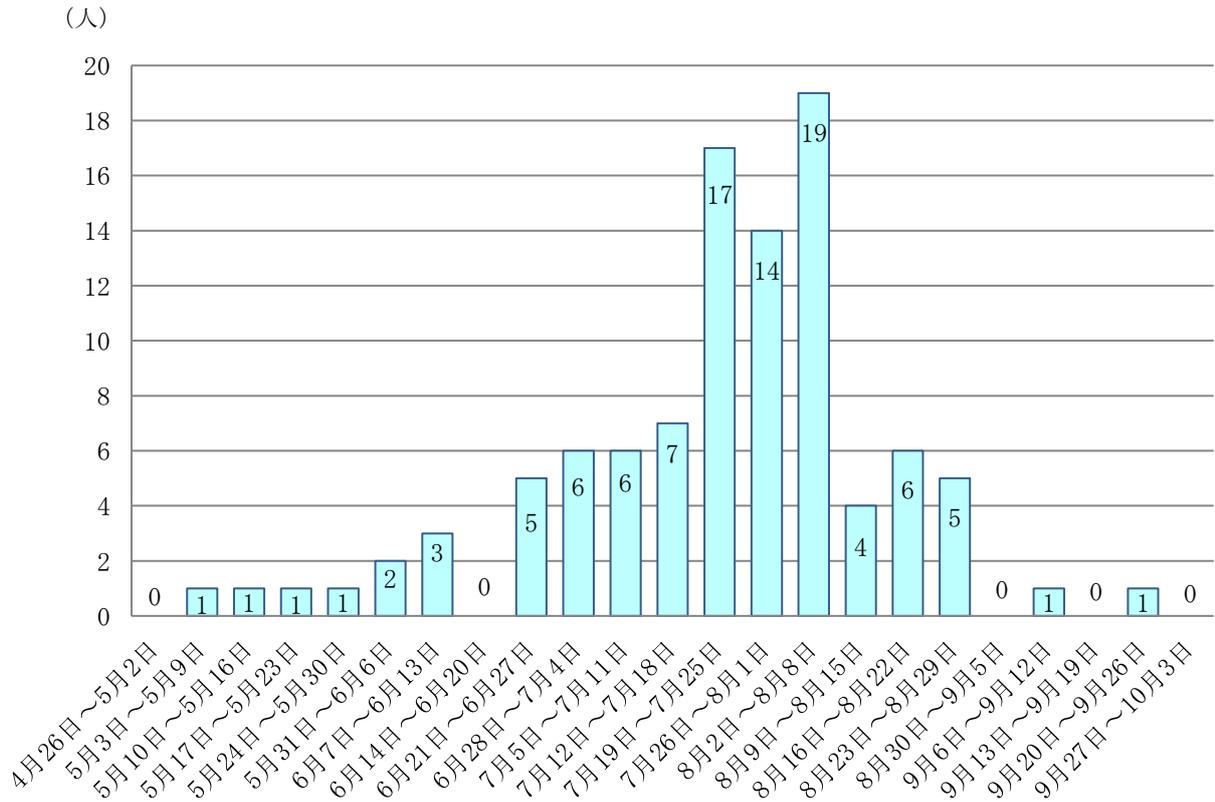
所属別救急講習実施状況

区 分		隊 別	合 計	消 防 局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
					本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
指導員講習	回数		1	1								
	人数		18	18								
普及員講習	回数		16	16								
	人数		112	112								
普通救命講習	回数		34	24	3	1	2		3		1	
	人数		262	194	15	3	29		17		4	
救命入門コース	回数		28	1	2	7	5	2	8	1	1	1
	人数		605	6	16	409	39	13	77	19	14	12
その他の講習	回数		15		3		2	1	2	3	3	1
	人数		844		57		105	77	14	74	283	234
合 計	回数		94	42	8	8	9	3	13	4	5	2
	人数		1,841	330	88	412	173	90	108	93	301	246

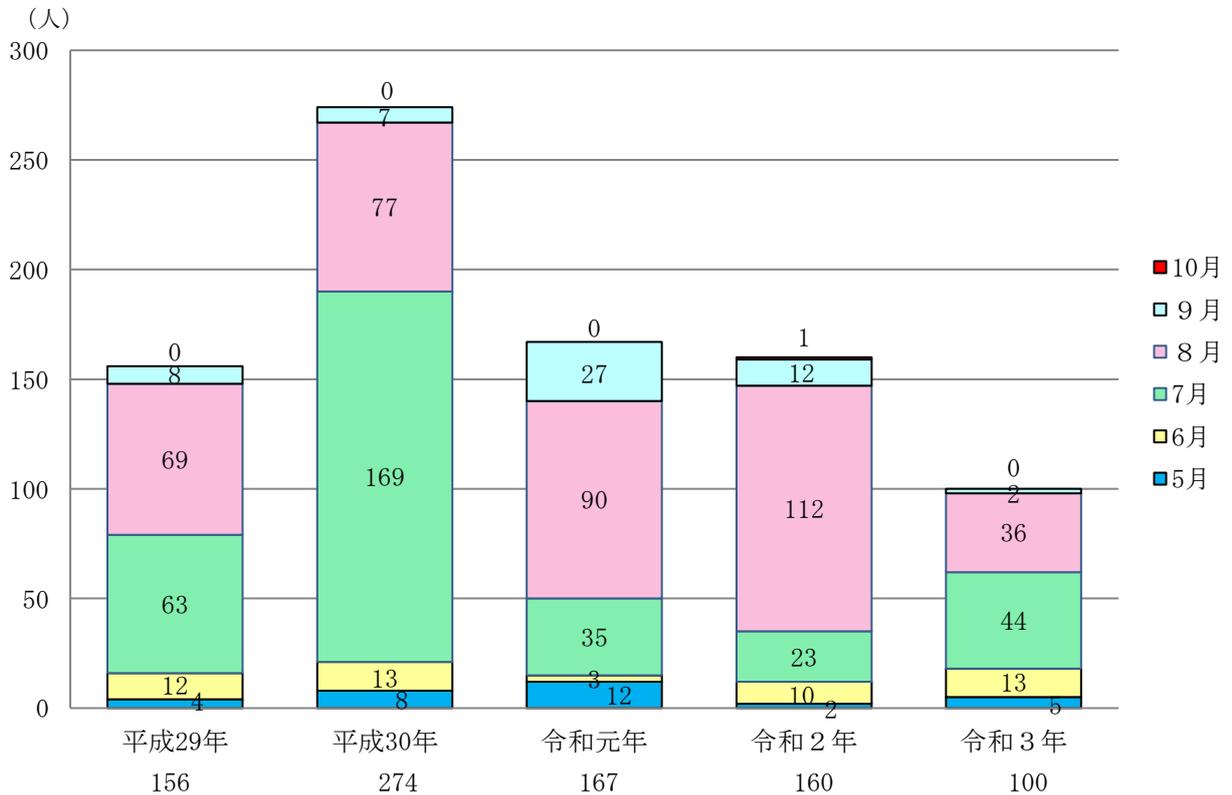
救急講習実施回数及び受講者数の推移



熱中症による救急搬送状況の週別推移



熱中症による救急搬送状況の推移



救 急 出 動 状 況

区分 事故種別	出動件数	傷病者搬送件数	傷病者不搬送件数	搬送人員			傷病程度				出動人員	
				合 計	男	女	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症		そ の 他
合 計	22,230	20,094	2,136	20,170	9,786	10,384	104	798	8,824	10,444	0	67,081
火 災	10	9	1	9	4	5	1	1	2	5		30
自然災害	2	2		2		2			1	1		6
水 難	5	2	3	2	1	1		1	1			15
交 通	1,476	1,336	140	1,385	782	603	1	48	206	1,130		4,463
労働災害	140	138	2	139	115	24		7	46	86		420
運動競技	145	144	1	146	107	39		1	27	118		438
一般負傷	3,806	3,554	252	3,567	1,497	2,070	4	319	920	2,324		11,475
加 害	66	54	12	54	23	31		1	5	48		201
自損行為	186	136	50	136	39	97	6	16	69	45		561
急 病	14,269	13,136	1,133	13,146	6,460	6,686	84	314	6,153	6,595		43,061
そ の 他	2,125	1,583	542	1,584	758	826	8	90	1,394	92		6,411

救急隊別出動状況

隊別	区分	出動件数	傷病者搬送件数	傷病者不搬送件数	搬送人員			傷病程度				出動人員	
					合計	男	女	死亡	重症	中等症	軽症		その他
	合計	22,230	20,094	2,136	20,170	9,786	10,384	104	798	8,824	10,444	0	67,081
	消防局												
	小計	8,814	7,890	924	7,924	3,815	4,109	32	314	3,331	4,247		26,688
	西宮消防署	6,670	5,928	742	5,953	2,883	3,070	20	274	2,312	3,347		20,242
	北夙川分署	2,144	1,962	182	1,971	932	1,039	12	40	1,019	900		6,446
	小計	6,702	6,108	594	6,124	2,953	3,171	35	228	2,714	3,147		20,188
	鳴尾消防署	5,200	4,708	492	4,721	2,271	2,450	32	178	1,978	2,533		15,636
	浜分署	1,502	1,400	102	1,403	682	721	3	50	736	614		4,552
	小計	5,176	4,703	473	4,714	2,300	2,414	22	192	2,068	2,432		15,582
	瓦木消防署	2,743	2,472	271	2,476	1,215	1,261	13	74	958	1,431		8,229
	甲東分署	2,433	2,231	202	2,238	1,085	1,153	9	118	1,110	1,001		7,353
	小計	1,538	1,393	145	1,408	718	690	15	64	711	618		4,623
	北消防署	776	699	77	705	363	342	9	30	370	296		2,333
	山口分署	762	694	68	703	355	348	6	34	341	322		2,290

月別・曜日別救急出動状況

区分 事故種別	月別												曜日別								
	合 計												合 計	日 曜 日	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日	土 曜 日	
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月									
合計	1,926	1,534	1,801	1,806	1,725	1,766	2,025	1,990	1,783	1,892	1,901	2,081	22,230	3,026	3,360	3,138	3,193	3,041	3,279	3,193	
火 災	1		2	1		3		1		1	1		10	2	4	1	1	1		1	
自然災害								2					2		2						
水 難	1	1			1	1					1		5	2	1		1				1
交 通	110	99	127	115	116	111	135	129	112	129	126	167	1,476	168	205	208	222	223	238	212	
労働災害	14	7	10	11	9	11	18	19	7	8	14	12	140	13	25	22	15	17	27	21	
運動競技	7	9	15	9	8	15	15	15	13	17	8	14	145	37	18	15	13	23	9	30	
一般負傷	360	289	323	297	259	281	320	271	278	357	360	411	3,806	543	559	514	551	497	584	558	
加 害	4	11	8	7	3	5	1	7	11	5	1	3	66	18	5	12	8	10	4	9	
自損行為	8	19	20	14	13	15	13	22	14	16	15	17	186	31	34	21	26	28	20	26	
急 病	1,187	932	1,146	1,131	1,162	1,166	1,358	1,326	1,182	1,195	1,216	1,268	14,269	2,026	2,158	2,025	2,010	1,965	2,048	2,037	
そ の 他	234	167	150	221	154	158	165	198	166	164	159	189	2,125	186	349	320	346	277	349	298	

救助統計



大規模浸水災害を想定した救出訓練

救 助 の 概 要

1 概況

令和3年中の救助出動件数は481件、救助活動件数は290件、救助人員は234人となっている。

前年と比較すると、出動件数で31件、活動件数で12件、救助人員で10名増加している。

2 出動件数

出動件数を事故種別で見ると、火災4件（1%）、交通事故27件（5%）、水難事故9件（2%）、機械事故3件（1%）、建物事故231件（48%）、ガス・酸欠事故3件（1%）、その他の事故204件（42%）となっている。

前年と比較すると、機械事故で3件、建物事故で15件、その他の事故で30件増加し、火災で3件、交通事故で11件、水難事故で1件、ガス・酸欠事故で2件減少している。

3 活動件数

活動件数を事故種別で見ると、火災4件（1%）、交通事故10件（3%）、水難事故6件（2%）、機械事故2件（1%）、建物事故189件（65%）、ガス・酸欠事故2件（1%）、その他の事故77件（27%）となっている。

前年と比較すると、機械事故で2件、建物事故で11件、その他の事故で11件増加し、火災で3件、交通事故で4件、水難事故で3件、ガス・酸欠事故で2件減少している。

4 救助人員

救助人員を事故種別で見ると、火災6人（3%）、交通事故10人（4%）、水難事故4人（2%）、機械事故2人（1%）、建物事故185人（79%）、ガス・酸欠事故2人（1%）、その他の事故25人（10%）となっている。

前年と比較すると、火災で3人、機械事故で2人、建物事故で11人、その他の事故で4人増加し、交通事故で6人、水難事故で4人減少している。

救 助 出 動 状 況

事故種別 管轄署別		合	火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ
		計	災	通	難	然	械	物	ス	裂	の
			故	事	事	災	事	事	酸	事	事
			故	故	害	害	故	故	欠	故	故
合 計	出動件数	481	4	27	9	0	3	231	3	0	204
	活動件数	290	4	10	6	0	2	189	2	0	77
	救助人員	234	6	10	4	0	2	185	2	0	25
	出動台数	1,095	61	81	47	0	6	461	7	0	432
	出動人員	4,013	282	300	177	0	24	1,655	22	0	1,553
西 宮	出動件数	174	2	11	1		3	79			78
	活動件数	98	2	1	1		2	66			26
	救助人員	77	1	1	1		2	65			7
	出動台数	383	26	32	2		6	157			160
	出動人員	1,515	115	135	6		24	611			624
鳴 尾	出動件数	158		3	6			90	2		57
	活動件数	111		1	5			77	2		26
	救助人員	86		1	3			73	2		7
	出動台数	342		6	33			181	4		118
	出動人員	1,210		20	129			631	12		418
瓦 木	出動件数	109	1	5				51			52
	活動件数	61	1	4				39			17
	救助人員	49	3	4				39			3
	出動台数	238	15	14				103			106
	出動人員	831	77	49				349			356
北	出動件数	40	1	8	2			11	1		17
	活動件数	20	1	4				7			8
	救助人員	22	2	4				8			8
	出動台数	132	20	29	12			20	3		48
	出動人員	457	90	96	42			64	10		155

発 生 場 所 別 出 動 状 況

発生場所別		事故種別	合 計	火 災		交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	
				建 物	建 物 以 外									
合 計			481	4	0	27	9	0	3	231	3	0	204	
屋 内	住 居		397	3						226			168	
	その他の屋内		12	1					3	2			6	
屋 外	道 路	名 神 高 速	0											
		中国自動車道	1								1			
		山陽自動車道	2			2								
		阪 神 高 速	0											
		一 般 道 路	18			16								2
	内 水	河 川	5				4							1
		湖 ・ 沼	0											
		池	0											
		プ ー ル	0											
		そ の 他	0											
	外 水 面	海	5				5							
		そ の 他	0											
		山 岳	3			1								2
	そ の 他	37			8				3	2			24	
	地 下	0												
	そ の 他	1											1	

月別救助出動状況

区分 月別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	事 故 種 別									覚 知 別			
				火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	1 1 9	加 入	駆 付	そ の 他
合計	481	290	234	4	27	9	0	3	231	3	0	204	380	98	0	3
1月	44	30	24		2	1			24			17	36	8		
2月	33	16	13			1		1	15			16	21	11		1
3月	31	18	17	1	3				12			15	26	4		1
4月	36	24	16	1	4				18			13	31	5		
5月	30	15	10		1	1			14			14	22	8		
6月	39	20	15	1	3	2			11			22	34	5		
7月	36	19	17		2				18			16	29	7		
8月	49	28	22	1	5	1			17	2		23	42	7		
9月	51	28	24		3	1		1	26	1		19	40	10		1
10月	39	27	26		1				24			14	27	12		
11月	46	31	26		2	1			30			13	39	7		
12月	47	34	24		1	1		1	22			22	33	14		

救 助 出 動 状 況 の 推 移

年 別 区 分		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
		出 動 件 数		452 件		460 件		436 件		450 件	
事 故 種 別	火 災	3	0.7%	8	1.7%	8	1.8%	7	1.6%	4	0.8%
	交 通	40	8.8%	36	7.8%	40	9.2%	38	8.4%	27	5.6%
	水 難	13	2.9%	11	0.0%	4	0.9%	10	0.0%	9	1.9%
	自 然		0.0%	5	1.1%		0.0%		0.0%		0.0%
	機 械	6	1.3%	12	2.6%	2	0.5%		0.0%	3	0.6%
	建 物	197	43.6%	205	44.6%	202	46.3%	216	48.0%	231	48.0%
	ガス・酸欠	2	0.4%	1	0.2%	1	0.2%	5	1.1%	3	0.6%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	191	42.3%	182	39.6%	179	41.1%	174	38.7%	204	42.5%
活 動 件 数		292 件		303 件		282 件		278 件		290 件	
事 故 種 別	火 災	3	1.0%	8	2.7%	8	2.8%	7	2.5%	4	1.4%
	交 通	18	6.1%	20	6.6%	20	7.1%	14	5.1%	10	3.4%
	水 難	10	3.4%	9	3.0%	3	1.1%	9	3.2%	6	2.1%
	自 然		0.0%	3	1.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	機 械	4	1.4%	8	2.6%	1	0.3%		0.0%	2	0.7%
	建 物	164	56.2%	178	58.7%	169	59.9%	178	64.0%	189	65.2%
	ガス・酸欠	2	0.7%		0.0%	1	0.4%	4	1.4%	2	0.7%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	91	31.2%	77	25.4%	80	28.4%	66	23.8%	77	26.5%
救 助 人 員		236 人		259 人		242 人		224 人		234 人	
事 故 種 別	火 災	1	0.4%	4	1.5%	7	2.9%	3	1.3%	6	2.6%
	交 通	21	8.9%	27	10.4%	27	11.2%	16	7.1%	10	4.3%
	水 難	9	3.8%	6	2.3%	3	1.2%	8	3.6%	4	1.7%
	自 然		0.0%	2	0.8%		0.0%		0.0%		0.0%
	機 械	4	1.7%	8	3.1%	1	0.4%		0.0%	2	0.9%
	建 物	158	66.9%	174	67.2%	169	69.8%	174	77.7%	185	79.0%
	ガス・酸欠	2	0.9%		0.0%	1	0.4%	2	0.9%	2	0.8%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	41	17.4%	38	14.7%	34	14.1%	21	9.4%	25	10.7%
内 訳	男 性	131 人		113 人		114 人		114 人		115 人	
	女 性	105 人		146 人		128 人		110 人		119 人	
出 動 台 数		1045 台		1,088 台		1,043 台		1,072 台		1,095 台	
出 動 人 員		3,753 人		3,914 人		3,800 人		3,931 人		4,013 人	

隣接都市救助応援(被応援)出動状況

都市名	区分	出動件数	出動台数	出動人員	救助人員
	合計		8	32	119
		12	54	185	6
尼崎市		-	-	-	-
		6	28	96	2
宝塚市		3	15	54	3
		6	26	89	4
芦屋市		2	7	28	1
		-	-	-	-
神戸市		3	10	37	1
		-	-	-	-

※ 上段は応援、下段は被応援を示す

所属別消防用空気・酸素等容器保有状況

(令和4年4月1日現在)

所属別		容器別	空気容器					酸素容器			アセチレン
		合計	4.7ℓ	6.8ℓ	8.4ℓ	10ℓ	15ℓ	合計	4ℓ	6ℓ	3ℓ
合計		443	11	375	0	37	20	7	1	6	0
局		0						0			
		4	4					0			
西宮	本署	15				10	5	2		2	
		67	5	62				0			
西宮	北夙川	0						0			
		30		30				0			
鳴尾	本署	14				9	5	2		2	
		65		65				0			
鳴尾	浜	0						0			
		25		25				0			
瓦木	本署	16				12	4	1	1		
		69		69				0			
瓦木	甲東	0						0			
		30		30				0			
北	本署	12				6	6	2		2	
		63	2	61				0			
北	山口	0						0			
		33		33				0			

※ 下段は軽量容器を示す

主な救助器具配置状況

(令和4年4月1日現在)

救助器具	合計	局	西宮	鳴尾	瓦木	北
かぎ付はしご	18	2	4	4	4	4
三連はしご	21	2	5	4	5	5
金属製折りたたみはしご等	4		1	1	1	1
空気式救助マット	4		1	1	1	1
救命索発射銃	4		1	1	1	1
救助用縛帯	45	8	9	13	9	6
油圧ジャッキ	15		5	4	4	2
油圧スプレッダー	20	2	6	5	5	2
可搬式ウインチ	11	3	2	2	2	2
マンホール救助器具	7	2	1	1	2	1
エンジンカッター	29	1	9	6	8	5
ガス溶断機	3		1	1	1	
チェーンソー	25		5	6	8	6
各種ガス酸素濃度測定器	21	2	7	3	3	6
危険物同定装置一式	1		1			
空気呼吸器	199	18	52	40	44	45
携帯投光器	19	3	5	3	5	3
携帯警報器(モーションスカウト)	214	18	55	44	49	48
画像探索機Ⅰ型	1		1			
画像探索機Ⅱ型	4	1	1	1	1	
地中音響探索機	1		1			
熱画像直視装置	12		3	3	3	3
夜間用暗視装置	2	1	1			
電磁波探查装置	1		1			
地震警報器	1		1			
放射線防護服	4		2	2		
潜水器具一式	27	8	5	5	5	4
救命ボート	14	1	3	3	3	4
船外機	4	1	1	1	1	
バスケット担架	10	2	2	2	3	1
マット型空気ジャッキ	4		1	1	1	1
大型油圧スプレッダー	4		1	1	1	1
大型油圧切断機	4		1	1	1	1
削岩機	17		5	4	4	4
ハンマドリル	17	1	4	4	5	3
携帯コンクリート破壊器具	6		1	2	1	2
*放射線測定器	60	42	9			9
*化学防護服	19		5	5	4	5
送排風機	5		2	1	1	1
緩降機	10		3	3	1	3
除染シャワー	2		1			1
チェーンブロック	0					
簡易画像探索機	2		1			1
*化学剤検知測定器	4	1	1			2

*については、消防庁から借受しているものも含む

消 防 通 信



消防指令室

指令業務の概要

1 通信施設保守整備の推進

(1) 無線設備

- ア 車載型無線機（にししょうかわらぎ19）及び携帯型無線機（にししょうかわらぎ119）を新規整備した。
- イ 署活動用無線機21台を更新し、5台を新規整備した。（総数276台）
- ウ バッテリーの老朽化に伴い、署活動用無線機用バッテリー42個を更新した。
- エ 平成27年度から運用を開始している消防救急デジタル無線の令和3年度における保守について保守契約を締結し、無線設備の適正な維持管理を行った。

(2) 有線設備

- ア 情報送受信等における通信網確保のため、消防局総務部、警防部及び西宮消防署の老朽化したファクシミリを更新した。
- イ 消防局及び西宮消防署の移転に伴い、電話設備を更新した。また、山口分署の経年劣化した電話設備を更新した。

2 通信業務対応能力の向上

(1) 研修及び訓練

- ア 口頭指導技術の向上を図るため、救急救命士による研修を実施するとともに、阪神地区消防長会救急隊員研修会を受講した。また、外部講師を招いての口頭指導研修及び口頭指導シミュレーション訓練を実施した。
- イ 実災害をもとに検討会を実施し、災害対応能力の強化を図った。
- ウ 各種災害を想定したシミュレーション訓練を実施した。
- エ 消防緊急情報システムの円滑な操作技術を習得するため、各種機器の取扱研修を実施した。
- オ 局内職員を対象とした非常順次指令装置による非常招集伝達訓練を実施し、機器の扱い及び応答要領等の習熟に努めた。
- カ 各署の月別警防訓練に併せて、出動指令及び無線交信訓練等を実施し、災害対応能力の向上に努めた。
- キ 異動者に対して重点的に研修を実施し、指令業務の早期習得を図った。
- ク 消防局内の指令課勤務経験者に対して指令課実務研修を実施し、各種感染症などで通信指令員に欠員が生じた場合や、大規模災害時の通信指令員の補完体制を確立した。
- ケ 可搬型指令システム取扱訓練及び北消防署集中受信訓練並びに西宮消防署からのリモート指令訓練を実施し、消防指令室での119番回線遮断時の対応能力の向上を図った。

(2) 広報

- 消防情報（災害情報、119番のかけ方等）について、市政ニュース及びさくらFM等の広報媒体を利用した広報を行い、適正な119番の利用と適切な通報要領の啓発に努めた。

3 消防緊急情報システムの運用管理等

(1) システムの更新

令和3年度から、現場映像の共有や防災情報システムとの連携機能を導入した、新たな消防緊急情報システムの運用を開始した。

(2) 消防緊急情報システムの運用管理

指令業務の障害レベル決定基準を基に、システム障害を想定したマニュアル指令訓練を実施し、通信指令員のシステム復旧までの対応技術、並びに危機管理体制のより一層の向上を図った。

(3) 消防緊急情報システムの維持

定期点検を確実に実施することで重大な障害発生を未然に防ぎ、システム機器の機能維持を図った。

また、各署と連携して防火対象物等の各種支援情報を随時更新し、地図データを常に最新の状態に保ち、円滑な現場活動につなげた。

さらに、車両更新に伴い、計画的に車両運用端末装置等の積替え作業を行った。

消防通報用電話（119番）受信状況

種別 月別	緊急通報					その他							総 受 信 件 数	1 日 平 均	内 部 テ ス ト	内 部 研 修	内 部 を 含 む 総 計	1 日 平 均
	小 計	火 災	救 急	救 助	そ の 他 の 災 害	小 計	間 違 い	いた ず ら	通 報 訓 練	病 院 問 合 せ	無 応 答	そ の 他						
1月	1,972	29	1,838	32	73	668	131	23		192		322	2,640	85.2	31		2,671	86.2
	636	10	607	6	13	109	13			51		45	745		3		748	
	931	15	852	19	45	352	80	11		121		140	1,283				1,283	
2月	1,579	21	1,489	14	55	595	128	13		181		273	2,174	77.6	28		2,202	78.6
	448	6	435		7	94	7	4		47		36	542		4		546	
	786	13	718	13	42	348	97	3		115		133	1,134		3		1,137	
3月	1,803	10	1,715	23	55	698	112	21		219		346	2,501	80.7	52		2,553	82.4
	522	1	512	2	7	101	11	1		43		46	623		10		633	
	884	8	824	17	35	413	88	17		155		153	1,297		2		1,299	
4月	1,831	10	1,748	27	46	645	117	15	7	193	23	290	2,476	82.5	239	2	2,717	90.6
	530		524	1	5	108	13		2	42	2	49	638		62		700	
	957	7	900	22	28	375	83	6		135	18	133	1,332		84	1	1,417	
5月	1,728	2	1,679	20	27	731	101	12	47	258	79	234	2,459	79.3	20	1	2,480	80.0
	531		524	3	4	159	21	4	23	66	6	39	690				690	
	883	2	853	12	16	407	67	5	2	156	69	108	1,290		14		1,304	
6月	1,769	11	1,694	27	37	658	96	11	55	208	61	227	2,427	80.9	15	2	2,444	81.5
	469	3	459	3	4	115	10		21	51	4	29	584				584	
	957	6	904	18	29	379	64	9		142	52	112	1,336		4	1	1,341	
7月	2,060	7	1,976	25	52	799	98	9	41	273	84	294	2,859	92.2	11	2	2,872	92.6
	531	3	521	2	5	132	12	1	16	56	9	38	663		0	0	663	
	1,092	2	1,040	16	34	509	74	6	1	194	70	164	1,601		4	2	1,607	
8月	2,017	9	1,909	34	65	817	121	10	18	272	94	302	2,834	91.4	8		2,842	91.7
	530	2	517	3	8	142	19	1	6	57	9	50	672				672	
	1,064	6	993	23	42	514	67	4	1	192	77	173	1,578		4		1,582	
9月	1,801	3	1,722	33	43	653	64	11	73	188	96	221	2,454	81.8	10	1	2,465	82.2
	484	1	477	2	4	127	7	0	25	47	13	35	611		0	0	611	
	929	2	879	23	25	369	43	7	4	131	72	112	1,298		6	1	1,305	
10月	1,908	8	1,840	23	37	686	70	12	66	205	103	230	2,594	83.7	10	2	2,606	84.1
	553	1	544	2	6	123	10		23	42	9	39	676				676	
	990	7	943	15	25	380	46	6	5	138	77	108	1,370		7	2	1,379	
11月	1,971	25	1,878	27	41	717	92	13	94	199	97	222	2,688	89.6	5		2,693	89.8
	586	1	580	2	3	138	7	1	49	35	12	34	724		0		724	
	971	18	907	21	25	403	60	9	2	148	79	105	1,374		2		1,376	
12月	2,135	6	2,053	32	44	725	102	10	72	203	110	228	2,860	92.3	17		2,877	92.8
	568		560	2	6	121	18		19	44	3	37	689				689	
	1,126	6	1,081	17	22	402	56	6	3	145	89	103	1,528		6		1,534	
合計	22,574	141	21,541	317	575	8,392	1,232	160	473	2,591	747	3,189	30,966	84.8	446	10	31,422	86.1
	6,388	28	6,260	28	72	1,469	148	12	184	581	67	477	7,857		79	0	7,936	
	11,570	92	10,894	216	368	4,851	825	89	18	1,772	603	1,544	16,421		136	7	16,564	
1日平均	61.8	0.4	59.0	0.9	1.6	23.0	3.4	0.4	1.3	7.1	2.0	8.7	84.8		1.2	0.0	86.1	
割合%	72.9	0.5	69.6	1.0	1.9	27.1	4.0	0.5	1.5	8.4	2.4	10.3	100.0		1.4	11.6		

※ 上段は119番総受信件数、中段はIP電話の119番受信件数、下段は携帯電話の119番受信件数

※ 種別～その他のその他は、災害に関する照会等

※ 1日平均は、小数点第2位を四捨五入

気象情報等月別発令状況

種別	月別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
	種別	月別																
警 報	大	雨	9					1		2	6							
	洪	水	0															
	暴	風	3	2							1							
	波	浪	3	2							1							
	高	潮	0															
	大	雪	2	2														
	津	波	0															
	小	計	17	6	0	0	0	0	1	0	2	8	0	0	0	0		
注 意 報	大	雨	39				2	6		12	11	4		3	1			
	洪	水	6							3	3							
	強	風	151	12	15	12	15	19	6	5	20	11	5	14	17			
	波	浪	157	13	18	12	14	19	6	5	20	10	5	14	21			
	高	潮	10			1					6	2	1					
	津	波	0															
	大	雪	3	1											2			
	風	雪	9	1	3										5			
	着	雪	2												2			
	な	だ	れ	0														
	濃	霧	31	1	2	6	4	2	1	3		1	3	6	2			
	低	温	4	3	1													
	雷	霜	178	5	8	7	15	11	12	36	40	17	4	11	12			
	乾	燥	10			6	4											
	着	氷	86	14	21	7	17	3	2				5	7	10			
	着	氷	0															
小	計	686	50	68	51	71	60	27	64	100	45	23	55	72				
情 報	雨		81					9	7	33	25	4		3				
	雪		73	24	7					11			3	4	24			
	雷		70	2	7	2	8	6		9	23	7	3	10				
	高	波	39	10	4						2			1	22			
	低	温	0															
	高	温	0															
	台	風	14								7	7						
	梅	雨	0															
	強	風	97	6	4	2	8	6		20	25	7	3	11	5			
	寒	気	0															
	春	一	番	0														
	気	圧	配	置	0													
	津	波	0															
	地	震	0															
	日	照	不	足	0													
	そ	の	他	59			6	8	8		19	11	2		5			
火	災	気	象	通	報	322	39	53	29	43	28	8	4	17	13	15	32	41
光	化	学	ス	モ	グ	0												
小	計	755	81	68	39	67	57	15	96	110	40	24	66	92				
合	計	1,458	137	136	90	138	118	42	162	218	85	47	121	164				

発令された防災指令等

災 害 警 戒 指 令	0														
防 災 指 令 第 1 号	0														
防 災 指 令 第 2 号	0														
防 災 指 令 第 3 号	0														
水 防 警 戒 指 令	2									2					
水 防 指 令 第 1 号	0														
水 防 指 令 第 2 号	0														
水 防 指 令 第 3 号	0														
国 土 大 臣 が 発 する 水 防 警 報	0														
火 災 警 報	0														
火 災 注 意 報	0														
合 計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0

消防テレホンサービス利用状況

月別	利用件数	1日平均 利用件数	利 用 状 況		
			災害情報利用数	病院情報利用数	消防情報利用数
1月	690	22	442	141	107
2月	350	13	217	91	42
3月	385	12	240	75	70

月別	利用件数	1日平均利用件数
4月	441	15
5月	332	11
6月	411	14
7月	319	10
8月	371	12
9月	225	8
10月	227	7
11月	272	9
12月	283	9
合 計／平 均	4,306	12

- 1 災 害 情 報 災害（建物・林野火災等）発生時随時
- 2 病 院 情 報 【平日】17:00～翌朝8:00
（4月分より廃止） 【土曜】11:00～翌朝8:00
【日曜・祝日】8:00～翌朝8:00
- 3 消 防 情 報 24時間

※ 消防緊急情報システム更新に伴い、消防情報若しくは災害情報の1情報を切替えて案内する仕様としたため、4月分から表を変更
 ※ 合計は1月から12月までの合計

車 両 整 備



消防ポンプ自動車

車 両 整 備 の 概 要

令和3年度においては、車両の購入に伴う車両の設計及び配置と車両継続検査及び定期点検等の自家整備を実施し整備業務の充実を図った。

車 両 の 購 入

車両更新計画に基づき、高規格救急自動車2台、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台及び人員搬送車1台を更新し、また、高規格救急自動車1台を増車することにより、消防及び救急体制の充実強化を図った。

- 1 高規格救急自動車
瓦木消防署、北消防署及び山口分署に高規格救急自動車を購入した。
- 2 水槽付消防ポンプ自動車
鳴尾消防署に水槽付消防ポンプ自動車を購入した。
- 3 消防ポンプ自動車
北消防署に消防ポンプ自動車を購入した。
- 4 人員搬送車
消防局に人員搬送車を購入した。

車 種 別	車 名	配 置 年 月 日	配 置 場 所	購 入 別
高規格救急自動車	瓦木19	令和3年10月22日	瓦木消防署	増車
高規格救急自動車	山口9	令和3年11月19日	山口分署	更新
高規格救急自動車	北 9	令和3年12月27日	北消防署	更新
水槽付消防ポンプ自動車	鳴尾2	令和4年3月14日	鳴尾消防署	更新
消防ポンプ自動車	北 1	令和4年2月21日	北消防署	更新
人員搬送車	局 8	令和4年3月3日	消防局	更新

点 検 整 備 等

(単位：台)

整備別 所属別		車検整備	定 期 点 検 整 備			毎月点検整備
			大 型	普通・軽	計	
合 計		37	74	81	155	726
消 防 局		8	10	22	32	188
西 宮	小 計	9	17	16	33	138
	本 署	5	14	11	25	90
	北夙川	4	3	5	8	48
鳴 尾	小 計	9	16	14	30	141
	本 署	6	10	7	17	85
	浜	3	6	7	13	56
瓦 木	小 計	5	16	15	31	126
	本 署	3	16	8	24	75
	甲 東	2	/	7	7	51
北	小 計	6	15	14	29	133
	本 署	5	11	8	19	84
	山 口	1	4	6	10	49

消 防 団



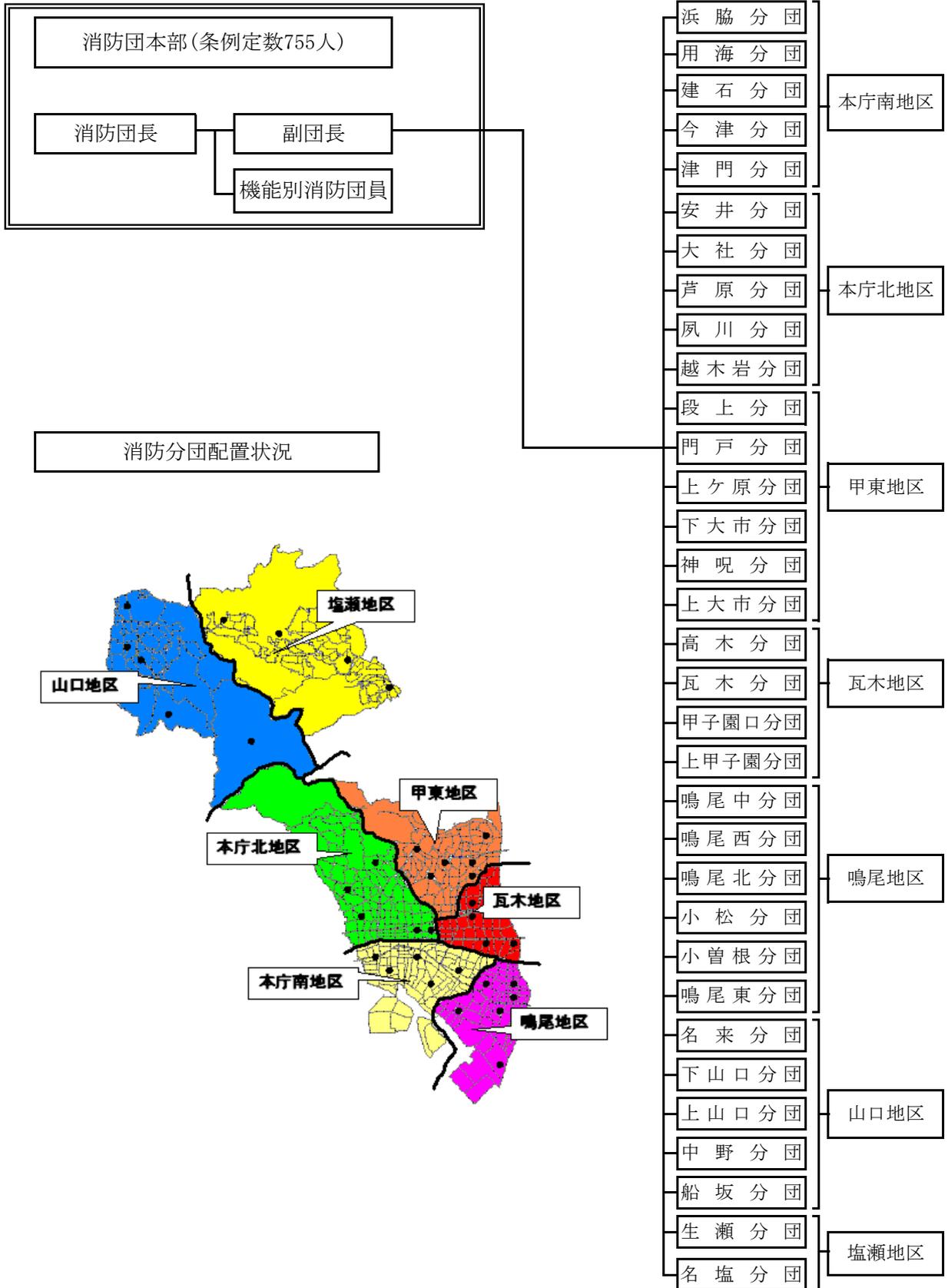
令和4年 西宮市消防出初式

西宮市消防団の沿革

明治初期	西宮港沖仲仕が消防組的作業に従事
明治10年 4 月	沖仲仕と大工組合合同で西宮町火防組設置
明治20年	西宮町公認により、西宮警察署長の指揮下に属す。 役員、組織等を完備し、用具、服装の整備を町費で維持
明治27年 2 月	勅令（第15号）消防組規則施行に基づき西宮町消防組創設
大正14年 4 月	市制施行に基づき西宮市消防組と改称
昭和14年 7 月	勅令（第20号）警防団令施行に基づき西宮市警防団に改組。本部は西宮警察署に設置、9分団で発足。
昭和16年 2 月	武庫郡甲東村と合併、西宮市警防団11分団となる。
昭和17年 5 月	武庫郡瓦木村と合併、西宮市警防団14分団となる。
昭和22年 9 月	警防団を廃止、西宮市消防団結成
昭和26年 4 月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村が西宮市と合併、西宮市消防団26分団となる。
昭和40年 4 月	西宮市消防団甲東分団を3分団に改編、28分団となる。
昭和53年 4 月	西宮市消防団水上分団を廃止し、1本部27分団となる。
昭和56年 4 月	西宮市消防団夙川・甲東第1・甲東第2・甲東第3・瓦木・東北分団を改編し、1本部33分団となる。
平成2年 4 月	消防団組織強化のため、分団所管地区を7地区に改編
平成5年 3 月	被服等貸与規程を改正し、法被を廃止
平成8年 4 月	消防団事務を市民局から消防局に移管
平成8年 11 月	瓦木分団車庫竣工
平成9年 4 月	消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備 消防緊急情報システムに連動した消防団緊急伝達装置を導入
平成10年 9 月	防災資機材(8品目)を33分団に配置完了(4年計画)
平成11年 2 月	建石分団車庫竣工
平成11年 3 月	高木分団車庫竣工
平成12年 2 月	甲子園口分団車庫竣工
平成15年 3 月	名塩分団木之元班車庫竣工

平成16年 3 月	浜脇分団車庫竣工
平成17年 4 月	消防署の管轄区域に準じ、分団所管地区を改編
平成18年 12 月	生瀬分団西車庫竣工
平成20年 6 月	機能別消防団員制度発足
平成21年 8 月	ゴムボートを13分団に配置
平成22年 3 月	越木岩分団車庫竣工
平成23年 12 月	下山口分団車庫竣工
平成25年 6 月	西宮市消防団に初の女性消防団員が入団
平成25年 12 月	津門分団車庫竣工
平成26年 12 月	鳴尾北分団車庫竣工
平成28年 12 月	段上分団車庫竣工
平成29年 10 月	船坂分団車庫竣工
平成30年 12 月	中野分団車庫竣工
平成31年 3 月	門戸分団車庫竣工
令和 2 年 3 月	用海分団車庫竣工 生瀬分団新車庫竣工
令和 2 年 11 月	小松分団車庫竣工
令和 3 年 3 月	上山口分団金仙寺班車庫竣工
令和 4 年 3 月	今津分団車庫竣工

消防団の組織



消防団自動車現況

(令和4年4月1日現在)

区分 分団	車名年式	購入年月日	車 齢(年)	車両総重量 (kg)	ポンプ性能	小型動力ポンプ
団 本 部	トヨタ 令和元	1. 7. 3	2	1,875	司令車	
浜 脇 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	10	4,800	A-2級	
用 海 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	10	4,800	〃	
建 石 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	9	4,640	〃	
今 津 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	5	4,620	〃	
津 門 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	4	4,770	〃	
安 井 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	10	4,800	〃	
大 社 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	6	4,490	〃	
芦 原 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	8	4,770	〃	
夙 川 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	9	4,640	〃	
越 木 岩 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	8	4,770	〃	
段 上 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	6	4,540	〃	
門 戸 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	3	4,930	〃	
上 ヶ 原 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	3	4,930	〃	
下 大 市 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	4	4,820	〃	
神 呪 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	5	4,620	〃	
上 大 市 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	7	4,690	〃	
高 木 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	9	4,640	〃	
瓦 木 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	3	4,930	〃	
甲 子 園 口 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	7	4,720	〃	
上 甲 子 園 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	8	4,770	〃	
鳴 尾 中 分 団	いすゞ 平成21	21. 9. 9	12	4,710	〃	
鳴 尾 西 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	7	4,720	〃	
鳴 尾 北 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	11	4,710	〃	
小 松 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	5	4,620	〃	
小 曾 根 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	11	4,710	〃	
鳴 尾 東 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	5	4,620	〃	
名 来 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	13	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
下 山 口 分 団	いすゞ 令和3	3. 1. 28	1	4,990	〃	シバウラ F T 300M
上 山 口 分 団	トヨタ 令和2	2. 2. 3	2	4,730	〃	シバウラ F T 300M
〃 金仙寺班	いすゞ 平成21	21. 9. 9	12	4,710	〃	シバウラ T F 520SH
中 野 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	13	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
船 坂 分 団	いすゞ 平成19	19. 9. 19	14	4,610	〃	トーハツ V 20 B
生 瀬 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	4	4,820	〃	シバウラ F T 300M
〃	日 野 平成27	27. 10. 16	6	4,560	〃	シバウラ T F 520SH
名 塩 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	11	4,940	〃	シバウラ T F 520SH
〃	トヨタ 令和2	2. 2. 3	2	4,730	〃	シバウラ F T 300M
〃 木之元班	トヨタ 令和4	4. 1. 28	0	4,690	〃	シバウラ F T 300M
〃 東久保班	いすゞ 平成20	20. 9. 24	13	4,680	〃	シバウラ T F 516SH

消 防 団 員 在 職 年 数 状 況

(令和4年4月1日現在)

階級 区分	階級							
	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計 (うち女性)	680 (9)	1	7	33	36	37	111 (1)	455 (8)
5年未満 (うち女性)	123 (5)						3	120 (5)
5～9年 (うち女性)	126 (4)						13 (1)	113 (3)
10～14年	113			1	1	5	10	96
15～19年	77				2	2	20	53
20～24年	93			5	5	11	36	36
25～29年	73		1	12	14	8	20	18
30年以上	75	1	6	15	14	11	9	19

※ 団員平均 15年5ヶ月

消 防 団 員 年 齢 状 況

(令和4年4月1日現在)

階級 区分	階級							
	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計	680	1	7	33	36	37	111	455
20歳未満	5							5
20～24歳	13							13
25～29歳	25							25
30～34歳	30						2	28
35～39歳	79						3	76
40～44歳	81				1		13	67
45～49歳	116			2	4	6	26	78
50～54歳	123			4	10	11	32	66
55～59歳	79		1	7	9	12	16	34
60歳以上	129	1	6	20	12	8	19	63

※ 団員平均 48歳11ヶ月

消防団費と市民負担

(令和4年4月1日現在)

消 防 団 費	予 算 額	1世帯当り	人口1人当り
	236,988千円	1,051円	491円

消防団出動状況

(令和3年度中)

種別 区分	合 計	火 災	水 防・防 災	警 戒	訓 練
出動回数	548	37		13	498
出動分団数	996	101		237	658
出動車両数	986	104		231	651
出動団員数	6,737	830		1,254	4,653

消防団訓練実施内容

(令和3年度中)

訓練内容	出動回数	出動分団数	出動車両数	出動団員数
自主防災組織合同訓練	11	11	10	55
西宮市消防出初式	1	34		171
「文化財防火デー」に伴う消防訓練				
西宮市消防団消防操法大会				
春の全国火災予防運動・訓練				
西宮市総合防災訓練				
秋の全国火災予防運動・訓練	7	134	137	649
小学校区防災訓練				

派遣研修及び教育訓練実施状況

(令和3年度中)

種別 区分	合 計	県 消 防 学 校	新 入 団 員 等 研 修	機 能 別 団 員 研 修	ポ ン プ 操 法 訓 練	訓 練 礼 式	操 縦 訓 練	資 器 材 取 扱 訓 練	ポ ン プ 取 扱 訓 練	想 定 訓 練	救 急 講 習	結 索 訓 練
回 数	32					1		1	27	3		
人 員	182					5		6	146	25		

※ 分団定例訓練は除く

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、研修や訓練等の活動を一部制限して実施

公務災害等発生状況

(令和3年度中)

区分	勤務態様別	発生 件数	被 災者 数	階 級 別							傷 病 程 度 別							
				副 団 長 以 上	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	通 院			入 院			死 亡		
										一 週 間 未 満	一 週 間 ～ 一 カ 月	一 カ 月 ～ 三 カ 月	三 カ 月 以 上	一 週 間 未 満	一 週 間 ～ 一 カ 月		一 カ 月 ～ 三 カ 月	三 カ 月 以 上
公務災害	現場活動中	火災	0	0														
		警戒	0	0														
		水防 防災	0	0														
		その他	0	0														
		訓練中	0	0														
	一般業務中	0	0															
	合 計	0	0															

団員の職業別

(令和4年4月1日現在)

合 計	農 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 道 路	水 道 輸 送	運 通 輸 信	卸 小 販 売	飲 食 店	金 保 融 険	不 動 産	サ ー ビ ス	公 務 員	そ の 他 職 等
680	21	1	99	74	26		57	94		19	25	165	28	71

表 彰

(令和3年度中)

種 別	消 防 庁 長 官	日 本 消 防 協 会 長	兵 庫 県 知 事	兵 庫 県 消 防 協 会 長	西 宮 市 長	西 宮 市 消 防 団 長
階級別						
合 計	3	10	10	21	22	27
西 宮 市 消 防 団						
分 団						
消 防 団 長						
副 団 長	2					
分 団 長	1	3	2	6	1	1
副 分 団 長		3	8	2	3	
部 長		1		9	1	
班 長		3		3	7	1
団 員				1	10	25

消 防 年 報

(令和3年版)

発 行 令和4年8月

編 集 西宮市消防局総務部企画課

〒662-0918

西宮市六湛寺町8番28号

T E L 0798-26-0119

備えて安心、住宅用火災警報器を設置しましょう！



西宮市消防マスコット ウーちゃん・カンちゃん